

人権に関する市民意識調査
結果報告書

2017年度（平成29年度）

阿賀野市

目 次

I	調査の概要	1
II	調査の結果と分析	3
1	人権全般について	3
2	女性の人権に関する問題について	12
3	子どもの人権に関する問題について	16
4	高齢者の人権に関する問題について	21
5	障がいのある人の人権に関する問題について	25
6	部落差別問題（同和問題）について	29
7	身元調査について	41
8	外国籍住民の人権に関する問題について	43
9	インターネットによる人権侵害について	47
10	新潟水俣病患者やその家族の人権に関する問題について	51
11	犯罪被害者やその家族の人権に関する問題について	55
12	人権問題に関する講演会・研修等について	59
13	人権問題に関するご意見・ご要望について	67
	（1）一覧	67
	（2）テーマ別	73
III	調査のまとめ	81

I 調査の概要

1 調査の目的

本アンケート調査は、「平成 29 年度 阿賀野市 人権教育・啓発推進計画」の策定に役立つものであり、人権に関する市民の現状認識や課題、今後必要なことなどについての意向を把握・分析し、人権に関する施策をより効果的に推進していくための基礎資料にすることを目的とする。

2 調査の概要

- 1) 調査地域 阿賀野市全域
- 2) 調査対象 阿賀野市民
- 3) 標本数 1,000 人
- 4) 設問数 44 問（自由意見を含む）
- 5) 分類 ①地区別（旧町村別） ②年齢別 ③男女別
- 6) 調査時期 平成 29 年 4 月 26 日～5 月 31 日
- 7) 調査方法 郵送、無記名による配布・回収
- 8) 回収数 362 通（回収率 36.2%）※締め切り遅延分も含む

3 入力・集計・分析の方法

1) 調査票の入力について

- ・設問の指示事項に反する回答については入力の対象外とする（設問で「3つ以内」と記されているにも関わらず4つ以上を回答した場合など）。

2) 集計・分析について

- ・アンケート結果の表示について、単純集計結果はグラフ化し、クロス集計（性別、年代別、地区別）については一覧表のみの表示とする。
- ・集計結果について分析を行う。
- ・自由意見の整理については、概ねの項目に分類し、それぞれの項目の代表的な意見を整理する。

3) 調査のまとめについて

- ・調査結果についての全体的な総括を行う。

4 調査抽出数、有効回答数、回答率の比較表

	全体	男性	女性	性不明
配布数(人)	1,000	496	504	-
回答数(人)	362	161	196	5
回収率(%)	36.2	32.5	38.9	-

5 年代・男女構成比

区分	回答数		男性		女性		性不明		配布数(人)	回収率(%)
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)		
全体	362	100.0	161	100.0	196	100.0	5	100.0	1,000	36.2
10代	3	0.8	1	0.6	2	1.0	0	0.0	19	15.8
20代	14	3.9	6	3.7	8	4.1	0	0.0	100	14.0
30代	40	11.0	16	9.9	23	11.7	1	20.0	129	31.0
40代	55	15.2	24	14.9	31	15.8	0	0.0	154	35.7
50代	65	18.0	34	21.1	30	15.3	1	20.0	155	41.9
60代	79	21.8	43	26.7	36	18.4	0	0.0	195	40.5
70代以上	104	28.7	37	23.0	66	33.7	1	20.0	248	41.9
年代不明	2	0.6	0	0.0	0	0.0	2	40.0	-	-

6 地域・男女構成比

区分	回答数		男性		女性		性不明		配布数(人)	回収率(%)
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)		
全体	362	100.0	161	100.0	196	100.0	5	100.0	1,000	36.2
安田地区	74	20.4	34	21.1	40	20.4	0	0.0	227	32.6
京ヶ瀬地区	61	16.9	21	13.0	40	20.4	0	0.0	166	36.7
水原地区	156	43.1	75	46.6	78	39.8	3	60.0	419	37.2
笹神地区	68	18.8	30	18.6	38	19.4	0	0.0	188	36.2
地区不明	3	0.8	1	0.6	0	0.0	2	40.0	-	-

※比率について、小数点以下第2位を四捨五入して表示しているため、合計が100%に一致しないことがある。
また、複数回答（2つ以上の回答）では、合計が100%を超える場合がある。

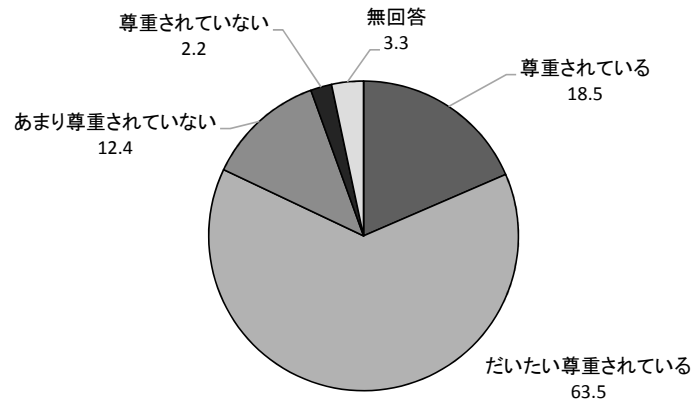
II 調査の結果と分析

1 人権全般について

【問4】阿賀野市は、すべての市民の人権が尊重されていると思いますか。(○は1つだけ)

区分	人	%
回答者数	362	100.0
1 尊重されている	67	18.5
2 だいたい尊重されている	230	63.5
3 あまり尊重されていない	45	12.4
4 尊重されていない	8	2.2
5 無回答	12	3.3

阿賀野市は、すべての市民の人権が尊重されていると思いますか
(単位:%)



(男女別・年齢別・地区別)

上段:人 下段:%

区分	全体	男女別			年齢別									地区別				
		男性	女性	性不明	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年代不明	安田	京ヶ瀬	水原	笹神	地区不明	
回答者数	362	161	196	5	3	14	40	55	65	79	104	2	74	61	156	68	3	
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
1	67	34	33	0	0	3	9	5	11	12	27	0	16	14	30	7	0	
	18.5	21.1	16.8	0.0	0.0	21.4	22.5	9.1	16.9	15.2	26.0	0.0	21.6	23.0	19.2	10.3	0.0	
2	230	101	126	3	3	10	27	41	41	54	53	1	52	39	95	43	1	
	63.5	62.7	64.3	60.0	100.0	71.4	67.5	74.5	63.1	68.4	51.0	50.0	70.3	63.9	60.9	63.2	33.3	
3	45	21	23	1	0	1	3	7	13	9	12	0	6	3	21	14	1	
	12.4	13.0	11.7	20.0	0.0	7.1	7.5	12.7	20.0	11.4	11.5	0.0	8.1	4.9	13.5	20.6	33.3	
4	8	2	6	0	0	0	1	1	0	2	4	0	0	4	3	1	0	
	2.2	1.2	3.1	0.0	0.0	0.0	2.5	1.8	0.0	2.5	3.8	0.0	0.0	6.6	1.9	1.5	0.0	
5	12	3	8	1	0	0	0	1	0	2	8	1	0	1	7	3	1	
	3.3	1.9	4.1	20.0	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	2.5	7.7	50.0	0.0	1.6	4.5	4.4	33.3	

○阿賀野市のすべての市民の人権については、「だいたい尊重されている」が最も多く 63.5% である。

○「尊重されている」「だいたい尊重されている」の合計は 82.0%、「あまり尊重されていない」「尊重されていない」の合計は 14.6% である。

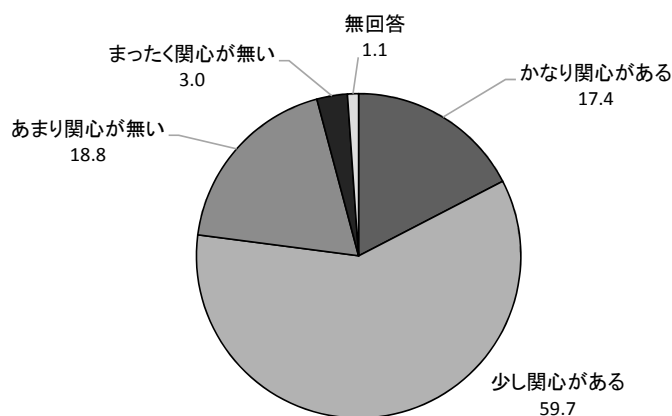
○地区別では、安田地区は、「尊重されている」「だいたい尊重されている」の合計が 91.9% と最も多い。また、笹神地区では、「尊重されている」は 10.3% と他地区と比較して最も少ない。

【問5】あなたは、人権や差別問題にどの程度関心を持っていますか。(〇は1つだけ)

区分	人	%
回答者数	362	100.0
1 かなり関心がある	63	17.4
2 少し関心がある	216	59.7
3 あまり関心が無い	68	18.8
4 まったく関心が無い	11	3.0
5 無回答	4	1.1

あなたは人権や差別問題にどの程度関心を持っていますか

(単位:%)



(男女別・年齢別・地区別)

上段:人 下段:%

区分	全体	男女別			年齢別								地区別				
		男性	女性	性不明	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年代不明	安田	京ヶ瀬	水原	笹神	地区不明
回答者数	362	161	196	5	3	14	40	55	65	79	104	2	74	61	156	68	3
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1	63	32	30	1	1	1	3	7	6	12	33	0	17	5	29	12	0
	17.4	19.9	15.3	20.0	33.3	7.1	7.5	12.7	9.2	15.2	31.7	0.0	23.0	8.2	18.6	17.6	0.0
2	216	87	126	3	2	11	22	36	46	46	52	1	40	41	90	44	1
	59.7	54.0	64.3	60.0	66.7	78.6	55.0	65.5	70.8	58.2	50.0	50.0	54.1	67.2	57.7	64.7	33.3
3	68	37	31	0	0	2	13	12	12	17	12	0	14	11	31	11	1
	18.8	23.0	15.8	0.0	0.0	14.3	32.5	21.8	18.5	21.5	11.5	0.0	18.9	18.0	19.9	16.2	33.3
4	11	5	6	0	0	0	2	0	1	4	4	0	3	2	6	0	0
	3.0	3.1	3.1	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	1.5	5.1	3.8	0.0	4.1	3.3	3.8	0.0	0.0
5	4	0	3	1	0	0	0	0	0	0	3	1	0	2	0	1	1
	1.1	0.0	1.5	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	50.0	0.0	3.3	0.0	1.5	33.3

○人権や差別問題への関心は、「少し関心がある」が最も多く 59.7%である。

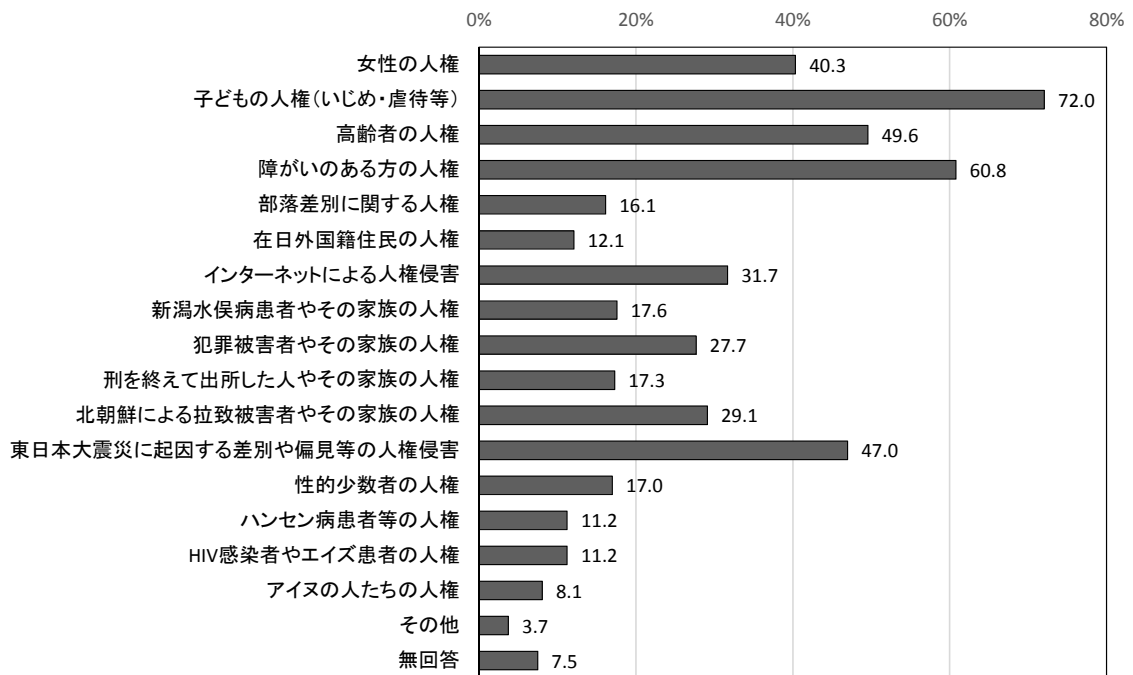
○「かなり関心がある」「少し関心がある」は合計 77.1%、「あまり関心がない」「まったく関心がない」は合計 21.8%である。

【問6】【問5】で「1~3」と答えた方にお聞きします。人権に関わる次の問題のうち、
関心があるものすべてを選んでください。(あてはまるものすべてに○)

区分	人	%
回答者数	347	100.0
1 女性の人権	140	40.3
2 子どもの人権(いじめ・虐待等)	250	72.0
3 高齢者の人権	172	49.6
4 障がいのある方の人権	211	60.8
5 部落差別に関する人権	56	16.1
6 在日外国籍住民の人権	42	12.1
7 インターネットによる人権侵害	110	31.7
8 新潟水俣病患者やその家族の人権	61	17.6
9 犯罪被害者やその家族の人権	96	27.7
10 刑を終えて出所した人やその家族の人権	60	17.3
11 北朝鮮による拉致被害者やその家族の人権	101	29.1
12 東日本大震災に起因する差別や偏見等の人権侵害	163	47.0
13 性的少数者の人権	59	17.0
14 ハンセン病患者等の人権	39	11.2
15 HIV感染者やエイズ患者の人権	39	11.2
16 アイヌの人たちの人権	28	8.1
17 その他	13	3.7
18 無回答	26	7.5

人権に関わる問題のうち、関心があるもの(複数回答)

(単位:%)



(男女別・年齢別・地区別)

上段:人 下段:%

区分	全体	男女別			年齢別									地区別				
		男性	女性	性不明	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年代不明	安田	京ヶ瀬	水原	笹神	地区不明	
回答者数	347	156	187	4	3	14	38	55	64	75	97	1	71	57	150	67	2	
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
1	140	54	85	1	1	8	24	20	29	22	35	1	24	22	70	23	1	
	40.3	34.6	45.5	25.0	33.3	57.1	63.2	36.4	45.3	29.3	36.1	100.0	33.8	38.6	46.7	34.3	50.0	
2	250	108	141	1	2	12	29	43	49	49	65	1	51	46	110	42	1	
	72.0	69.2	75.4	25.0	66.7	85.7	76.3	78.2	76.6	65.3	67.0	100.0	71.8	80.7	73.3	62.7	50.0	
3	172	74	97	1	0	2	13	20	24	43	69	1	29	27	80	35	1	
	49.6	47.4	51.9	25.0	0.0	14.3	34.2	36.4	37.5	57.3	71.1	100.0	40.8	47.4	53.3	52.2	50.0	
4	211	91	117	3	2	10	23	31	40	47	58	0	45	37	94	35	0	
	60.8	58.3	62.6	75.0	66.7	71.4	60.5	56.4	62.5	62.7	59.8	0.0	63.4	64.9	62.7	52.2	0.0	
5	56	28	27	1	1	3	6	12	11	9	14	0	10	10	29	7	0	
	16.1	17.9	14.4	25.0	33.3	21.4	15.8	21.8	17.2	12.0	14.4	0.0	14.1	17.5	19.3	10.4	0.0	
6	42	22	20	0	1	1	2	8	10	8	12	0	7	6	25	4	0	
	12.1	14.1	10.7	0.0	33.3	7.1	5.3	14.5	15.6	10.7	12.4	0.0	9.9	10.5	16.7	6.0	0.0	
7	110	54	55	1	0	4	17	22	27	17	23	0	23	18	54	15	0	
	31.7	34.6	29.4	25.0	0.0	28.6	44.7	40.0	42.2	22.7	23.7	0.0	32.4	31.6	36.0	22.4	0.0	
8	61	34	25	2	1	2	4	8	10	15	20	1	14	10	28	8	1	
	17.6	21.8	13.4	50.0	33.3	14.3	10.5	14.5	15.6	20.0	20.6	100.0	19.7	17.5	18.7	11.9	50.0	
9	96	45	51	0	0	4	12	17	15	23	25	0	22	16	45	13	0	
	27.7	28.8	27.3	0.0	0.0	28.6	31.6	30.9	23.4	30.7	25.8	0.0	31.0	28.1	30.0	19.4	0.0	
10	60	23	37	0	0	3	4	9	10	15	19	0	9	13	32	6	0	
	17.3	14.7	19.8	0.0	0.0	21.4	10.5	16.4	15.6	20.0	19.6	0.0	12.7	22.8	21.3	9.0	0.0	
11	101	45	56	0	2	3	3	5	17	28	43	0	24	19	41	17	0	
	29.1	28.8	29.9	0.0	66.7	21.4	7.9	9.1	26.6	37.3	44.3	0.0	33.8	33.3	27.3	25.4	0.0	
12	163	82	80	1	1	3	17	28	34	41	39	0	35	34	71	23	0	
	47.0	52.6	42.8	25.0	33.3	21.4	44.7	50.9	53.1	54.7	40.2	0.0	49.3	59.6	47.3	34.3	0.0	
13	59	26	33	0	0	3	11	11	9	11	14	0	7	16	23	13	0	
	17.0	16.7	17.6	0.0	0.0	21.4	28.9	20.0	14.1	14.7	14.4	0.0	9.9	28.1	15.3	19.4	0.0	
14	39	19	19	1	1	1	3	6	7	9	12	0	3	7	23	6	0	
	11.2	12.2	10.2	25.0	33.3	7.1	7.9	10.9	10.9	12.0	12.4	0.0	4.2	12.3	15.3	9.0	0.0	
15	39	17	22	0	0	2	6	6	7	11	7	0	5	12	20	2	0	
	11.2	10.9	11.8	0.0	0.0	14.3	15.8	10.9	10.9	14.7	7.2	0.0	7.0	21.1	13.3	3.0	0.0	
16	28	16	12	0	1	1	1	2	7	7	9	0	1	6	15	6	0	
	8.1	10.3	6.4	0.0	33.3	7.1	2.6	3.6	10.9	9.3	9.3	0.0	1.4	10.5	10.0	9.0	0.0	
17	13	7	6	0	0	0	2	2	5	0	4	0	1	4	7	1	0	
	3.7	4.5	3.2	0.0	0.0	0.0	5.3	3.6	7.8	0.0	4.1	0.0	1.4	7.0	4.7	1.5	0.0	
18	26	11	14	1	0	0	2	2	3	6	12	1	5	7	8	4	2	
	7.5	7.1	7.5	25.0	0.0	0.0	5.3	3.6	4.7	8.0	12.4	100.0	7.0	12.3	5.3	6.0	100.0	

○関心がある人権問題（複数回答可）は、「子どもの人権（いじめ、虐待等）」が72.0%と最も多く、次いで「障がいがある人の人権」が60.8%、「高齢者の人権」49.6%、「東日本大震災に起因する差別や偏見等の人権侵害」47.0%。「女性の人権」40.3%、「インターネットによる人権侵害」31.7%である。

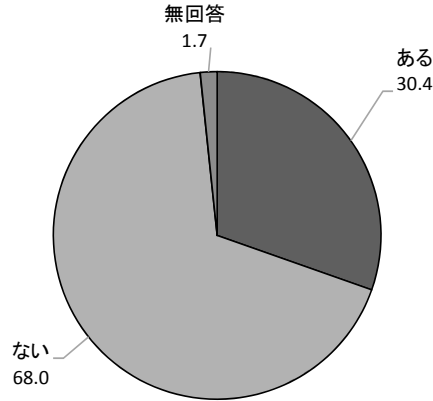
○「その他」として、「母子(父子)家庭の人権」、「生活困難者の人権」、「生活保護受給者の人権」、「日本人の人権を侵害しようとする人、団体等」、「市外からの転入者」などがあげられた。

【問7】あなたは、これまでに自分の人権が侵されたと感じたことがありますか。

(○は1つだけ)

区分		人	%
	回答者数	362	100.0
1	ある	110	30.4
2	ない	246	68.0
3	無回答	6	1.7

あなたは、これまでに自分の人権が侵されたと感じたことがありますか
(単位:%)



(男女別・年齢別・地区別)

上段:人 下段:%

区分	全体	男女別			年齢別								地区別				
		男性	女性	性不明	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年代不明	安田	京ヶ瀬	水原	笹神	地区不明
回答者数	362	161	196	5	3	14	40	55	65	79	104	2	74	61	156	68	3
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1	110	42	66	2	1	4	13	20	25	21	26	0	18	19	44	29	0
	30.4	26.1	33.7	40.0	33.3	28.6	32.5	36.4	38.5	26.6	25.0	0.0	24.3	31.1	28.2	42.6	0.0
2	246	117	127	2	2	10	27	35	40	58	73	1	56	41	111	37	1
	68.0	72.7	64.8	40.0	66.7	71.4	67.5	63.6	61.5	73.4	70.2	50.0	75.7	67.2	71.2	54.4	33.3
3	6	2	3	1	0	0	0	0	0	0	5	1	0	1	1	2	2
	1.7	1.2	1.5	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	50.0	0.0	1.6	0.6	2.9	66.7

○人権が侵害されたところが「ある」は30.4%である。

○男女別では、「ある」は男性26.1%、女性33.7%と女性が7.6ポイント多い。

○年代別では、「ある」は10代33.3%、20代28.6%、30代32.5%、40代36.4%、50代38.5%、60代26.6%、70代以上25.0%である。

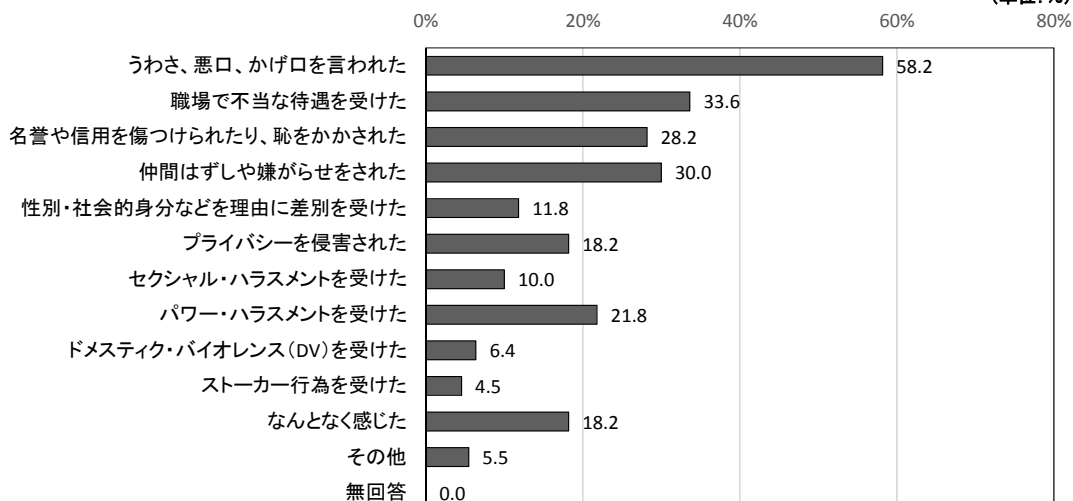
○地区別では、笹神地区は「ある」が42.6%と他地区と比較して最も多い。

【問8】【問7】で「1 ある」と答えた方にお聞きします。あなたが受けた人権侵害は次の
 どのようなことでしたか。(あてはまるものすべてに○)

区分	回答者数	人	%
1	うわさ、悪口、かげ口を言われた	64	58.2
2	職場で不当な待遇を受けた	37	33.6
3	名誉や信用を傷つけられたり、恥をかかされた	31	28.2
4	仲間はずしや嫌がらせをされた	33	30.0
5	性別・社会的身分などを理由に差別を受けた	13	11.8
6	プライバシーを侵害された	20	18.2
7	セクシャル・ハラスメントを受けた	11	10.0
8	パワー・ハラスメントを受けた	24	21.8
9	ドメスティック・バイオレンス(DV)を受けた	7	6.4
10	ストーカー行為を受けた	5	4.5
11	なんとなく感じた	20	18.2
12	その他	6	5.5
13	無回答	0	0.0

あなたが受けた人権侵害はどのようなことでしたか(複数回答)

(単位:%)



(男女別・年齢別・地区別)

上段:人 下段:%

区分	全体	男女別			年齢別									地区別				
		男性	女性	性不明	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年代不明	安田	京ヶ瀬	水原	笹神	地区不明	
回答者数	110	42	66	2	1	4	13	20	25	21	26	0	18	19	44	29	0	
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	100.0	100.0	100.0	100.0	-	
1	64	24	39	1	1	3	8	10	13	13	16	-	11	15	24	14	-	
	58.2	57.1	59.1	50.0	100.0	75.0	61.5	50.0	52.0	61.9	61.5	-	61.1	78.9	54.5	48.3	-	
2	37	14	23	0	0	1	7	7	9	6	7	-	7	8	14	8	-	
	33.6	33.3	34.8	0.0	0.0	25.0	53.8	35.0	36.0	28.6	26.9	-	38.9	42.1	31.8	27.6	-	
3	31	12	19	0	0	0	4	7	8	6	6	-	5	8	14	4	-	
	28.2	28.6	28.8	0.0	0.0	0.0	30.8	35.0	32.0	28.6	23.1	-	27.8	42.1	31.8	13.8	-	
4	33	11	21	1	0	1	8	7	6	4	7	-	5	8	14	6	-	
	30.0	26.2	31.8	50.0	0.0	25.0	61.5	35.0	24.0	19.0	26.9	-	27.8	42.1	31.8	20.7	-	
5	13	5	8	0	0	0	3	2	5	1	2	-	3	3	5	2	-	
	11.8	11.9	12.1	0.0	0.0	0.0	23.1	10.0	20.0	4.8	7.7	-	16.7	15.8	11.4	6.9	-	
6	20	6	13	1	0	0	3	4	4	4	5	-	3	4	11	2	-	
	18.2	14.3	19.7	50.0	0.0	0.0	23.1	20.0	16.0	19.0	19.2	-	16.7	21.1	25.0	6.9	-	
7	11	0	11	0	0	1	4	3	2	0	1	-	1	1	4	5	-	
	10.0	0.0	16.7	0.0	0.0	25.0	30.8	15.0	8.0	0.0	3.8	-	5.6	5.3	9.1	17.2	-	
8	24	14	9	1	0	1	5	7	6	4	1	-	5	4	11	4	-	
	21.8	33.3	13.6	50.0	0.0	25.0	38.5	35.0	24.0	19.0	3.8	-	27.8	21.1	25.0	13.8	-	
9	7	0	7	0	0	0	2	1	2	0	2	-	1	0	2	4	-	
	6.4	0.0	10.6	0.0	0.0	0.0	15.4	5.0	8.0	0.0	7.7	-	5.6	0.0	4.5	13.8	-	
10	5	2	3	0	0	0	4	0	1	0	0	-	1	1	1	2	-	
	4.5	4.8	4.5	0.0	0.0	0.0	30.8	0.0	4.0	0.0	0.0	-	5.6	5.3	2.3	6.9	-	
11	20	7	13	0	0	0	1	5	5	4	5	-	2	5	6	7	-	
	18.2	16.7	19.7	0.0	0.0	0.0	7.7	25.0	20.0	19.0	19.2	-	11.1	26.3	13.6	24.1	-	
12	6	1	5	0	0	0	1	0	3	1	1	-	1	1	3	1	-	
	5.5	2.4	7.6	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	12.0	4.8	3.8	-	5.6	5.3	6.8	3.4	-	
13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	-	
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0	-	

○受けたことのある人権侵害（複数回答可）は、「うわさ、悪口、かげ口を言われた」58.2%、「職場で不当な待遇を受けた」33.6%、「仲間はずしや嫌がらせをされた」30.0%、「名誉や信用を傷つけられたり、恥をかかされた」28.2%、「パワー・ハラスメントを受けた」21.8%の順である。

○「その他」として、「インターネットの書き込みにて誹謗、中傷された」、「警察による守秘義務違反（警察にありのまま答えたら、第三者に私が言っていたと言われた）」、「地域差別（40年ほど前に分田小学校から水原中学校へ行ったとき）」などがあげられた。

○地区別では、笹神地区で「セクシャル・ハラスメントを受けた」が17.2%、「ドメスティック・バイオレンスを受けた」が13.8%と他地区と比較して最も多い。

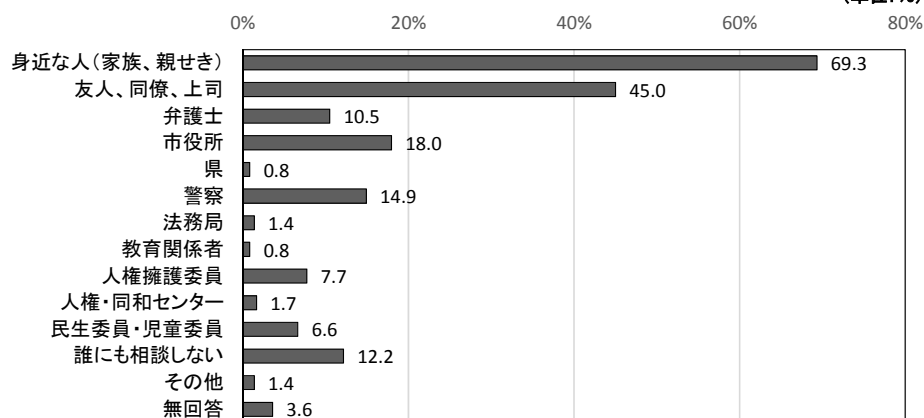
【問9】あなたの人権が侵害されたときには、誰に相談しますか。

(あてはまるものすべてに○)

区分	人	%
回答者数	362	100.0
1 身近な人(家族、親せき)	251	69.3
2 友人、同僚、上司	163	45.0
3 弁護士	38	10.5
4 市役所	65	18.0
5 県	3	0.8
6 警察	54	14.9
7 法務局	5	1.4
8 教育関係者	3	0.8
9 人権擁護委員	28	7.7
10 人権・同和センター	6	1.7
11 民生委員・児童委員	24	6.6
12 誰にも相談しない	44	12.2
13 その他	5	1.4
14 無回答	13	3.6

あなたの人権が侵害されたときには、誰に相談しますか(複数回答)

(単位:%)



(男女別・年齢別・地区別)

上段:人 下段:%

区分	全体	男女別			年齢別									地区別				
		男性	女性	性不明	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年代不明	安田	京ヶ瀬	水原	笹神	地区不明	
回答者数	362	161	196	5	3	14	40	55	65	79	104	2	74	61	156	68	3	
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
1	251 69.3	99 61.5	151 77.0	1 20.0	3 100.0	13 92.9	28 70.0	39 70.9	45 69.2	50 63.3	73 70.2	0 0.0	51 68.9	49 80.3	114 73.1	37 54.4	0 0.0	
2	163 45.0	71 44.1	91 46.4	1 20.0	2 66.7	9 64.3	23 57.5	29 52.7	35 53.8	32 40.5	33 31.7	0 0.0	38 51.4	29 47.5	63 40.4	33 48.5	0 0.0	
3	38 10.5	22 13.7	16 8.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 7.5	7 12.7	6 9.2	11 13.9	11 10.6	0 0.0	7 9.5	7 11.5	17 10.9	7 10.3	0 0.0	
4	65 18.0	36 22.4	29 14.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 12.5	4 7.3	5 7.7	18 22.8	33 31.7	0 0.0	10 13.5	12 19.7	30 19.2	12 17.6	1 33.3	
5	3 0.8	1 0.6	2 1.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.8	1 1.5	0 0.0	1 1.0	0 0.0	1 1.4	1 1.6	1 0.6	0 0.0	0 0.0	
6	54 14.9	27 16.8	27 13.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 12.5	4 7.3	8 12.3	12 15.2	25 24.0	0 0.0	8 10.8	9 14.8	28 17.9	9 13.2	0 0.0	
7	5 1.4	4 2.5	1 0.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.3	4 3.8	0 0.0	1 1.4	1 1.6	3 1.9	0 0.0	0 0.0	
8	3 0.8	1 0.6	2 1.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.5	1 1.8	0 0.0	0 0.0	1 1.0	0 0.0	2 2.7	0 0.0	1 0.6	0 0.0	0 0.0	
9	28 7.7	15 9.3	13 6.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 5.5	2 3.1	7 8.9	16 15.4	0 0.0	4 5.4	5 8.2	16 10.3	3 4.4	0 0.0	
10	6 1.7	2 1.2	4 2.0	0 0.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	1 1.5	1 1.3	3 2.9	0 0.0	1 1.4	2 3.3	3 1.9	0 0.0	0 0.0	
11	24 6.6	10 6.2	13 6.6	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.5	5 6.3	17 16.3	1 50.0	3 4.1	4 6.6	11 7.1	5 7.4	1 33.3	
12	44 12.2	20 12.4	22 11.2	2 40.0	0 0.0	2 14.3	8 20.0	7 12.7	9 13.8	10 12.7	8 7.7	0 0.0	10 13.5	8 13.1	18 11.5	8 11.8	0 0.0	
13	5 1.4	2 1.2	3 1.5	0 0.0	0 0.0	1 7.1	1 2.5	0 0.0	2 3.1	1 1.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 3.3	1 0.6	2 2.9	0 0.0	
14	13 3.6	5 3.1	7 3.6	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.8	1 1.5	5 6.3	5 4.8	1 50.0	2 2.7	2 3.3	4 2.6	4 5.9	1 33.3	

- 人権が侵害されたときの相談相手(複数回答可)は、「身近な人(家族、親戚)」が69.3%と最も多く、次いで「友人、同僚、上司」45.0%と周囲の人に相談することが多い。公的機関では「市役所」18.0%、「警察」14.9%が多く、「誰にも相談しない」は12.2%である。
- 「その他」として、「医療機関、カウンセラー」、「人権侵害の程度や内容によって相談する人が違う」などがあげられた。
- 男女別では、「身近な人(家族、親戚)」は男性61.5%、女性77.0%と女性が15.5ポイント多い。また、「市役所」は男性22.4%、女性14.8%と男性が7.6ポイント多く、「警察」は男性16.8%、女性13.8%と男性が3.0ポイント多い。
- 地区別では、「身近な人(家族、親戚)」は京ヶ瀬地区が80.9%と最も多く、次いで水原地区が73.1%、安田地区が68.9%、笹神地区が54.4%である。

2 女性の人権に関する問題について

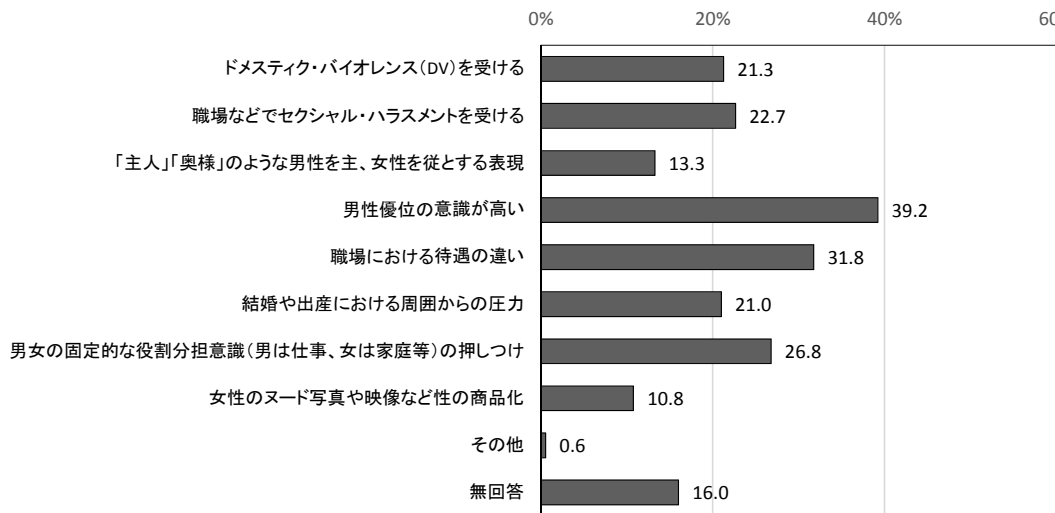
【問 10】女性の人権について尊重されていないと思うことを次の中から選んでください。

(○は3つまで)

区分	人	%
回答者数	362	100.0
1 ドメスティック・バイオレンス(DV)を受ける	77	21.3
2 職場などでセクシャル・ハラスメントを受ける	82	22.7
3 「主人」「奥様」のような男性を主、女性を従とする表現	48	13.3
4 男性優位の意識が高い	142	39.2
5 職場における待遇の違い	115	31.8
6 結婚や出産における周囲からの圧力	76	21.0
7 男女の固定的な役割分担意識(男は仕事、女は家庭等)の押しつけ	97	26.8
8 女性のヌード写真や映像など性の商品化	39	10.8
9 その他	2	0.6
無回答	58	16.0

女性の人権について尊重されていないと思うこと(複数回答)

(単位:%)



(男女別・年齢別・地区別)

上段:人 下段:%

区分	全体	男女別			年齢別								地区別				
		男性	女性	性不明	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年代不明	安田	京ヶ瀬	水原	笹神	地区不明
回答者数	362	161	196	5	3	14	40	55	65	79	104	2	74	61	156	68	3
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1	77	32	45	0	0	2	14	16	14	16	15	0	15	13	33	16	0
	21.3	19.9	23.0	0.0	0.0	14.3	35.0	29.1	21.5	20.3	14.4	0.0	20.3	21.3	21.2	23.5	0.0
2	82	40	42	0	1	2	13	12	19	13	22	0	21	15	34	12	0
	22.7	24.8	21.4	0.0	33.3	14.3	32.5	21.8	29.2	16.5	21.2	0.0	28.4	24.6	21.8	17.6	0.0
3	48	22	26	0	0	1	4	8	10	10	15	0	13	7	18	10	0
	13.3	13.7	13.3	0.0	0.0	7.1	10.0	14.5	15.4	12.7	14.4	0.0	17.6	11.5	11.5	14.7	0.0
4	142	65	76	1	1	6	15	16	24	39	41	0	28	20	64	30	0
	39.2	40.4	38.8	20.0	33.3	42.9	37.5	29.1	36.9	49.4	39.4	0.0	37.8	32.8	41.0	44.1	0.0
5	115	58	56	1	2	6	9	15	27	29	27	0	26	15	54	20	0
	31.8	36.0	28.6	20.0	66.7	42.9	22.5	27.3	41.5	36.7	26.0	0.0	35.1	24.6	34.6	29.4	0.0
6	76	34	41	1	0	8	14	18	12	10	14	0	17	15	30	14	0
	21.0	21.1	20.9	20.0	0.0	57.1	35.0	32.7	18.5	12.7	13.5	0.0	23.0	24.6	19.2	20.6	0.0
7	97	37	58	2	1	4	13	13	18	24	24	0	18	17	44	18	0
	26.8	23.0	29.6	40.0	33.3	28.6	32.5	23.6	27.7	30.4	23.1	0.0	24.3	27.9	28.2	26.5	0.0
8	39	16	23	0	0	2	1	4	6	10	16	0	10	7	15	7	0
	10.8	9.9	11.7	0.0	0.0	14.3	2.5	7.3	9.2	12.7	15.4	0.0	13.5	11.5	9.6	10.3	0.0
9	2	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0
	0.6	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	1.5	0.0
10	58	22	33	3	0	1	3	5	9	10	28	2	8	12	26	9	3
	16.0	13.7	16.8	60.0	0.0	7.1	7.5	9.1	13.8	12.7	26.9	100.0	10.8	19.7	16.7	13.2	100.0

○女性の人権について尊重されていないと思うこと（3つまで可）は、「男性優位の意識が高い」39.2%、「職場における待遇の違い」31.8%、「男女の固定的な役割分担意識(男は仕事、女は家庭等)の押し付け」26.8%の順である。

○男女別では、男女でポイントに大きく差が見られた回答は、「職場における待遇の違い」が男性36.0%、女性28.6%で男性が7.4ポイント多く、「男女の固定的な役割分担意識(男は仕事、女は家庭等)」が男性23.0%、女性29.6%で女性が6.6ポイント多い。

○年代別では、「ドメスティック・バイオレンス(DV)を受ける」は30代35.0%が最も多い。

○地区別では、笹神地区で「男性優位の意識が高い」が44.1%と他地区と比較して最も多い。

○「結婚や出産における周囲からの圧力」は20代57.1%が最も多い。

○「その他」として、「女性のシングルマザー人権問題、生活費、子ども問題」があげられた。

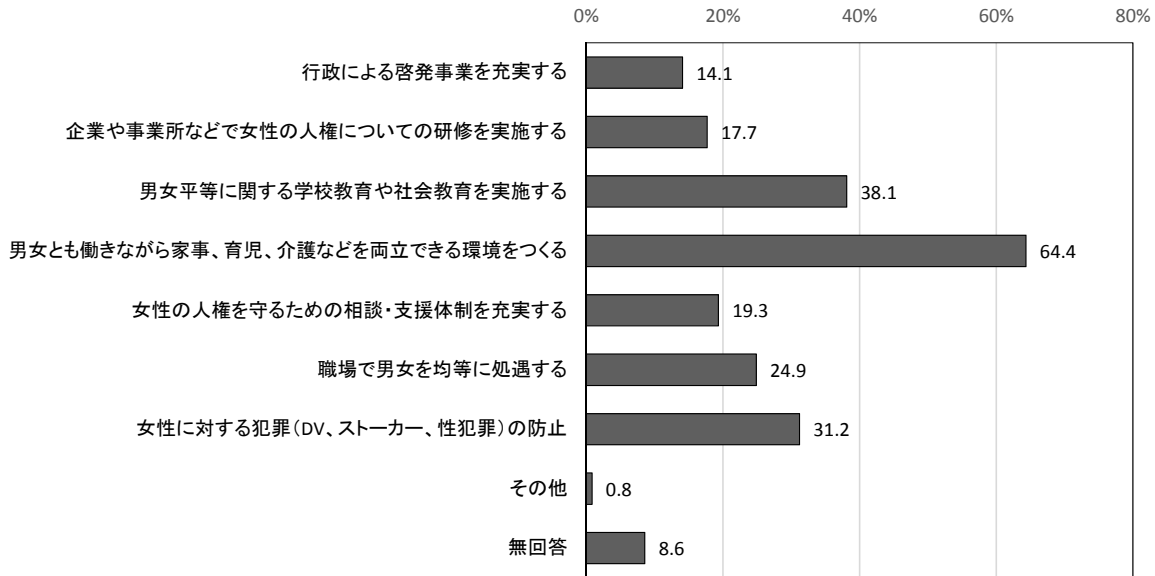
【問 11】 女性の人権を守るために必要と思われることを次の中から選んでください。

(○は3つまで)

区分	人	%
回答者数	362	100.0
1 行政による啓発事業を充実する	51	14.1
2 企業や事業所などで女性の人権についての研修を実施する	64	17.7
3 男女平等に関する学校教育や社会教育を実施する	138	38.1
4 男女とも働きながら家事、育児、介護などを両立できる環境をつくる	233	64.4
5 女性の人権を守るための相談・支援体制を充実する	70	19.3
6 職場で男女を均等に処遇する	90	24.9
7 女性に対する犯罪(DV、ストーカー、性犯罪)の防止	113	31.2
8 その他	3	0.8
9 無回答	31	8.6

女性の人権を守るために必要と思われること(複数回答)

(単位:%)



(男女別・年齢別・地区別)

上段:人 下段:%

区分	全体	男女別			年齢別									地区別				
		男性	女性	性不明	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年代不明	安田	京ヶ瀬	水原	笹神	地区不明	
回答者数	362	161	196	5	3	14	40	55	65	79	104	2	74	61	156	68	3	
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
1	51 14.1	30 18.6	21 10.7	0 0.0	0 0.0	2 14.3	4 10.0	3 5.5	6 9.2	14 17.7	22 21.2	0 0.0	10 13.5	6 9.8	26 16.7	9 13.2	0 0.0	
2	64 17.7	29 18.0	33 16.8	2 4.0	0 0.0	3 21.4	4 10.0	7 12.7	12 18.5	23 29.1	14 13.5	1 50.0	15 20.3	4 6.6	28 17.9	16 23.5	1 33.3	
3	138 38.1	56 34.8	80 40.8	2 4.0	0 0.0	9 64.3	24 60.0	17 30.9	15 23.1	33 41.8	39 37.5	1 50.0	30 40.5	28 45.9	50 32.1	29 42.6	1 33.3	
4	233 64.4	95 59.0	137 69.9	1 20.0	3 100.0	8 57.1	29 72.5	35 63.6	39 60.0	53 67.1	66 63.5	0 0.0	43 58.1	40 65.6	103 66.0	47 69.1	0 0.0	
5	70 19.3	31 19.3	39 19.9	0 0.0	0 0.0	4 28.6	6 15.0	11 20.0	14 21.5	14 17.7	21 20.2	0 0.0	14 18.9	11 18.0	30 19.2	15 22.1	0 0.0	
6	90 24.9	44 27.3	45 23.0	1 20.0	1 33.3	5 35.7	7 17.5	17 30.9	19 29.2	16 20.3	25 24.0	0 0.0	24 32.4	15 24.6	35 22.4	15 22.1	1 33.3	
7	113 31.2	50 31.1	63 32.1	0 0.0	1 33.3	2 14.3	16 40.0	20 36.4	22 33.8	26 32.9	26 25.0	0 0.0	26 35.1	20 32.8	49 31.4	18 26.5	0 0.0	
8	3 0.8	1 0.6	2 1.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 3.1	1 1.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.6	1 0.6	1 1.5	0 0.0	
9	31 8.6	11 6.8	18 9.2	2 40.0	0 0.0	1 7.1	2 5.0	4 7.3	4 6.2	5 6.3	14 13.5	1 50.0	4 5.4	7 11.5	16 10.3	3 4.4	1 33.3	

- 女性の人権を守るために必要と思われること(3つまで可)は、「男女とも働きながら家事、育児、介護など両立できる環境を作る」64.4%、「男女平等に対する学校教育や社会教育を実施する」38.1%、「女性に対する犯罪(DV、ストーカー、性犯罪)の防止」31.2%の順である。
- 「その他」として、「高齢者の意識改革(戦前生まれの人は男女平等とは考えていない)」などがあげられた。
- 男女別では、「行政による啓発事業を充実する」は男性18.6%、女性10.7%と男性が7.9ポイント多い。また、「男女とも働きながら家事、育児、介護など両立できる環境をつくる」は男性59.0%、女性69.9%と女性が10.9ポイント多く、「男女平等に対する学校教育や社会教育を実施する」は男性34.8%、女性40.8%と女性が6.0ポイント多い。

3 子どもの人権に関する問題について

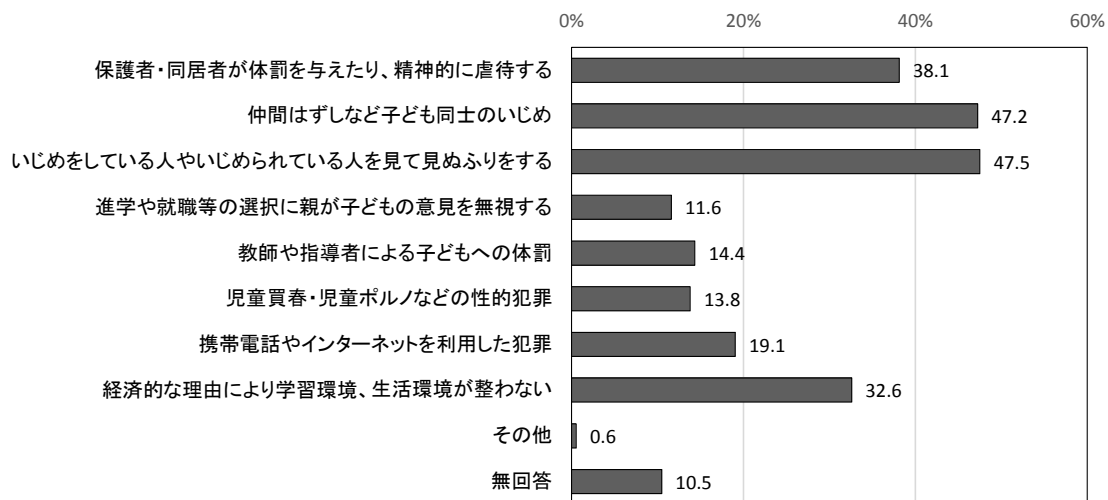
【問 12】子どもの人権について尊重されていないと思うことを次の中から選んでください。

(○は3つまで)

区分	人	%
回答者数	362	100.0
1 保護者・同居者が体罰を与えたり、精神的に虐待する	138	38.1
2 仲間はずしなど子ども同士のいじめ	171	47.2
3 いじめをしている人やいじめられている人を見て見ぬふりをする	172	47.5
4 進学や就職等の選択に親が子どもの意見を無視する	42	11.6
5 教師や指導者による子どもへの体罰	52	14.4
6 児童買春・児童ポルノなどの性的犯罪	50	13.8
7 携帯電話やインターネットを利用した犯罪	69	19.1
8 経済的な理由により学習環境、生活環境が整わない	118	32.6
9 その他	2	0.6
10 無回答	38	10.5

子どもの人権について尊重されていないと思うこと(複数回答)

(単位:%)



(男女別・年齢別・地区別)

上段:人 下段:%

区分	全体	男女別			年齢別									地区別				
		男性	女性	性不明	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年代不明	安田	京ヶ瀬	水原	笹神	地区不明	
回答者数	362 100.0	161 100.0	196 100.0	5 100.0	3 100.0	14 100.0	40 100.0	55 100.0	65 100.0	79 100.0	104 100.0	2 100.0	74 100.0	61 100.0	156 100.0	68 100.0	3 100.0	
1	138 38.1	60 37.3	77 39.3	1 20.0	2 66.7	7 50.0	20 50.0	23 41.8	27 41.5	24 30.4	35 33.7	0 0.0	29 39.2	21 34.4	58 37.2	30 44.1	0 0.0	
2	171 47.2	85 52.8	83 42.3	3 60.0	2 66.7	7 50.0	16 40.0	28 50.9	27 41.5	49 62.0	41 39.4	1 50.0	37 50.0	28 45.9	71 45.5	34 50.0	1 33.3	
3	172 47.5	79 49.1	92 46.9	1 20.0	1 33.3	7 50.0	18 45.0	26 47.3	28 43.1	42 53.2	50 48.1	0 0.0	37 50.0	24 39.3	75 48.1	36 52.9	0 0.0	
4	42 11.6	15 9.3	26 13.3	1 20.0	0 0.0	3 21.4	4 10.0	2 3.6	9 13.8	8 10.1	16 15.4	0 0.0	11 14.9	5 8.2	21 13.5	5 7.4	0 0.0	
5	52 14.4	26 16.1	25 12.8	1 20.0	1 33.3	1 7.1	5 12.5	9 16.4	8 12.3	12 15.2	16 15.4	0 0.0	9 12.2	7 11.5	28 17.9	8 11.8	0 0.0	
6	50 13.8	18 11.2	32 16.3	0 0.0	0 0.0	2 14.3	8 20.0	12 21.8	6 9.2	8 10.1	14 13.5	0 0.0	13 17.6	10 16.4	21 13.5	6 8.8	0 0.0	
7	69 19.1	29 18.0	40 20.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 17.5	9 16.4	14 21.5	22 27.8	17 16.3	0 0.0	16 21.6	13 21.3	26 16.7	14 20.6	0 0.0	
8	118 32.6	58 36.0	59 30.1	1 20.0	0 0.0	5 35.7	11 27.5	16 29.1	29 44.6	30 38.0	26 25.0	1 50.0	19 25.7	23 37.7	54 34.6	21 30.9	1 33.3	
9	2 0.6	1 0.6	1 0.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.5	0 0.0	1 1.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.6	1 0.6	0 0.0	0 0.0	
10	38 10.5	12 7.5	24 12.2	2 40.0	0 0.0	2 14.3	4 10.0	7 12.7	4 6.2	2 2.5	18 17.3	1 50.0	6 8.1	8 13.1	17 10.9	5 7.4	2 66.7	

○子どもの人権について尊重されていないと思うこと（3つまで可）は、「いじめをしている人やいじめられている人を見て見ぬふりをする」の47.5%と、「仲間はずしなど子ども同士のいじめ」の47.2%がほぼ同じ割合で多く、次いで「保護者・同居者が体罰を与えたり、精神的に虐待する」38.1%、「経済的理由により学習環境、生活環境が整わない」32.6%、「携帯電話やインターネットを利用した犯罪」19.1%の順である。

○「その他」として、「親が子どもを『自分の所有物』と考え、親自身の考え方を子どもに押し付け、子どもの意見や気持ちに耳を傾けず、すべて親の思い通りにしようとする事」、「いじめをすべて大人が介入して解決すること」などがあげられた。

○地区別では、「いじめをしている人やいじめられている人を見て見ぬふりをする」は笹神地区で52.9%と最も多く、次いで安田地区50.0%、水原地区48.1%、京ヶ瀬地区39.3%の順となっている。また、「経済的理由により学習環境、生活環境が整わない」は京ヶ瀬地区で37.7%と最も多く、次いで水原地区34.6%、笹神地区30.9%、安田地区25.7%の順となっている。

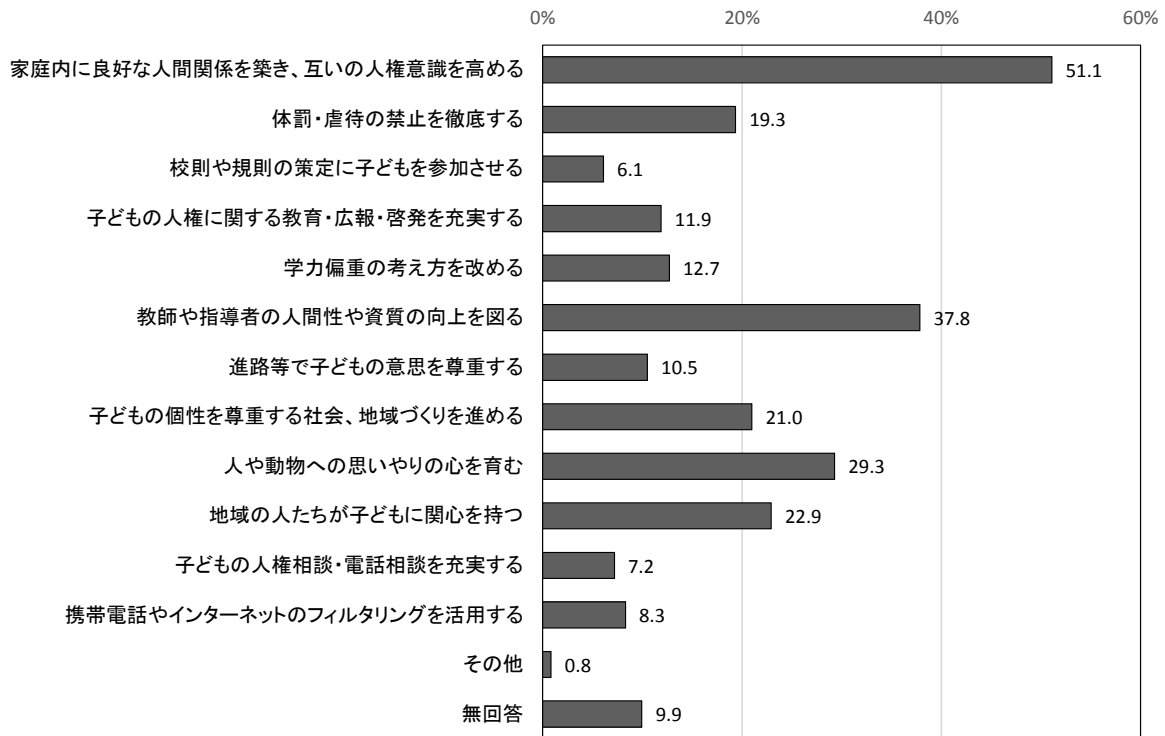
【問 13】子どもの人権を守るために必要と思われることを次の中から選んでください。

(○は3つまで)

区分	人	%
回答者数	362	100.0
1 家庭内に良好な人間関係を築き、互いの人権意識を高める	185	51.1
2 体罰・虐待の禁止を徹底する	70	19.3
3 校則や規則の策定に子どもを参加させる	22	6.1
4 子どもの人権に関する教育・広報・啓発を充実する	43	11.9
5 学力偏重の考え方を改める	46	12.7
6 教師や指導者の人間性や資質の向上を図る	137	37.8
7 進路等で子どもの意思を尊重する	38	10.5
8 子どもの個性を尊重する社会、地域づくりを進める	76	21.0
9 人や動物への思いやりの心を育む	106	29.3
10 地域の人たちが子どもに関心を持つ	83	22.9
11 子どもの人権相談・電話相談を充実する	26	7.2
12 携帯電話やインターネットのフィルタリングを活用する	30	8.3
13 その他	3	0.8
14 無回答	36	9.9

子どもの人権を守るために必要と思われること(複数回答)

(単位:%)



(男女別・年齢別・地区別)

上段:人 下段:%

区分	全体	男女別			年齢別									地区別				
		男性	女性	性不明	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年代不明	安田	京ヶ瀬	水原	笹神	地区不明	
回答者数	362	161	196	5	3	14	40	55	65	79	104	2	74	61	156	68	3	
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
1	185	81	103	1	1	9	17	30	34	37	57	0	40	32	80	33	0	
	51.1	50.3	52.6	20.0	33.3	64.3	42.5	54.5	52.3	46.8	54.8	0.0	54.1	52.5	51.3	48.5	0.0	
2	70	34	36	0	1	5	10	14	11	13	16	0	15	9	28	18	0	
	19.3	21.1	18.4	0.0	33.3	35.7	25.0	25.5	16.9	16.5	15.4	0.0	20.3	14.8	17.9	26.5	0.0	
3	22	10	12	0	0	0	0	0	4	9	9	0	4	2	9	7	0	
	6.1	6.2	6.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.2	11.4	8.7	0.0	5.4	3.3	5.8	10.3	0.0	
4	43	29	14	0	0	3	3	8	10	13	6	0	9	5	18	11	0	
	11.9	18.0	7.1	0.0	0.0	21.4	7.5	14.5	15.4	16.5	5.8	0.0	12.2	8.2	11.5	16.2	0.0	
5	46	25	20	1	0	0	4	3	12	8	19	0	6	9	24	7	0	
	12.7	15.5	10.2	20.0	0.0	0.0	10.0	5.5	18.5	10.1	18.3	0.0	8.1	14.8	15.4	10.3	0.0	
6	137	60	76	1	1	7	18	17	25	36	33	0	25	22	68	22	0	
	37.8	37.3	38.8	20.0	33.3	50.0	45.0	30.9	38.5	45.6	31.7	0.0	33.8	36.1	43.6	32.4	0.0	
7	38	10	27	1	0	3	3	6	5	4	17	0	7	7	14	10	0	
	10.5	6.2	13.8	20.0	0.0	21.4	7.5	10.9	7.7	5.1	16.3	0.0	9.5	11.5	9.0	14.7	0.0	
8	76	35	41	0	0	4	11	13	8	23	17	0	22	10	27	17	0	
	21.0	21.7	20.9	0.0	0.0	28.6	27.5	23.6	12.3	29.1	16.3	0.0	29.7	16.4	17.3	25.0	0.0	
9	106	41	65	0	3	2	13	13	22	24	29	0	19	24	43	20	0	
	29.3	25.5	33.2	0.0	100.0	14.3	32.5	23.6	33.8	30.4	27.9	0.0	25.7	39.3	27.6	29.4	0.0	
10	83	36	46	1	1	3	9	11	15	20	24	0	22	14	36	11	0	
	22.9	22.4	23.5	20.0	33.3	21.4	22.5	20.0	23.1	25.3	23.1	0.0	29.7	23.0	23.1	16.2	0.0	
11	26	12	14	0	0	2	2	4	4	7	7	0	8	3	12	3	0	
	7.2	7.5	7.1	0.0	0.0	14.3	5.0	7.3	6.2	8.9	6.7	0.0	10.8	4.9	7.7	4.4	0.0	
12	30	11	19	0	0	0	7	7	5	4	7	0	6	9	7	8	0	
	8.3	6.8	9.7	0.0	0.0	0.0	17.5	12.7	7.7	5.1	6.7	0.0	8.1	14.8	4.5	11.8	0.0	
13	3	1	2	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	1	2	0	0	
	0.8	0.6	1.0	0.0	0.0	0.0	5.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	1.3	0.0	0.0	
14	36	12	21	3	0	1	2	7	6	4	14	2	7	7	16	3	3	
	9.9	7.5	10.7	60.0	0.0	7.1	5.0	12.7	9.2	5.1	13.5	100.0	9.5	11.5	10.3	4.4	100.0	

○子どもの人権を守るために必要だと思われること（3つまで可）は、「家庭内に良好な人間関係を築き、互いの人権意識を高める」51.1%、「教師や指導者の人間性や資質の向上を図る」37.8%、「人や動物への思いやりの心を育む」29.3%、「地域の人たちが子どもに関心を持つ」22.9%、「子どもの個性を尊重する社会、地域づくりを進める」21%の順である。

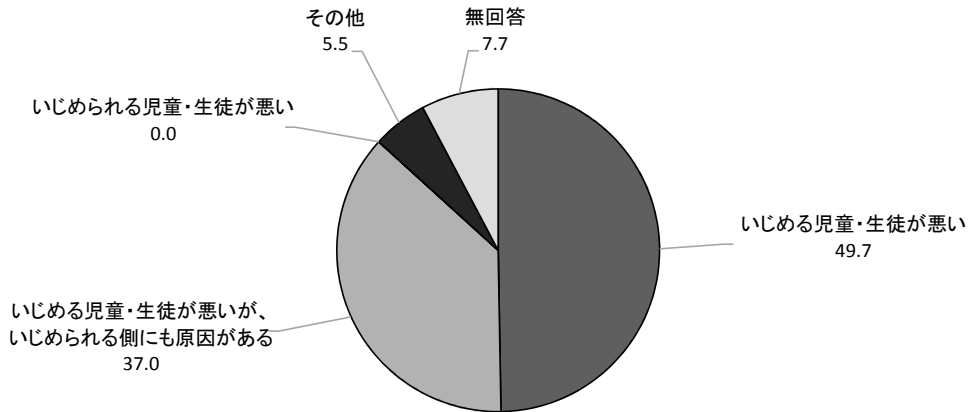
○「その他」として、「幼児期より道德教育を徹底する」、「自分と自分を取り巻く人々を大切にできる環境を一人ひとりが意識していくこと」などがあげられた。

【問 14】あなたは、いじめ問題についてどのように思いますか。(○は1つだけ)

区分	回答者数	人	%
1	いじめる児童・生徒が悪い	180	49.7
2	いじめる児童・生徒が悪いが、いじめられる側にも原因がある	134	37.0
3	いじめられる児童・生徒が悪い	0	0.0
4	その他	20	5.5
5	無回答	28	7.7

あなたは、いじめ問題についてどのように思いますか

(単位:%)



(男女別・年齢別・地区別)

上段:人 下段:%

区分	全体	男女別			年齢別									地区別				
		男性	女性	性不明	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年代不明	安田	京ヶ瀬	水原	笹神	地区不明	
回答者数	362	161	196	5	3	14	40	55	65	79	104	2	74	61	156	68	3	
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
1	180	81	96	3	1	9	26	23	31	43	46	1	39	27	80	33	1	
	49.7	50.3	49.0	60.0	33.3	64.3	65.0	41.8	47.7	54.4	44.2	50.0	52.7	44.3	51.3	48.5	33.3	
2	134	61	73	0	2	5	12	23	26	26	40	0	30	23	53	27	1	
	37.0	37.9	37.2	0.0	66.7	35.7	30.0	41.8	40.0	32.9	38.5	0.0	40.5	37.7	34.0	39.7	33.3	
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
4	20	8	12	0	0	0	1	6	5	7	1	0	2	5	10	3	0	
	5.5	5.0	6.1	0.0	0.0	0.0	2.5	10.9	7.7	8.9	1.0	0.0	2.7	8.2	6.4	4.4	0.0	
5	28	11	15	2	0	0	1	3	3	3	17	1	3	6	13	5	1	
	7.7	6.8	7.7	40.0	0.0	0.0	2.5	5.5	4.6	3.8	16.3	50.0	4.1	9.8	8.3	7.4	33.3	

○いじめ問題についてどう思うかは、「いじめる児童・生徒が悪い」が49.7%と最も多く、次いで「いじめる児童・生徒が悪いが、いじめられる側にも原因がある」が37.0%である。

○「その他」として、「いじめる児童も傷ついて、ストレスで誰かをいじているのかもしれない。両方のフォローが必要」、「教師・学校の姿勢」、「家庭環境に問題がある」、「全て悪い」、「単純にどちらが良い悪いではなく、一つひとつの背景を丁寧にみていくこと」、「いじめの根本的問題を考えることが必要」などがあげられた。

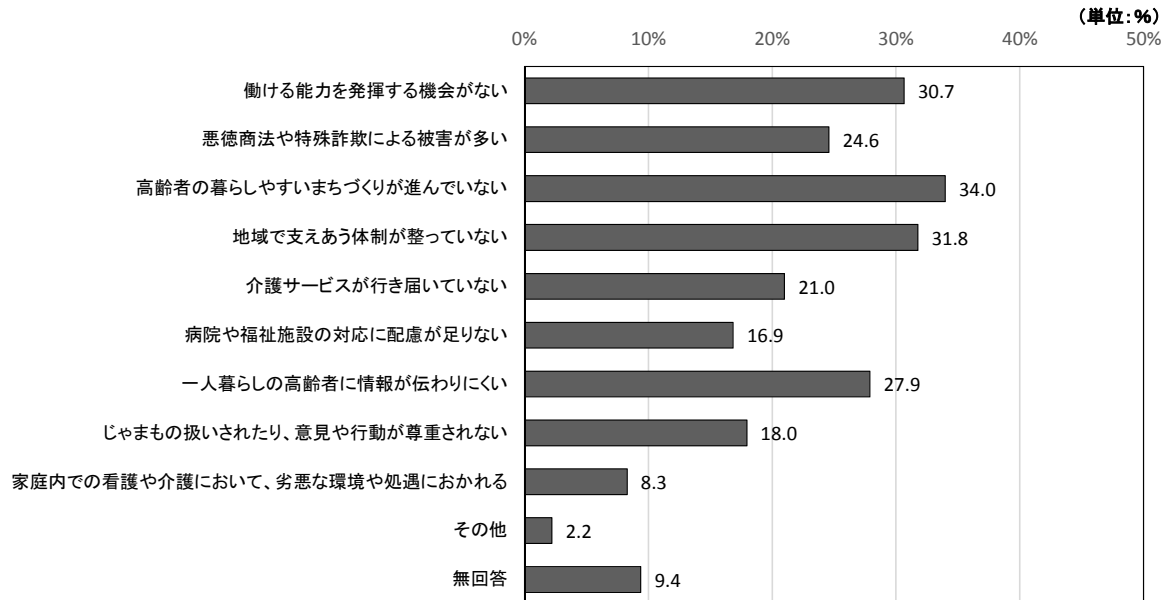
4 高齢者の人権に関する問題について

【問 15】 高齢者の人権について尊重されていないと思うことを次の中から選んでください。

(○は3つまで)

区分	人	%
回答者数	362	100.0
1 働ける能力を発揮する機会がない	111	30.7
2 悪徳商法や特殊詐欺による被害が多い	89	24.6
3 高齢者の暮らしやすいまちづくりが進んでいない	123	34.0
4 地域で支えあう体制が整っていない	115	31.8
5 介護サービスが行き届いていない	76	21.0
6 病院や福祉施設の対応に配慮が足りない	61	16.9
7 一人暮らしの高齢者に情報が伝わりにくい	101	27.9
8 じゃまもの扱いされたり、意見や行動が尊重されない	65	18.0
9 家庭内での看護や介護において、劣悪な環境や処遇におかれる	30	8.3
10 その他	8	2.2
11 無回答	34	9.4

高齢者の人権について尊重されていないと思うこと(複数回答)



(男女別・年齢別・地区別)

上段:人 下段:%

区分	全体	男女別			年齢別									地区別				
		男性	女性	性不明	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年代不明	安田	京ヶ瀬	水原	笹神	地区不明	
回答者数	362	161	196	5	3	14	40	55	65	79	104	2	74	61	156	68	3	
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
1	111	50	60	1	0	5	20	18	20	23	25	0	18	24	50	19	0	
	30.7	31.1	30.6	20.0	0.0	35.7	50.0	32.7	30.8	29.1	24.0	0.0	24.3	39.3	32.1	27.9	0.0	
2	89	40	49	0	1	3	10	18	16	21	20	0	18	16	42	13	0	
	24.6	24.8	25.0	0.0	33.3	21.4	25.0	32.7	24.6	26.6	19.2	0.0	24.3	26.2	26.9	19.1	0.0	
3	123	58	65	0	1	5	9	14	26	28	40	0	24	27	50	22	0	
	34.0	36.0	33.2	0.0	33.3	35.7	22.5	25.5	40.0	35.4	38.5	0.0	32.4	44.3	32.1	32.4	0.0	
4	115	53	61	1	0	1	9	17	15	30	43	0	25	21	44	24	1	
	31.8	32.9	31.1	20.0	0.0	7.1	22.5	30.9	23.1	38.0	41.3	0.0	33.8	34.4	28.2	35.3	33.3	
5	76	29	46	1	1	7	11	10	14	16	17	0	15	11	34	15	1	
	21.0	18.0	23.5	20.0	33.3	50.0	27.5	18.2	21.5	20.3	16.3	0.0	20.3	18.0	21.8	22.1	33.3	
6	61	29	32	0	0	3	2	10	5	17	24	0	9	4	33	15	0	
	16.9	18.0	16.3	0.0	0.0	21.4	5.0	18.2	7.7	21.5	23.1	0.0	12.2	6.6	21.2	22.1	0.0	
7	101	48	51	2	0	6	13	19	15	22	26	0	26	18	42	15	0	
	27.9	29.8	26.0	40.0	0.0	42.9	32.5	34.5	23.1	27.8	25.0	0.0	35.1	29.5	26.9	22.1	0.0	
8	65	26	38	1	1	3	10	12	12	15	12	0	14	10	21	20	0	
	18.0	16.1	19.4	20.0	33.3	21.4	25.0	21.8	18.5	19.0	11.5	0.0	18.9	16.4	13.5	29.4	0.0	
9	30	13	17	0	2	2	3	5	7	5	6	0	10	1	15	4	0	
	8.3	8.1	8.7	0.0	66.7	14.3	7.5	9.1	10.8	6.3	5.8	0.0	13.5	1.6	9.6	5.9	0.0	
10	8	2	6	0	0	0	1	0	4	3	0	0	2	2	4	0	0	
	2.2	1.2	3.1	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	6.2	3.8	0.0	0.0	2.7	3.3	2.6	0.0	0.0	
11	34	11	21	2	0	0	3	6	7	0	16	2	10	5	12	5	2	
	9.4	6.8	10.7	40.0	0.0	0.0	7.5	10.9	10.8	0.0	15.4	100.0	13.5	8.2	7.7	7.4	66.7	

○高齢者の人権について尊重されていないと思うことは、「高齢者の暮らしやすいまちづくりが進んでいない」34.0%、「地域で支えあう体制が整っていない」31.8%、「働ける能力を發揮する機会がない」30.7%、「一人暮らしの高齢者に情報が伝わりにくい」27.9%、「悪徳商法や特殊詐欺による被害が多い」24.6%の順である。

○「その他」として、「介護施設が少ない」、「仲間づくりの機会がない」、「高齢者からのSOSの発信を受けやすい環境がない」、「経済的に困窮している人への支援が見過ごされている」、「優遇されていると思う」などがあげられた。

○地区別では、京ヶ瀬地区が「介護サービスが行き届いていない」18.0%、「一人暮らしの高齢者に情報が伝わりにくい」6.6%が他地区と比較して最も少なく、「働ける能力を發揮する機会がない」39.3%、「高齢者の暮らしやすいまちづくりが進んでいない」44.3%が他地区と比較して最も多い。また、安田地区は「一人暮らしの高齢者に情報が伝わりにくい」が35.1%と他地区と比較して最も多い。笹神地区は「じゃまもの扱いされたり、意見や行動が尊重されない」が29.4%と他地区と比較して最も多く、全体平均18.0%に対してとても大きい。

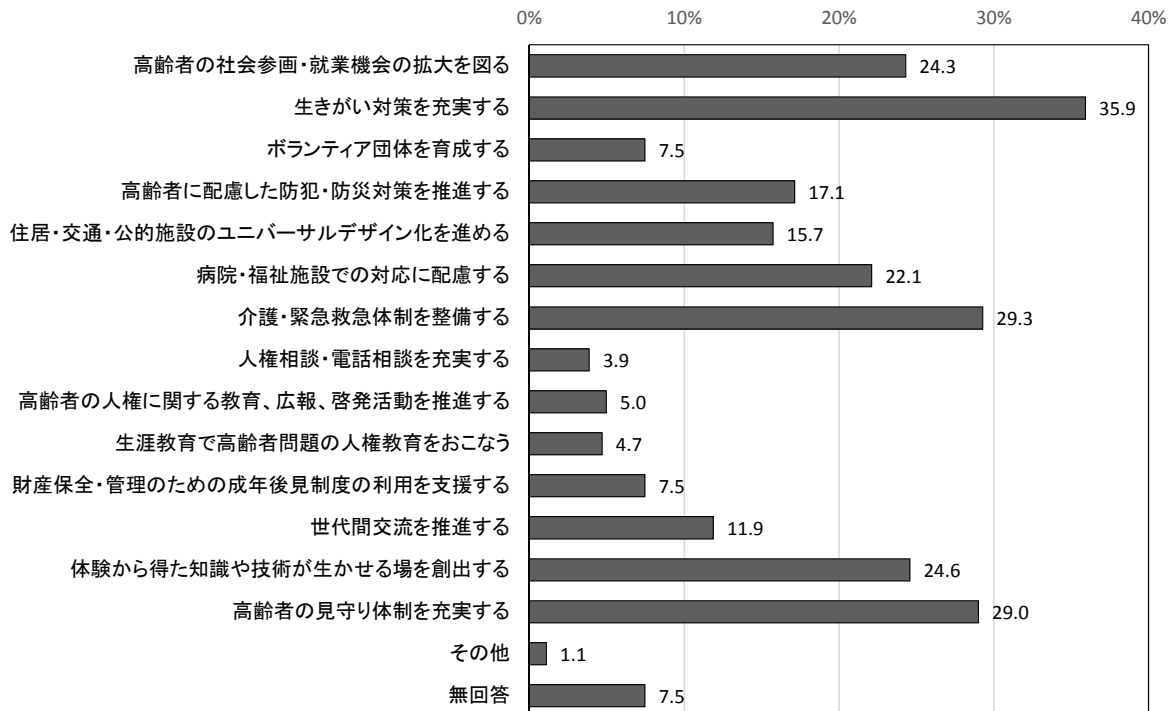
【問 16】 高齢者の人権を守るために必要と思われることを次の中から選んでください。

(○は3つまで)

区分	人	%
回答者数	362	100.0
1 高齢者の社会参画・就業機会の拡大を図る	88	24.3
2 生きがい対策を充実する	130	35.9
3 ボランティア団体を育成する	27	7.5
4 高齢者に配慮した防犯・防災対策を推進する	62	17.1
5 住居・交通・公的施設のユニバーサルデザイン化を進める	57	15.7
6 病院・福祉施設での対応に配慮する	80	22.1
7 介護・緊急救急体制を整備する	106	29.3
8 人権相談・電話相談を充実する	14	3.9
9 高齢者の人権に関する教育、広報、啓発活動を推進する	18	5.0
10 生涯教育で高齢者問題の人権教育をおこなう	17	4.7
11 財産保全・管理のための成年後見制度の利用を支援する	27	7.5
12 世代間交流を推進する	43	11.9
13 体験から得た知識や技術が生かせる場を創出する	89	24.6
14 高齢者の見守り体制を充実する	105	29.0
15 その他	4	1.1
16 無回答	27	7.5

高齢者の人権を守るために必要と思われること(複数回答)

(単位:%)



(男女別・年齢別・地区別)

上段:人 下段:%

区分	全体	男女別			年齢別								地区別				
		男性	女性	性不明	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年代不明	安田	京ヶ瀬	水原	笹神	地区不明
回答者数	362	161	196	5	3	14	40	55	65	79	104	2	74	61	156	68	3
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1	88 24.3	44 27.3	43 21.9	1 20.0	1 33.3	2 14.3	15 37.5	15 27.3	16 24.6	16 20.3	23 22.1	0 0.0	18 24.3	16 26.2	37 23.7	17 25.0	0 0.0
2	130 35.9	54 33.5	74 37.8	2 40.0	0 0.0	7 50.0	12 30.0	17 30.9	23 35.4	33 41.8	37 35.6	1 50.0	27 36.5	26 42.6	50 32.1	26 38.2	1 33.3
3	27 7.5	13 8.1	14 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 12.5	7 12.7	5 7.7	3 3.8	7 6.7	0 0.0	8 10.8	3 4.9	11 7.1	5 7.4	0 0.0
4	62 17.1	29 18.0	33 16.8	0 0.0	1 33.3	3 21.4	9 22.5	12 21.8	8 12.3	10 12.7	19 18.3	0 0.0	12 16.2	8 13.1	30 19.2	12 17.6	0 0.0
5	57 15.7	23 14.3	34 17.3	0 0.0	2 66.7	3 21.4	8 20.0	8 14.5	10 15.4	12 15.2	14 13.5	0 0.0	15 20.3	12 19.7	25 16.0	5 7.4	0 0.0
6	80 22.1	31 19.3	48 24.5	1 20.0	1 33.3	4 28.6	6 15.0	11 20.0	13 20.0	16 20.3	29 27.9	0 0.0	24 24.3	11 18.0	39 25.0	11 16.2	1 33.3
7	106 29.3	49 30.4	55 28.1	2 40.0	0 0.0	6 42.9	9 22.5	17 30.9	20 30.8	29 36.7	24 23.1	1 50.0	20 27.0	14 23.0	46 29.5	24 35.3	2 66.7
8	14 3.9	5 3.1	9 4.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 5.0	2 3.6	2 3.1	1 1.3	7 6.7	0 0.0	5 6.8	2 3.3	4 2.6	3 4.4	0 0.0
9	18 5.0	11 6.8	6 3.1	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 3.6	3 4.6	5 6.3	7 6.7	1 50.0	4 5.4	1 1.6	9 5.8	3 4.4	1 33.3
10	17 4.7	6 3.7	11 5.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 7.5	3 5.5	2 3.1	3 3.8	6 5.8	0 0.0	0 0.0	2 3.3	9 5.8	6 8.8	0 0.0
11	27 7.5	12 7.5	15 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 15.0	5 9.1	6 9.2	5 6.3	5 4.8	0 0.0	5 6.8	8 13.1	11 7.1	3 4.4	0 0.0
12	43 11.9	20 12.4	23 11.7	0 0.0	0 0.0	2 14.3	6 15.0	6 10.9	8 12.3	9 11.4	12 11.5	0 0.0	10 13.5	10 16.4	16 10.3	7 10.3	0 0.0
13	89 24.6	43 26.7	46 23.5	0 0.0	2 66.7	2 14.3	12 30.0	10 18.2	17 26.2	24 30.4	22 21.2	0 0.0	17 23.0	17 27.9	40 25.6	15 22.1	0 0.0
14	105 29.0	50 31.1	55 28.1	0 0.0	0 0.0	8 57.1	8 20.0	14 25.5	21 32.3	26 32.9	28 26.9	0 0.0	23 31.1	14 23.0	45 28.8	22 32.4	1 33.3
15	4 1.1	1 0.6	3 1.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 3.6	1 1.5	1 1.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 3.3	2 1.3	0 0.0	0 0.0
16	27 7.5	9 5.6	16 8.2	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 12.7	6 9.2	2 2.5	11 10.6	1 50.0	7 9.5	4 6.6	12 7.7	3 4.4	1 33.3

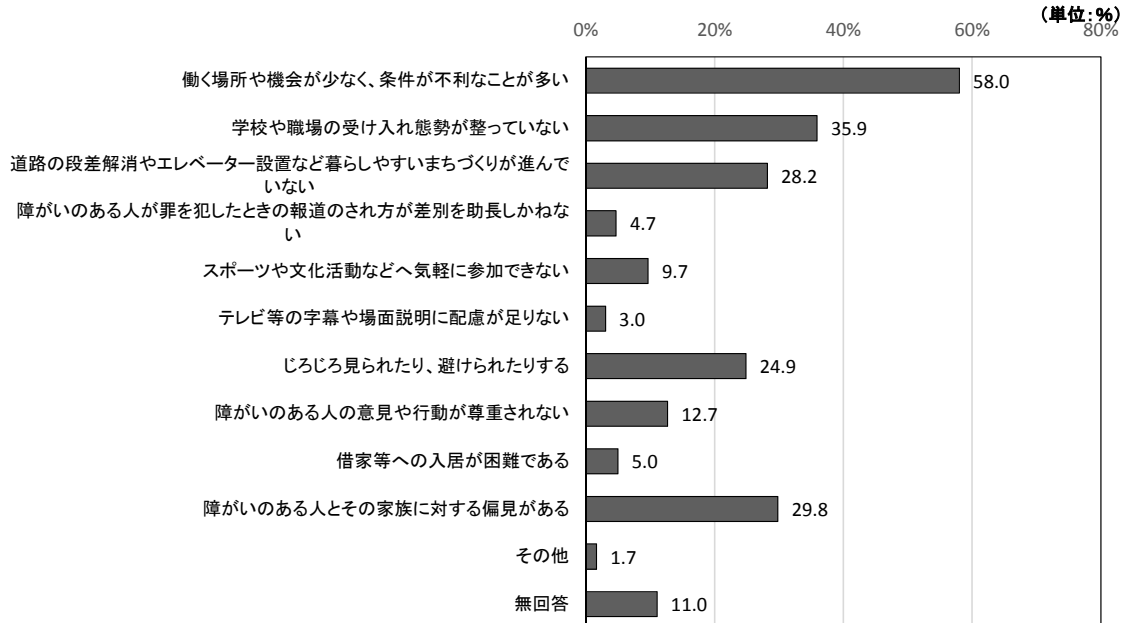
- 高齢者の人権を守るために必要と思われること（3つまで回答）は、「生きがい対策を充実する」が35.9%と最も多く、次いで「介護・緊急救急体制を整備する」29.3%、「高齢者の見守り体制を充実する」29.0%、「体験から得た知識や技術が生かせる場を創出する」24.6%、「高齢者の社会参画・就業機会の拡充を図る」24.3%の順である。
- 「その他」として、「国の補助がある資金など、もっと積極的に市から伝える」、「バリアフリーを考える」などがあげられる。

5 障がいのある人の人権に関する問題について

【問 17】障がいのある人の人権について尊重されていないと思うことを次の中から選んでください。(〇は3つまで)

区分	回答者数	人	%
1	働く場所や機会が少なく、条件が不利なことが多い	210	58.0
2	学校や職場の受け入れ態勢が整っていない	130	35.9
3	道路の段差解消やエレベーター設置など暮らしやすいまちづくりが進んでいない	102	28.2
4	障がいのある人が罪を犯したときの報道のされ方が差別を助長しかねない	17	4.7
5	スポーツや文化活動などへ気軽に参加できない	35	9.7
6	テレビ等の字幕や場面説明に配慮が足りない	11	3.0
7	じろじろ見られたり、避けられたりする	90	24.9
8	障がいのある人の意見や行動が尊重されない	46	12.7
9	借家等への入居が困難である	18	5.0
10	障がいのある人とその家族に対する偏見がある	108	29.8
11	その他	6	1.7
12	無回答	40	11.0

障がいのある人の人権について尊重されていないと思うこと(複数回答)



(男女別・年齢別・地区別)

上段:人 下段:%

区分	全体	男女別			年齢別									地区別				
		男性	女性	性不明	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年代不明	安田	京ヶ瀬	水原	笹神	地区不明	
回答者数	362	161	196	5	3	14	40	55	65	79	104	2	74	61	156	68	3	
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
1	210	105	103	2	1	6	26	33	39	54	50	1	47	27	86	49	1	
	58.0	65.2	52.6	40.0	33.3	42.9	65.0	60.0	60.0	68.4	48.1	50.0	63.5	44.3	55.1	72.1	33.3	
2	130	64	66	0	2	6	16	24	28	25	29	0	27	22	50	31	0	
	35.9	39.8	33.7	0.0	66.7	42.9	40.0	43.6	43.1	31.6	27.9	0.0	36.5	36.1	32.1	45.6	0.0	
3	102	50	52	0	0	3	11	13	17	23	35	0	19	16	47	20	0	
	28.2	31.1	26.5	0.0	0.0	21.4	27.5	23.6	26.2	29.1	33.7	0.0	25.7	26.2	30.1	29.4	0.0	
4	17	9	8	0	0	0	4	3	3	3	4	0	5	1	7	4	0	
	4.7	5.6	4.1	0.0	0.0	0.0	10.0	5.5	4.6	3.8	3.8	0.0	6.8	1.6	4.5	5.9	0.0	
5	35	17	18	0	0	4	0	5	6	7	13	0	9	5	17	4	0	
	9.7	10.6	9.2	0.0	0.0	28.6	0.0	9.1	9.2	8.9	12.5	0.0	12.2	8.2	10.9	5.9	0.0	
6	11	6	5	0	0	0	1	1	2	1	6	0	4	1	4	2	0	
	3.0	3.7	2.6	0.0	0.0	0.0	2.5	1.8	3.1	1.3	5.8	0.0	5.4	1.6	2.6	2.9	0.0	
7	90	33	55	2	1	8	9	21	17	14	19	1	25	13	38	13	1	
	24.9	20.5	28.1	40.0	33.3	57.1	22.5	38.2	26.2	17.7	18.3	50.0	33.8	21.3	24.4	19.1	33.3	
8	46	26	19	1	1	3	2	5	9	12	14	0	12	7	17	9	1	
	12.7	16.1	9.7	20.0	33.3	21.4	5.0	9.1	13.8	15.2	13.5	0.0	16.2	11.5	10.9	13.2	33.3	
9	18	8	10	0	0	1	2	2	6	6	1	0	3	4	9	2	0	
	5.0	5.0	5.1	0.0	0.0	7.1	5.0	3.6	9.2	7.6	1.0	0.0	4.1	6.6	5.8	2.9	0.0	
10	108	50	55	3	1	6	13	21	22	20	24	1	23	19	49	16	1	
	29.8	31.1	28.1	60.0	33.3	42.9	32.5	38.2	33.8	25.3	23.1	50.0	31.1	31.1	31.4	23.5	33.3	
11	6	1	5	0	0	0	0	3	1	2	0	0	1	2	3	0	0	
	1.7	0.6	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	5.5	1.5	2.5	0.0	0.0	1.4	3.3	1.9	0.0	0.0	
12	40	9	29	2	0	0	2	3	4	6	24	1	3	12	18	6	1	
	11.0	5.6	14.8	40.0	0.0	0.0	5.0	5.5	6.2	7.6	23.1	50.0	4.1	19.7	11.5	8.8	33.3	

○障がいのある人の人権について尊重されていないと思うこと（複数回答可）は、「働く場所や機会が少なく、条件が不利なことが多い」が58.0%と最も多く、次いで「学校や職場の受け入れ態勢が整っていない」35.9%、「障がいのある人とその家族に対する偏見がある」29.8%、「道路の段差解消やエレベーター設置など暮らしやすいまちづくりが進んでいない」28.2%、「じろじろ見られたり、避けられたりする」24.9%の順である。

○「その他」として、「その立場にならないとわからない」、「社会生活で障がいのある人との接点がなく、接し方がわからない」、「優遇されていると思う」などがあげられた。

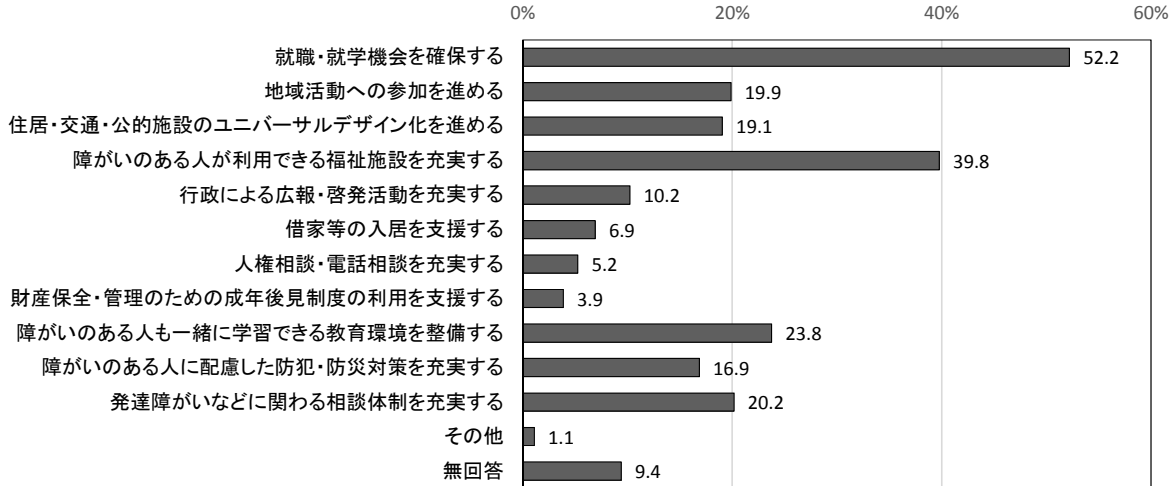
○地区別では、安田地区で「テレビ等の字幕や場面説明に配慮が足りない」が33.8%、「じろじろ見られたり、避けられたりする」が16.2%、「スポーツや文化活動等に気軽に参加できない」が12.2%で他地区と比較して最も多い。また、笹神地区では「働く場所や機会が少なく、条件が不利なことが多い」72.1%、「学校や職場の受け入れ態勢が整っていない」45.6%が他地区と比較して最も多く、「スポーツや文化活動等に気軽に参加できない」5.9%、「じろじろ見られたり、避けられたりする」19.1%が他地区と比較して最も少ない。

【問 18】障がいのある人の人権を守るために必要と思われることを次の中から
選んでください。(〇は3つまで)

区分	人	%
回答者数	362	100.0
1 就職・就学機会を確保する	189	52.2
2 地域活動への参加を進める	72	19.9
3 住居・交通・公的施設のユニバーサルデザイン化を進める	69	19.1
4 障がいのある人が利用できる福祉施設を充実する	144	39.8
5 行政による広報・啓発活動を充実する	37	10.2
6 借家等の入居を支援する	25	6.9
7 人権相談・電話相談を充実する	19	5.2
8 財産保全・管理のための成年後見制度の利用を支援する	14	3.9
9 障がいのある人も一緒に学習できる教育環境を整備する	86	23.8
10 障がいのある人に配慮した防犯・防災対策を充実する	61	16.9
11 発達障がいなどに関わる相談体制を充実する	73	20.2
12 その他	4	1.1
13 無回答	34	9.4

障がいのある人の人権を守るために必要と思われること(複数回答)

(単位:%)



(男女別・年齢別・地区別)

上段:人 下段:%

区分	全体	男女別			年齢別								地区別				
		男性	女性	性不明	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年代不明	安田	京ヶ瀬	水原	笹神	地区不明
回答者数	362	161	196	5	3	14	40	55	65	79	104	2	74	61	156	68	3
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1	189	87	100	2	2	6	23	32	40	46	39	1	34	29	85	40	1
	52.2	54.0	51.0	40.0	66.7	42.9	57.5	58.2	61.5	58.2	37.5	50.0	45.9	47.5	54.5	58.8	33.3
2	72	34	38	0	0	3	5	11	8	18	27	0	13	15	31	13	0
	19.9	21.1	19.4	0.0	0.0	21.4	12.5	20.0	12.3	22.8	26.0	0.0	17.6	24.6	19.9	19.1	0.0
3	69	35	33	1	1	4	8	13	14	15	13	1	16	16	28	8	1
	19.1	21.7	16.8	20.0	33.3	28.6	20.0	23.6	21.5	19.0	12.5	50.0	21.6	26.2	17.9	11.8	33.3
4	144	66	77	1	1	8	11	25	25	30	44	0	31	21	64	28	0
	39.8	41.0	39.3	20.0	33.3	57.1	27.5	45.5	38.5	38.0	42.3	0.0	41.9	34.4	41.0	41.2	0.0
5	37	22	15	0	0	4	3	6	7	4	13	0	8	3	21	5	0
	10.2	13.7	7.7	0.0	0.0	28.6	7.5	10.9	10.8	5.1	12.5	0.0	10.8	4.9	13.5	7.4	0.0
6	25	12	13	0	0	0	4	5	7	6	3	0	5	5	10	5	0
	6.9	7.5	6.6	0.0	0.0	0.0	10.0	9.1	10.8	7.6	2.9	0.0	6.8	8.2	6.4	7.4	0.0
7	19	8	10	1	0	1	1	0	2	3	12	0	6	5	4	4	0
	5.2	5.0	5.1	20.0	0.0	7.1	2.5	0.0	3.1	3.8	11.5	0.0	8.1	8.2	2.6	5.9	0.0
8	14	6	8	0	0	0	2	4	0	3	5	0	3	3	7	1	0
	3.9	3.7	4.1	0.0	0.0	0.0	5.0	7.3	0.0	3.8	4.8	0.0	4.1	4.9	4.5	1.5	0.0
9	86	39	45	2	1	3	11	10	18	19	24	0	25	16	31	13	1
	23.8	24.2	23.0	40.0	33.3	21.4	27.5	18.2	27.7	24.1	23.1	0.0	33.8	26.2	19.9	19.1	33.3
10	61	32	29	0	1	0	4	8	12	14	22	0	17	9	21	14	0
	16.9	19.9	14.8	0.0	33.3	0.0	10.0	14.5	18.5	17.7	21.2	0.0	23.0	14.8	13.5	20.6	0.0
11	73	25	46	2	0	3	10	16	16	13	15	0	14	8	37	14	0
	20.2	15.5	23.5	40.0	0.0	21.4	25.0	29.1	24.6	16.5	14.4	0.0	18.9	13.1	23.7	20.6	0.0
12	4	0	4	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	1	1	2	0
	1.1	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.6	2.9	0.0
13	34	10	23	1	0	1	4	4	3	6	15	1	5	6	14	8	1
	9.4	6.2	11.7	20.0	0.0	7.1	10.0	7.3	4.6	7.6	14.4	50.0	6.8	9.8	9.0	11.8	33.3

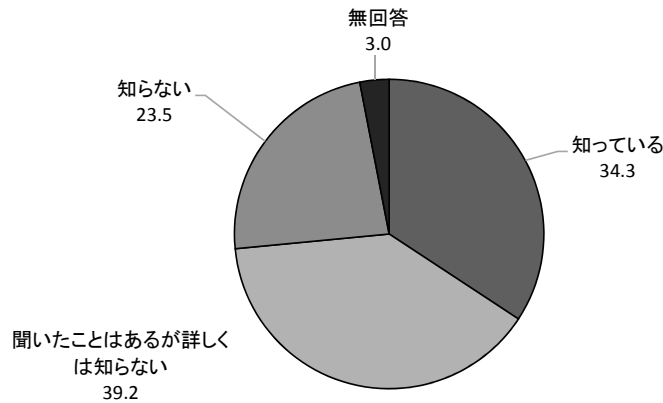
- 障がいのある人の人権を守るために必要と思われること（3つまで可）は、「就職・就学機会を確保する」が52.2%と最も多く、次いで「障がいのある人が利用できる福祉施設を充実する」39.8%、「障がいのある人も一緒に学習できる教育環境を整備する」23.8%、「発達障がいなどに関わる相談体制を充実する」20.2%、「地域活動への参加を進める」19.9%の順である。
- 「その他」として、「障がいや障がい者への理解を深める」、「障がい者が犯罪被害に合わないよう警察との連携を強化する」、「障がい児の親に対する支援・教育が必要」などがあげられた。

6 部落差別（同和問題）について

【問 19】日本の社会に部落差別問題（同和問題）などといわれる差別があることを
知っていますか。（○は1つだけ）

区分		人	%
	回答者数	362	100.0
1	知っている	124	34.3
2	聞いたことはあるが詳しくは知らない	142	39.2
3	知らない	85	23.5
4	無回答	11	3.0

日本の社会に部落差別問題(同和問題)などといわれる差別があることを知っていますか
(単位:%)



(男女別・年齢別・地区別)

上段:人 下段:%

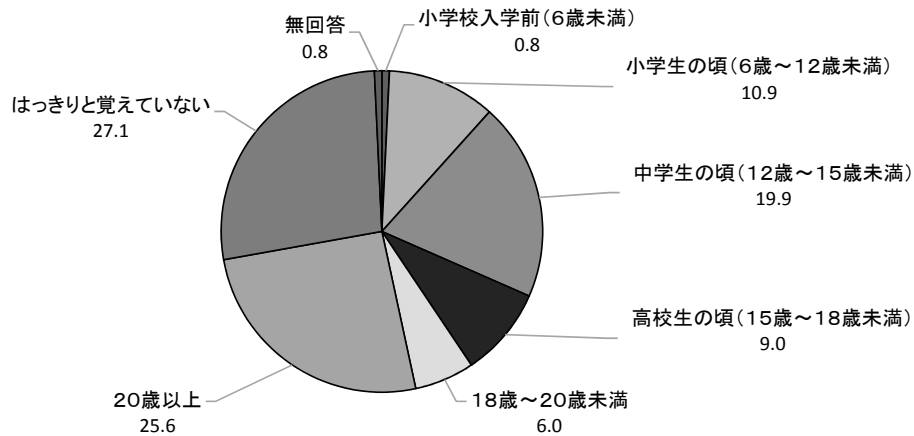
区分	全体	男女別			年齢別									地区別				
		男性	女性	性不明	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年代不明	安田	京ヶ瀬	水原	笹神	地区不明	
回答者数	362	161	196	5	3	14	40	55	65	79	104	2	74	61	156	68	3	
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
1	124	69	51	4	1	8	14	23	28	20	29	1	28	16	58	21	1	
	34.3	42.9	26.0	80.0	33.3	57.1	35.0	41.8	43.1	25.3	27.9	50.0	37.8	26.2	37.2	30.9	33.3	
2	142	57	85	0	1	4	18	17	21	41	40	0	31	27	57	27	0	
	39.2	35.4	43.4	0.0	33.3	28.6	45.0	30.9	32.3	51.9	38.5	0.0	41.9	44.3	36.5	39.7	0.0	
3	85	33	52	0	1	2	8	15	16	16	27	0	14	16	35	19	1	
	23.5	20.5	26.5	0.0	33.3	14.3	20.0	27.3	24.6	20.3	26.0	0.0	18.9	26.2	22.4	27.9	33.3	
4	11	2	8	1	0	0	0	0	0	2	8	1	1	2	6	1	1	
	3.0	1.2	4.1	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	7.7	50.0	1.4	3.3	3.8	1.5	33.3	

○部落差別問題（同和問題）を知っているかについては、「知っている」34.3%、「聞いたことはあるが詳しくは知らない」39.2%、「知らない」23.5%の順である。

【問 20】【問 19】で「1 知っている」「2 聞いたことはあるが詳しくは知らない」と答えた方にお聞きします。部落差別問題（同和問題）について初めて知ったのはいつ頃ですか。（○は1つだけ）

区分	回答者数	人	%
1	小学校入学前(6歳未満)	2	0.8
2	小学生の頃(6歳～12歳未満)	29	10.9
3	中学生の頃(12歳～15歳未満)	53	19.9
4	高校生の頃(15歳～18歳未満)	24	9.0
5	18歳～20歳未満	16	6.0
6	20歳以上	68	25.6
7	はっきりと覚えていない	72	27.1
8	無回答	2	0.8

部落差別問題(同和問題)について初めて知ったのはいつ頃ですか
(単位:%)



(男女別・年齢別・地区別)

上段:人 下段:%

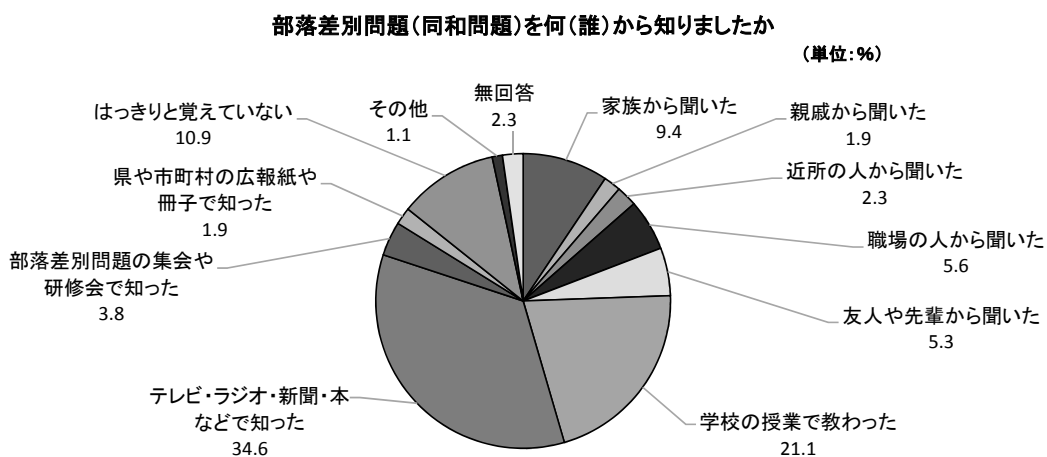
区分	全体	男女別			年齢別								地区別				
		男性	女性	性不明	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年代不明	安田	京ヶ瀬	水原	笹神	地区不明
回答者数	266	126	136	4	2	12	32	40	49	61	69	1	59	43	115	48	1
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0
	0.8	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0
2	29	10	18	1	1	4	7	8	6	1	2	0	7	5	13	4	0
	10.9	7.9	13.2	25.0	50.0	33.3	21.9	20.0	12.2	1.6	2.9	0.0	11.9	11.6	11.3	8.3	0.0
3	53	29	24	0	1	5	11	7	5	11	13	0	9	10	23	11	0
	19.9	23.0	17.6	0.0	50.0	41.7	34.4	17.5	10.2	18.0	18.8	0.0	15.3	23.3	20.0	22.9	0.0
4	24	20	4	0	0	1	0	3	6	8	6	0	6	4	11	3	0
	9.0	15.9	2.9	0.0	0.0	8.3	0.0	7.5	12.2	13.1	8.7	0.0	10.2	9.3	9.6	6.3	0.0
5	16	9	5	2	0	0	0	2	4	4	5	1	4	0	7	4	1
	6.0	7.1	3.7	50.0	0.0	0.0	0.0	5.0	8.2	6.6	7.2	100.0	6.8	0.0	6.1	8.3	100.0
6	68	32	36	0	0	0	5	7	16	22	18	0	17	9	27	15	0
	25.6	25.4	26.5	0.0	0.0	0.0	15.6	17.5	32.7	36.1	26.1	0.0	28.8	20.9	23.5	31.3	0.0
7	72	26	45	1	0	2	9	13	12	14	22	0	16	14	31	11	0
	27.1	20.6	33.1	25.0	0.0	16.7	28.1	32.5	24.5	23.0	31.9	0.0	27.1	32.6	27.0	22.9	0.0
8	2	0	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0
	0.8	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	1.4	0.0	0.0	2.3	0.9	0.0	0.0

○部落差別問題(同和問題)について初めて知った時期は、「はっきりと覚えていない」の27.1%、「20歳以上」の25.6%がほぼ同じ割合で多く、「中学校の頃」19.9%の順である。

○年齢別では、「知っている」が40代と50代でそれぞれ41.8%、43.1%であり、「聞いたことはあるが詳しくは知らない」が60代で51.9%とやや多い。

【問 21】 部落差別問題（同和問題）を何（誰）から知りましたか。（○は1つだけ）

区分	人	%
回答者数	266	100.0
1 家族から聞いた	25	9.4
2 親戚から聞いた	5	1.9
3 近所の人から聞いた	6	2.3
4 職場の人から聞いた	15	5.6
5 友人や先輩から聞いた	14	5.3
6 学校の授業で教わった	56	21.1
7 テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った	92	34.6
8 部落差別問題の集会や研修会で知った	10	3.8
9 県や市町村の広報紙や冊子で知った	5	1.9
10 はっきりと覚えていない	29	10.9
11 その他	3	1.1
12 無回答	6	2.3



(男女別・年齢別・地区別)

上段:人 下段:%

区分	全体	男女別			年齢別								地区別				
		男性	女性	性不明	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年代不明	安田	京ヶ瀬	水原	笹神	地区不明
回答者数	266	126	136	4	2	12	32	40	49	61	69	1	59	43	115	48	1
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1	25	12	13	0	0	1	2	5	7	5	5	0	4	4	12	5	0
	9.4	9.5	9.6	0.0	0.0	8.3	6.3	12.5	14.3	8.2	7.2	0.0	6.8	9.3	10.4	10.4	0.0
2	5	2	2	1	0	0	1	0	1	1	2	0	0	3	2	0	0
	1.9	1.6	1.5	25.0	0.0	0.0	3.1	0.0	2.0	1.6	2.9	0.0	0.0	7.0	1.7	0.0	0.0
3	6	5	1	0	0	0	0	1	0	1	4	0	1	1	4	0	0
	2.3	4.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	1.6	5.8	0.0	1.7	2.3	3.5	0.0	0.0
4	15	10	4	1	0	0	2	2	5	3	3	0	5	1	7	2	0
	5.6	7.9	2.9	25.0	0.0	0.0	6.3	5.0	10.2	4.9	4.3	0.0	8.5	2.3	6.1	4.2	0.0
5	14	9	5	0	0	0	0	2	1	5	6	0	3	1	7	3	0
	5.3	7.1	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	2.0	8.2	8.7	0.0	5.1	2.3	6.1	6.3	0.0
6	56	21	35	0	2	10	16	11	7	5	5	0	13	11	23	9	0
	21.1	16.7	25.7	0.0	100.0	83.3	50.0	27.5	14.3	8.2	7.2	0.0	22.0	25.6	20.0	18.8	0.0
7	92	46	45	1	0	0	3	9	22	31	26	1	22	14	39	16	1
	34.6	36.5	33.1	25.0	0.0	0.0	9.4	22.5	44.9	50.8	37.7	100.0	37.3	32.6	33.9	33.3	100.0
8	10	4	6	0	0	0	2	0	0	4	4	0	1	1	4	4	0
	3.8	3.2	4.4	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	6.6	5.8	0.0	1.7	2.3	3.5	8.3	0.0
9	5	1	4	0	0	0	0	0	1	2	2	0	2	0	3	0	0
	1.9	0.8	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	3.3	2.9	0.0	3.4	0.0	2.6	0.0	0.0
10	29	12	16	1	0	1	5	7	4	4	8	0	6	5	10	8	0
	10.9	9.5	11.8	25.0	0.0	8.3	15.6	17.5	8.2	6.6	11.6	0.0	10.2	11.6	8.7	16.7	0.0
11	3	2	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	3	0	0
	1.1	1.6	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	2.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0
12	6	2	4	0	0	0	1	2	0	0	3	0	2	2	1	1	0
	2.3	1.6	2.9	0.0	0.0	0.0	3.1	5.0	0.0	0.0	4.3	0.0	3.4	4.7	0.9	2.1	0.0

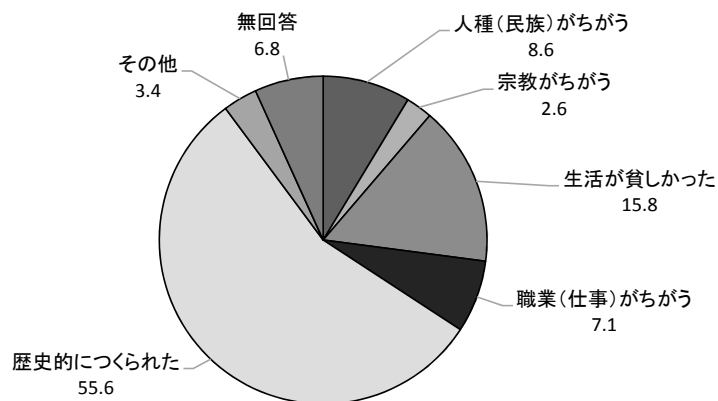
○部落差別問題（同和問題）を何（誰）から知ったかは、「テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った」34.6%、「学校の授業で教わった」21.1%、「はっきりと覚えていない」10.9%の順である。

○「その他」として、「インターネット」などがあげられた。

【問 22】あなたは、被差別部落（同和地区）の成り立ちについて、どのように受け止めていますか。（○は1つだけ）

区分	人	%
回答者数	266	100.0
1 人種(民族)がちがう	23	8.6
2 宗教がちがう	7	2.6
3 生活が貧しかった	42	15.8
4 職業(仕事)がちがう	19	7.1
5 歴史的につくられた	148	55.6
6 その他	9	3.4
7 無回答	18	6.8

あなたは、被差別部落(同和地区)の成り立ちについて、どのように受け止めていますか
(単位:%)



(男女別・年齢別・地区別)

上段:人 下段:%

区分	全体	男女別			年齢別								地区別				
		男性	女性	性不明	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年代不明	安田	京ヶ瀬	水原	笹神	地区不明
回答者数	266	126	136	4	2	12	32	40	49	61	69	1	59	43	115	48	1
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1	23	11	12	0	0	0	1	5	3	4	10	0	8	6	6	3	0
	8.6	8.7	8.8	0.0	0.0	0.0	3.1	12.5	6.1	6.6	14.5	0.0	13.6	14.0	5.2	6.3	0.0
2	7	3	4	0	0	0	1	1	0	3	2	0	1	0	4	2	0
	2.6	2.4	2.9	0.0	0.0	0.0	3.1	2.5	0.0	4.9	2.9	0.0	1.7	0.0	3.5	4.2	0.0
3	42	22	20	0	1	2	6	2	9	12	10	0	15	3	15	9	0
	15.8	17.5	14.7	0.0	50.0	16.7	18.8	5.0	18.4	19.7	14.5	0.0	25.4	7.0	13.0	18.8	0.0
4	19	9	10	0	1	0	3	3	3	2	7	0	4	3	10	2	0
	7.1	7.1	7.4	0.0	50.0	0.0	9.4	7.5	6.1	3.3	10.1	0.0	6.8	7.0	8.7	4.2	0.0
5	148	73	71	4	0	10	19	23	32	31	32	1	28	23	69	27	1
	55.6	57.9	52.2	100.0	0.0	83.3	59.4	57.5	65.3	50.8	46.4	100.0	47.5	53.5	60.0	56.3	100.0
6	9	1	8	0	0	0	0	4	0	4	1	0	0	5	4	0	0
	3.4	0.8	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	6.6	1.4	0.0	0.0	11.6	3.5	0.0	0.0
7	18	7	11	0	0	0	2	2	2	5	7	0	3	3	7	5	0
	6.8	5.6	8.1	0.0	0.0	0.0	6.3	5.0	4.1	8.2	10.1	0.0	5.1	7.0	6.1	10.4	0.0

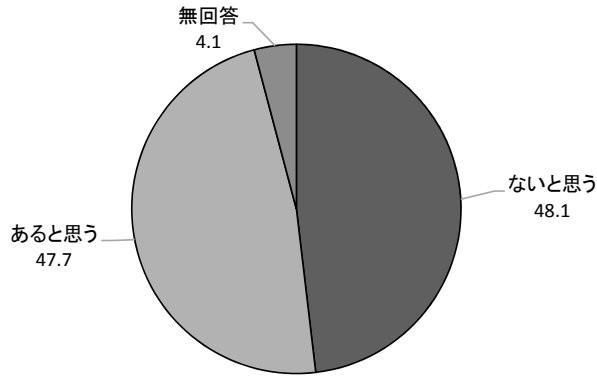
○部落差別問題（同和問題）の成り立ちについて、どのように受け止めているかについては、「歴史的に作られた」55.6%、「生活が貧しかった」15.8%、「人種（民族）がちがう」8.6%の順である。

○「その他」として、「わからない」、「理解できない」、「内容を覚えていない」などがあげられた。

【問 23】あなたは、今でも被差別部落（同和地区）出身であることを理由にした差別や人権侵害（部落差別）があると思いますか。（○は1つだけ）

区分	人	%
回答者数	266	100.0
1 ないと思う	128	48.1
2 あると思う	127	47.7
3 無回答	11	4.1

あなたは、今でも被差別部落（同和地区）出身であることを理由にした差別や人権侵害（部落差別）があると思いますか
(単位:%)



(男女別・年齢別・地区別) 上段:人 下段:%

区分	全体	男女別			年齢別								地区別				
		男性	女性	性不明	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年代不明	安田	京ヶ瀬	水原	笹神	地区不明
回答者数	266	126	136	4	2	12	32	40	49	61	69	1	59	43	115	48	1
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1	128	58	68	2	1	5	11	15	21	34	41	0	28	18	56	26	0
	48.1	46.0	50.0	50.0	50.0	41.7	34.4	37.5	42.9	55.7	59.4	0.0	47.5	41.9	48.7	54.2	0.0
2	127	64	61	2	1	7	21	24	27	25	21	1	28	24	55	19	1
	47.7	50.8	44.9	50.0	50.0	58.3	65.6	60.0	55.1	41.0	30.4	100.0	47.5	55.8	47.8	39.6	100.0
3	11	4	7	0	0	0	0	1	1	2	7	0	3	1	4	3	0
	4.1	3.2	5.1	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	2.0	3.3	10.1	0.0	5.1	2.3	3.5	6.3	0.0

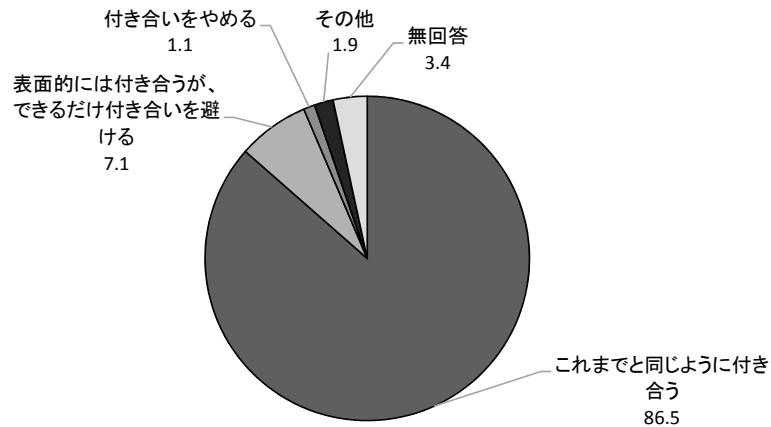
○今でも被差別部落（同和地区）出身であることを理由にした差別や人権侵害（部落差別）については、「あると思う」が48.1%、「ないと思う」が47.7%である。

【問 24】親しく付き合っている人が被差別部落出身者とわかった場合、あなたはどうしますか。

(○は1つだけ)

区分	人	%
回答者数	266	100.0
1 これまでと同じように付き合う	230	86.5
2 表面的には付き合うが、できるだけ付き合いを避ける	19	7.1
3 付き合いをやめる	3	1.1
4 その他	5	1.9
5 無回答	9	3.4

親しく付き合っている人が被差別部落出身者とわかった場合、あなたはどうしますか
(単位:%)



(男女別・年齢別・地区別)

上段:人 下段:%

区分	全体	男女別			年齢別									地区別				
		男性	女性	性不明	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年代不明	安田	京ヶ瀬	水原	笹神	地区不明	
回答者数	266	126	136	4	2	12	32	40	49	61	69	1	59	43	115	48	1	
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
1	230	113	113	4	2	11	30	34	43	50	59	1	53	40	96	40	1	
	86.5	89.7	83.1	100.0	100.0	91.7	93.8	85.0	87.8	82.0	85.5	100.0	89.8	93.0	83.5	83.3	100.0	
2	19	7	12	0	0	1	2	3	3	8	2	0	3	1	12	3	0	
	7.1	5.6	8.8	0.0	0.0	8.3	6.3	7.5	6.1	13.1	2.9	0.0	5.1	2.3	10.4	6.3	0.0	
3	3	1	2	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	1	1	1	0	
	1.1	0.8	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	2.3	0.9	2.1	0.0	
4	5	1	4	0	0	0	0	2	2	0	1	0	2	0	2	1	0	
	1.9	0.8	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	4.1	0.0	1.4	0.0	3.4	0.0	1.7	2.1	0.0	
5	9	4	5	0	0	0	0	0	1	3	5	0	1	1	4	3	0	
	3.4	3.2	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	4.9	7.2	0.0	0.0	1.7	2.3	3.5	6.3	0.0	

○親しく付き合っている人が被差別部落出身とわかった場合については、「これまでと同じように付き合う」が86.5%と最も多く、次いで「表面的には付き合うが、できるだけ付き合いを避ける」7.1%、「付き合いをやめる」1.1%の順である。

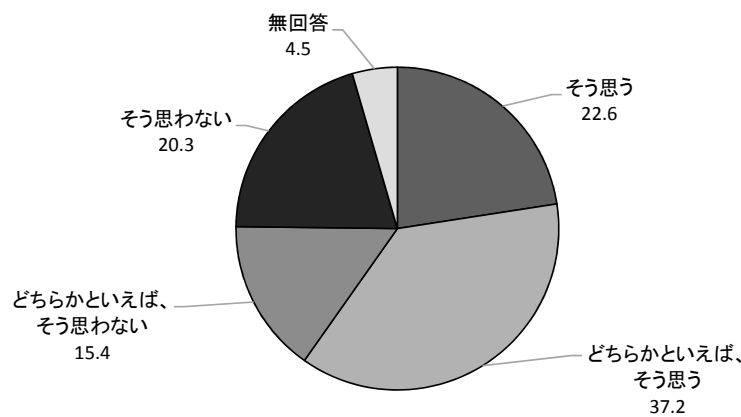
○「その他」として、「これまでと同じように付き合いたいと思う。しかし、それによって自分や自分の家族が差別されることがあるなら考えてしまう」などがあげられた。

【問 25】 部落差別について、「差別、差別というから、いつまでも差別が残るのだ。そっとしておけば部落差別は自然になくなる。」という意見があります。この意見に対してあなたはどのように思いますか。

区分	人	%
回答者数	266	100.0
1 そう思う	60	22.6
2 どちらかといえば、そう思う	99	37.2
3 どちらかといえば、そう思わない	41	15.4
4 そう思わない	54	20.3
5 無回答	12	4.5

部落差別は、そっとしておけば自然になくなる

(単位:%)



(男女別・年齢別・地区別)

上段:人 下段:%

区分	全体	男女別				年齢別								地区別				
		男性	女性	性不明	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年代不明	安田	京ヶ瀬	水原	笹神	地区不明	
回答者数	266	126	136	4	2	12	32	40	49	61	69	1	59	43	115	48	1	
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
1	60	35	23	2	0	0	4	5	10	18	23	0	14	10	22	14	0	
	22.6	27.8	16.9	50.0	0.0	0.0	12.5	12.5	20.4	29.5	33.3	0.0	23.7	23.3	19.1	29.2	0.0	
2	99	40	59	0	1	4	10	17	17	24	26	0	23	13	46	17	0	
	37.2	31.7	43.4	0.0	50.0	33.3	31.3	42.5	34.7	39.3	37.7	0.0	39.0	30.2	40.0	35.4	0.0	
3	41	21	19	1	1	5	12	6	8	5	4	0	10	6	18	7	0	
	15.4	16.7	14.0	25.0	50.0	41.7	37.5	15.0	16.3	8.2	5.8	0.0	16.9	14.0	15.7	14.6	0.0	
4	54	26	27	1	0	3	6	10	14	10	10	1	10	11	24	8	1	
	20.3	20.6	19.9	25.0	0.0	25.0	18.8	25.0	28.6	16.4	14.5	100.0	16.9	25.6	20.9	16.7	100.0	
5	12	4	8	0	0	0	0	2	0	4	6	0	2	3	5	2	0	
	4.5	3.2	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	6.6	8.7	0.0	3.4	7.0	4.3	4.2	0.0	

○そっとしておけば部落差別は自然になくなるという意見については、「どちらかといえばそう思う」が最も多く、37.2%である。

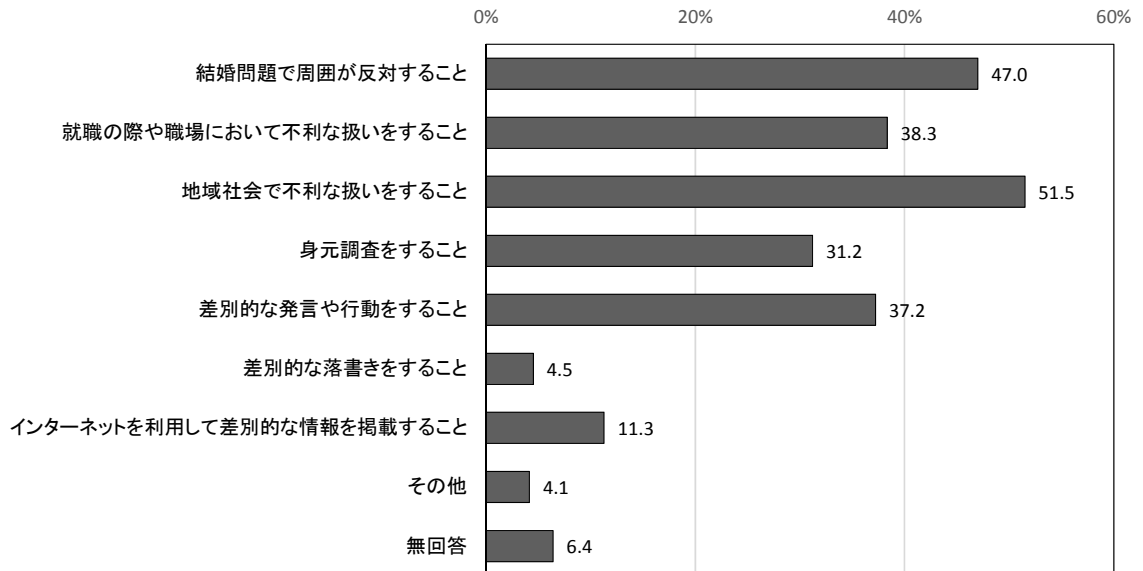
○「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計は59.8%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の合計は35.7%である。

【問 26】あなたが、部落差別問題で特に人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。(〇は3つまで)

区分	人	%
回答者数	266	100.0
1 結婚問題で周囲が反対すること	125	47.0
2 就職の際や職場において不利な扱いをすること	102	38.3
3 地域社会で不利な扱いをすること	137	51.5
4 身元調査をすること	83	31.2
5 差別的な発言や行動をすること	99	37.2
6 差別的な落書きをすること	12	4.5
7 インターネットを利用して差別的な情報を掲載すること	30	11.3
8 その他	11	4.1
9 無回答	17	6.4

部落差別問題で特に人権上問題があると思われること(複数回答)

(単位:%)



(男女別・年齢別・地区別)

上段:人 下段:%

区分	全体	男女別			年齢別								地区別				
		男性	女性	性不明	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年代不明	安田	京ヶ瀬	水原	笹神	地区不明
回答者数	266	126	136	4	2	12	32	40	49	61	69	1	59	43	115	48	1
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1	125	63	60	2	0	9	16	21	18	28	32	1	29	21	53	21	1
	47.0	50.0	44.1	50.0	0.0	75.0	50.0	52.5	36.7	45.9	46.4	100.0	49.2	48.8	46.1	43.8	100.0
2	102	46	54	2	0	8	16	20	19	16	22	1	20	24	39	18	1
	38.3	36.5	39.7	50.0	0.0	66.7	50.0	50.0	38.8	26.2	31.9	100.0	33.9	55.8	33.9	37.5	100.0
3	137	60	74	3	2	8	19	24	31	26	26	1	28	26	57	25	1
	51.5	47.6	54.4	75.0	100.0	66.7	59.4	60.0	63.3	42.6	37.7	100.0	47.5	60.5	49.6	52.1	100.0
4	83	33	50	0	1	1	9	10	11	26	25	0	21	14	35	13	0
	31.2	26.2	36.8	0.0	50.0	8.3	28.1	25.0	22.4	42.6	36.2	0.0	35.6	32.6	30.4	27.1	0.0
5	99	52	46	1	2	6	10	16	26	18	21	0	25	15	38	21	0
	37.2	41.3	33.8	25.0	100.0	50.0	31.3	40.0	53.1	29.5	30.4	0.0	42.4	34.9	33.0	43.8	0.0
6	12	4	8	0	0	1	2	4	0	3	2	0	5	0	6	1	0
	4.5	3.2	5.9	0.0	0.0	8.3	6.3	10.0	0.0	4.9	2.9	0.0	8.5	0.0	5.2	2.1	0.0
7	30	9	20	1	0	0	6	8	6	4	6	0	11	1	14	4	0
	11.3	7.1	14.7	25.0	0.0	0.0	18.8	20.0	12.2	6.6	8.7	0.0	18.6	2.3	12.2	8.3	0.0
8	11	6	5	0	0	0	2	2	0	5	2	0	1	3	6	1	0
	4.1	4.8	3.7	0.0	0.0	0.0	6.3	5.0	0.0	8.2	2.9	0.0	1.7	7.0	5.2	2.1	0.0
9	17	9	8	0	0	0	1	1	1	3	11	0	3	2	8	4	0
	6.4	7.1	5.9	0.0	0.0	0.0	3.1	2.5	2.0	4.9	15.9	0.0	5.1	4.7	7.0	8.3	0.0

○部落差別問題で特に人権上問題があると思われること（3つまで可）は、「地域社会で不利な扱いをすること」51.5%、「結婚問題において周囲が反対すること」47.0%、「就職の際や結婚において不利な扱いをすること」38.3%、「差別的な発言や行動をすること」37.2%、「身元調査をすること」31.2%の順である。

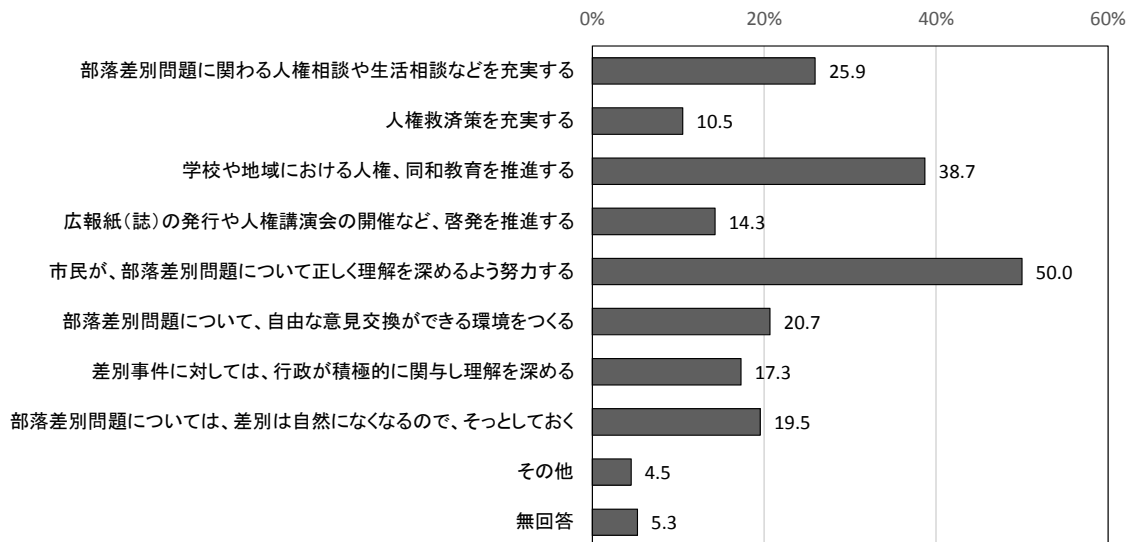
○「その他」として、「身元調査等での同和の項目」、「阿賀野市では人権上問題があるとは思われない」などがあげられた。

【問 27】あなたは、部落差別問題を解決するために、特にどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

区分	人	%
回答者数	266	100.0
1 部落差別問題に関わる人権相談や生活相談などを充実する	69	25.9
2 人権救済策を充実する	28	10.5
3 学校や地域における人権、同和教育を推進する	103	38.7
4 広報紙(誌)の発行や人権講演会の開催など、啓発を推進する	38	14.3
5 市民が、部落差別問題について正しく理解を深めるよう努力する	133	50.0
6 部落差別問題について、自由な意見交換ができる環境をつくる	55	20.7
7 差別事件に対しては、行政が積極的に関与し理解を深める	46	17.3
8 部落差別問題については、差別は自然になくなるので、そっとしておく	52	19.5
9 その他	12	4.5
10 無回答	14	5.3

あなたは、部落差別問題を解決するために、特にどのようなことが必要だと思いますか(複数回答)

(単位:%)



(男女別・年齢別・地区別)

上段:人 下段:%

区分	全体	男女別			年齢別								地区別				
		男性	女性	性不明	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年代不明	安田	京ヶ瀬	水原	笹神	地区不明
回答者数	266	126	136	4	2	12	32	40	49	61	69	1	59	43	115	48	1
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1	69	29	40	0	0	6	8	8	9	21	17	0	21	15	20	13	0
	25.9	23.0	29.4	0.0	0.0	50.0	25.0	20.0	18.4	34.4	24.6	0.0	35.6	34.9	17.4	27.1	0.0
2	28	14	14	0	0	3	3	5	7	6	4	0	8	7	12	1	0
	10.5	11.1	10.3	0.0	0.0	25.0	9.4	12.5	14.3	9.8	5.8	0.0	13.6	16.3	10.4	2.1	0.0
3	103	54	49	0	1	9	17	20	18	18	20	0	20	19	39	25	0
	38.7	42.9	36.0	0.0	50.0	75.0	53.1	50.0	36.7	29.5	29.0	0.0	33.9	44.2	33.9	52.1	0.0
4	38	20	16	2	0	3	5	3	6	6	15	0	8	5	18	7	0
	14.3	15.9	11.8	50.0	0.0	25.0	15.6	7.5	12.2	9.8	21.7	0.0	13.6	11.6	15.7	14.6	0.0
5	133	58	72	3	2	6	17	20	25	32	30	1	28	19	60	25	1
	50.0	46.0	52.9	75.0	100.0	50.0	53.1	50.0	51.0	52.5	43.5	100.0	47.5	44.2	52.2	52.1	100.0
6	55	24	31	0	0	4	6	6	13	10	16	0	14	9	18	14	0
	20.7	19.0	22.8	0.0	0.0	33.3	18.8	15.0	26.5	16.4	23.2	0.0	23.7	20.9	15.7	29.2	0.0
7	46	25	19	2	1	4	4	9	6	11	10	1	11	4	23	7	1
	17.3	19.8	14.0	50.0	50.0	33.3	12.5	22.5	12.2	18.0	14.5	100.0	18.6	9.3	20.0	14.6	100.0
8	52	29	23	0	0	1	4	8	8	13	18	0	14	7	25	6	0
	19.5	23.0	16.9	0.0	0.0	8.3	12.5	20.0	16.3	21.3	26.1	0.0	23.7	16.3	21.7	12.5	0.0
9	12	4	8	0	0	0	1	1	3	3	4	0	2	0	8	2	0
	4.5	3.2	5.9	0.0	0.0	0.0	3.1	2.5	6.1	4.9	5.8	0.0	3.4	0.0	7.0	4.2	0.0
10	14	5	9	0	0	0	0	1	2	4	7	0	2	2	6	4	0
	5.3	4.0	6.6	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	4.1	6.6	10.1	0.0	3.4	4.7	5.2	8.3	0.0

○部落差別問題を解決するために、特にどのようなことが必要だと思うか（3つまで可）については、「市民が、部落差別問題について正しく理解を深めるよう努力する」50.0%、「学校や地域における人権、同和教育を推進する」38.7%、「部落差別問題に関わる人権相談や生活相談などを充実する」25.9%、「部落差別問題について、自由な意見交換ができる環境を作る」20.7%、「部落差別問題については、差別は自然になくなるので、そっとしておく」19.5%の順である。

○「その他」として、「町内行事に積極的に参加する」、「戦前生まれの高齢者の意識改革」、「罰則をもうける」などがあげられた。この他、「問題を利用する者がいるから問題がなくなる」、「市の広報でどのような事案があるか教えてほしい」、「アンケートで寝た子を起こすように感じる」、「阿賀野市に部落差別があるのかわからない」、「講演会、意見交換会に参加するような人は差別をしない」、「部落差別の問題は歴史的に作られたものでもあり、今の若い人達は知らない人がほとんど。正しく伝えて今後につなげるのは困難では」などの意見が寄せられた。

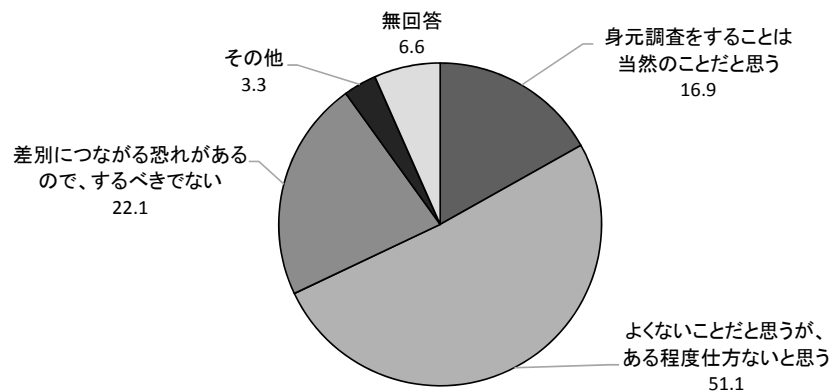
7 身元調査について

【問 28】身元調査について、あなたはどのように考えますか。

区分		人	%
	回答者数	362	100.0
1	身元調査をすることは当然のことだと思う	61	16.9
2	よくないことだと思うが、ある程度仕方ないと思う	185	51.1
3	差別につながる恐れがあるので、すべきでない	80	22.1
4	その他	12	3.3
5	無回答	24	6.6

身元調査について、あなたはどのように考えますか

(単位:%)



(男女別・年齢別・地区別)

上段:人 下段:%

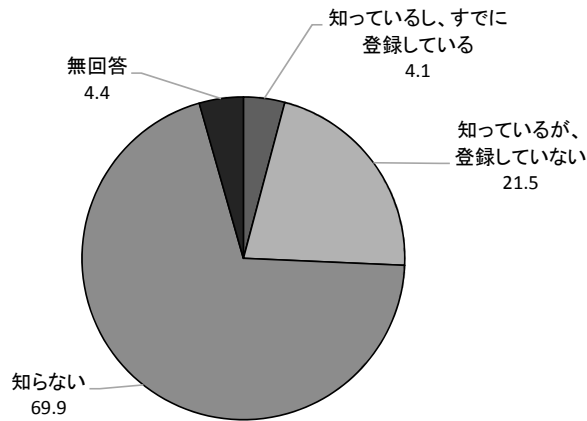
区分	全体	男女別			年齢別									地区別				
		男性	女性	性不明	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年代不明	安田	京ヶ瀬	水原	笹神	地区不明	
回答者数	362	161	196	5	3	14	40	55	65	79	104	2	74	61	156	68	3	
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
1	61	30	31	0	0	0	8	8	15	13	17	0	14	13	22	12	0	
	16.9	18.6	15.8	0.0	0.0	0.0	20.0	14.5	23.1	16.5	16.3	0.0	18.9	21.3	14.1	17.6	0.0	
2	185	82	102	1	2	10	22	36	34	38	43	0	40	30	83	32	0	
	51.1	50.9	52.0	20.0	66.7	71.4	55.0	65.5	52.3	48.1	41.3	0.0	54.1	49.2	53.2	47.1	0.0	
3	80	40	37	3	1	3	6	6	13	22	28	1	17	11	35	16	1	
	22.1	24.8	18.9	60.0	33.3	21.4	15.0	10.9	20.0	27.8	26.9	50.0	23.0	18.0	22.4	23.5	33.3	
4	12	2	10	0	0	1	3	2	2	2	2	0	3	2	5	2	0	
	3.3	1.2	5.1	0.0	0.0	7.1	7.5	3.6	3.1	2.5	1.9	0.0	4.1	3.3	3.2	2.9	0.0	
5	24	7	16	1	0	0	1	3	1	4	14	1	0	5	11	6	2	
	6.6	4.3	8.2	20.0	0.0	0.0	2.5	5.5	1.5	5.1	13.5	50.0	0.0	8.2	7.1	8.8	66.7	

- 身元調査についてどのように考えるかについては、「良くないことだと思うがある程度仕方ないと思う」が51.1%と最も多く、「良くないことだと思うがある程度仕方ないと思う」「当然のことだと思う」の合計は68.0%になるが、反面、「差別につながる恐れがあるので、すべきではない」とする割合は22.1%である。
- 「その他」として、「身元調査がどのような時に行われているかわからない」、「身元調査を行う目的が法律に明記されれば行っても良い。例) ○○の場合・○○の可能性、恐れがある限り等」、「調べる機関、場合・目的による」、などの意見が寄せられた。

【問 29】阿賀野市では、「住民票の写し等の第三者交付に係る本人通知制度」を実施しています。このことについて、次の中から該当するものを選んでください。(○は1つだけ)

区分	人	%
回答者数	362	100.0
1 知っているし、すでに登録している	15	4.1
2 知っているが、登録していない	78	21.5
3 知らない	253	69.9
4 無回答	16	4.4

「住民票の写し等の第三者交付に係る本人通知制度」を知っていますか
(単位:%)



(男女別・年齢別・地区別)

上段:人 下段:%

区分	全体	男女別			年齢別								地区別				
		男性	女性	性不明	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年代不明	安田	京ヶ瀬	水原	笹神	地区不明
回答者数	362	161	196	5	3	14	40	55	65	79	104	2	74	61	156	68	3
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1	15	7	8	0	0	0	1	1	2	3	8	0	3	4	6	2	0
	4.1	4.3	4.1	0.0	0.0	0.0	2.5	1.8	3.1	3.8	7.7	0.0	4.1	6.6	3.8	2.9	0.0
2	78	38	39	1	0	1	6	12	15	23	21	0	18	14	32	14	0
	21.5	23.6	19.9	20.0	0.0	7.1	15.0	21.8	23.1	29.1	20.2	0.0	24.3	23.0	20.5	20.6	0.0
3	253	111	139	3	3	13	33	42	47	50	64	1	50	39	113	49	2
	69.9	68.9	70.9	60.0	100.0	92.9	82.5	76.4	72.3	63.3	61.5	50.0	67.6	63.9	72.4	72.1	66.7
4	16	5	10	1	0	0	0	0	1	3	11	1	3	4	5	3	1
	4.4	3.1	5.1	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	3.8	10.6	50.0	4.1	6.6	3.2	4.4	33.3

○阿賀野市の「住民の写し等の第三者交付に係る本人通知制度」について、「知らない」が69.9%と最も多く、「知っているし、すでに登録している」「知っているが、登録していない」の合計は25.6%である。

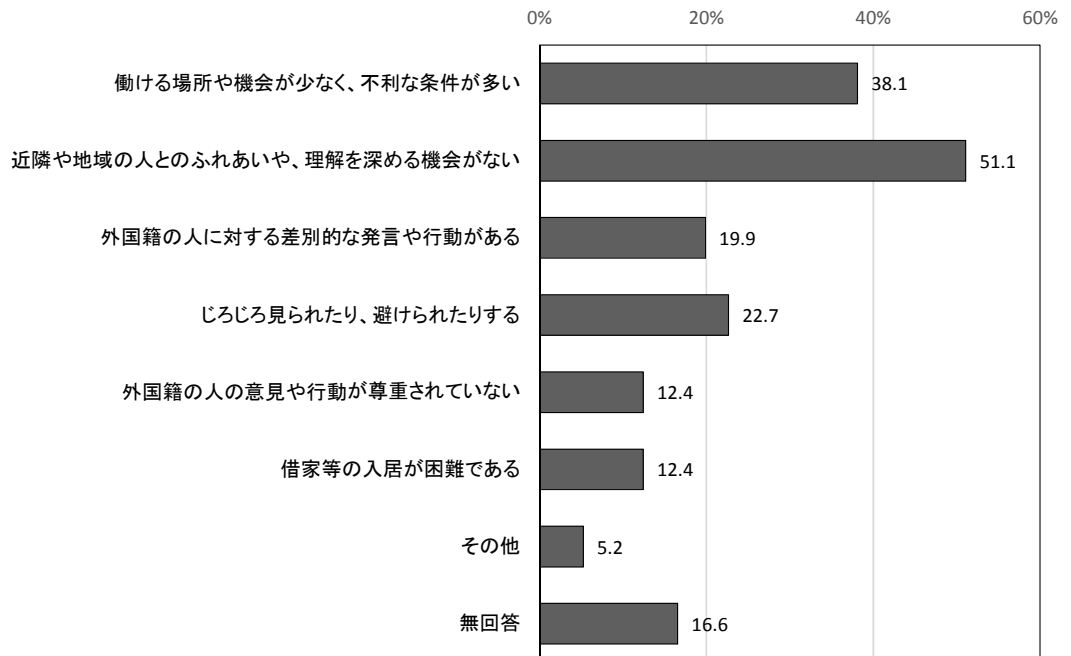
8 外国籍住民の人権に関する問題について

【問 30】日本に居住する外国籍の人の人権について尊重されていないと思うことを次の中から選んでください。(〇は3つまで)

区分	回答者数	人	%
		362	100.0
1	働ける場所や機会が少なく、不利な条件が多い	138	38.1
2	近隣や地域の人とのふれあいや、理解を深める機会がない	185	51.1
3	外国籍の人に対する差別的な発言や行動がある	72	19.9
4	じろじろ見られたり、避けられたりする	82	22.7
5	外国籍の人の意見や行動が尊重されていない	45	12.4
6	借家等の入居が困難である	45	12.4
7	その他	19	5.2
8	無回答	60	16.6

日本に居住する外国籍の人の人権について尊重されていないと思うこと(複数回答)

(単位:%)



(男女別・年齢別・地区別)

上段:人 下段:%

区分	全体	男女別			年齢別								地区別				
		男性	女性	性不明	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年代不明	安田	京ヶ瀬	水原	笹神	地区不明
回答者数	362	161	196	5	3	14	40	55	65	79	104	2	74	61	156	68	3
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1	138	67	70	1	1	6	16	22	25	36	32	0	29	27	59	23	0
	38.1	41.6	35.7	20.0	33.3	42.9	40.0	40.0	38.5	45.6	30.8	0.0	39.2	44.3	37.8	33.8	0.0
2	185	86	98	1	1	6	22	32	33	40	50	1	40	30	81	33	1
	51.1	53.4	50.0	20.0	33.3	42.9	55.0	58.2	50.8	50.6	48.1	50.0	54.1	49.2	51.9	48.5	33.3
3	72	37	34	1	1	6	13	14	19	13	6	0	14	14	32	12	0
	19.9	23.0	17.3	20.0	33.3	42.9	32.5	25.5	29.2	16.5	5.8	0.0	18.9	23.0	20.5	17.6	0.0
4	82	40	41	1	1	6	11	19	10	16	19	0	19	9	38	16	0
	22.7	24.8	20.9	20.0	33.3	42.9	27.5	34.5	15.4	20.3	18.3	0.0	25.7	14.8	24.4	23.5	0.0
5	45	17	28	0	1	1	5	6	7	10	15	0	10	6	19	10	0
	12.4	10.6	14.3	0.0	33.3	7.1	12.5	10.9	10.8	12.7	14.4	0.0	13.5	9.8	12.2	14.7	0.0
6	45	17	27	1	0	1	9	8	4	10	13	0	11	10	16	8	0
	12.4	10.6	13.8	20.0	0.0	7.1	22.5	14.5	6.2	12.7	12.5	0.0	14.9	16.4	10.3	11.8	0.0
7	19	11	8	0	0	0	1	2	5	6	5	0	7	3	8	1	0
	5.2	6.8	4.1	0.0	0.0	0.0	2.5	3.6	7.7	7.6	4.8	0.0	9.5	4.9	5.1	1.5	0.0
8	60	21	37	2	0	0	1	3	6	10	39	1	10	9	25	14	2
	16.6	13.0	18.9	40.0	0.0	0.0	2.5	5.5	9.2	12.7	37.5	50.0	13.5	14.8	16.0	20.6	66.7

○日本に居住する外国籍の人の人権について（3つまで可）は、「近隣や地域の人とのふれあいや、理解を深める機会がない」51.1%、「働ける場所や機会が少なく、不利な条件が多い」38.1%、「じろじろ見られたり、避けられたりする」22.7%、「外国籍の人に対する差別的な発言や行動がある」19.9%、「無回答」16.6%の順になっている。

○「その他」として、「身近にいないのでわからない」、「賃金、宗教等の質問がないのは変」などがあげられた。

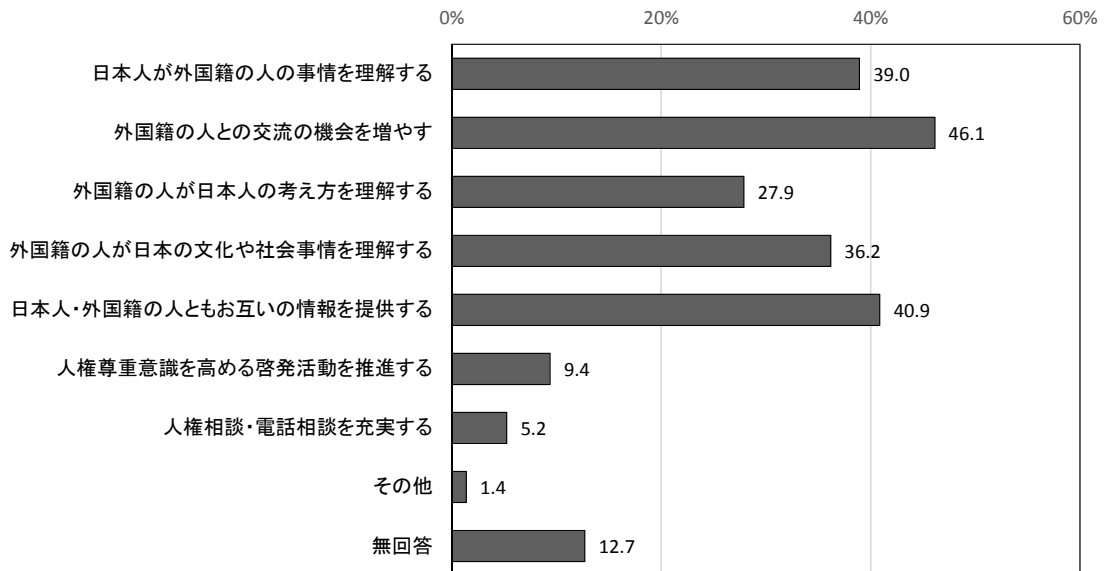
○地区別では、「働ける場所や機会が少なく、不利な条件が多い」は京ヶ瀬地区44.3%が最も多く、次いで安田地区が39.2%、水原地区が37.8%、笹神地区が33.8%の順である。

【問 31】 日本に居住する外国籍の人の人権を守るために必要と思われることを次の中から選んでください。(〇は3つまで)

区分	人	%
回答者数	362	100.0
1 日本人が外国籍の人の事情を理解する	141	39.0
2 外国籍の人との交流の機会を増やす	167	46.1
3 外国籍の人が日本人の考え方を理解する	101	27.9
4 外国籍の人が日本の文化や社会事情を理解する	131	36.2
5 日本人・外国籍の人ともお互いの情報を提供する	148	40.9
6 人権尊重意識を高める啓発活動を推進する	34	9.4
7 人権相談・電話相談を充実する	19	5.2
8 その他	5	1.4
9 無回答	46	12.7

日本に居住する外国籍の人の人権を守るために必要と思われること(複数回答)

(単位:%)



(男女別・年齢別・地区別)

上段:人 下段:%

区分	全体	男女別			年齢別								地区別				
		男性	女性	性不明	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年代不明	安田	京ヶ瀬	水原	笹神	地区不明
回答者数	362	161	196	5	3	14	40	55	65	79	104	2	74	61	156	68	3
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1	141	67	73	1	2	4	22	24	25	27	37	0	31	20	64	26	0
	39.0	41.6	37.2	20.0	66.7	28.6	55.0	43.6	38.5	34.2	35.6	0.0	41.9	32.8	41.0	38.2	0.0
2	167	78	87	2	1	10	17	23	33	36	46	1	37	28	73	28	1
	46.1	48.4	44.4	40.0	33.3	71.4	42.5	41.8	50.8	45.6	44.2	50.0	50.0	45.9	46.8	41.2	33.3
3	101	56	45	0	0	2	11	16	21	26	25	0	13	14	55	19	0
	27.9	34.8	23.0	0.0	0.0	14.3	27.5	29.1	32.3	32.9	24.0	0.0	17.6	23.0	35.3	27.9	0.0
4	131	58	71	2	1	4	13	22	26	36	29	0	29	29	53	20	0
	36.2	36.0	36.2	40.0	33.3	28.6	32.5	40.0	40.0	45.6	27.9	0.0	39.2	47.5	34.0	29.4	0.0
5	148	55	92	1	2	12	18	32	22	29	32	1	34	24	61	28	1
	40.9	34.2	46.9	20.0	66.7	85.7	45.0	58.2	33.8	36.7	30.8	50.0	45.9	39.3	39.1	41.2	33.3
6	34	15	18	1	0	3	6	7	6	6	6	0	6	5	14	9	0
	9.4	9.3	9.2	20.0	0.0	21.4	15.0	12.7	9.2	7.6	5.8	0.0	8.1	8.2	9.0	13.2	0.0
7	19	8	11	0	0	1	2	2	4	4	6	0	5	5	5	4	0
	5.2	5.0	5.6	0.0	0.0	7.1	5.0	3.6	6.2	5.1	5.8	0.0	6.8	8.2	3.2	5.9	0.0
8	5	3	2	0	0	0	0	1	2	1	1	0	0	2	2	1	0
	1.4	1.9	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	3.1	1.3	1.0	0.0	0.0	3.3	1.3	1.5	0.0
9	46	16	28	2	0	0	0	2	4	7	32	1	7	7	19	11	2
	12.7	9.9	14.3	40.0	0.0	0.0	0.0	3.6	6.2	8.9	30.8	50.0	9.5	11.5	12.2	16.2	66.7

○日本に居住する外国籍の人の人権を守るために必要と思われること（3つまで可）は、「外国籍の人との交流の機会を増やす」46.1%、「日本人・外国籍の人ともお互いの情報を提供する」40.9%、「日本人が外国籍の人の事業を理解する」39.0%、「外国籍の人が日本の文化や社会事情を理解する」36.2%の順になっている。

○「その他」として、「郷に入りては郷に従えの精神」、「賃金、宗教の質問がないのは変」、「反日教育をやめる」、「公用語」などがあげられた。

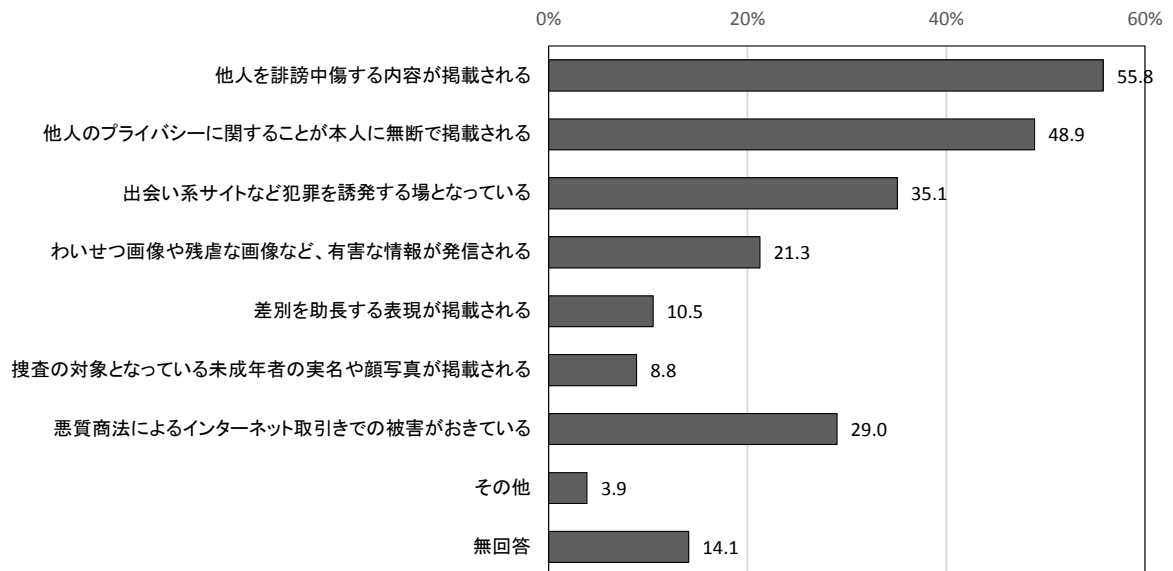
9 インターネットによる人権侵害について

【問 32】「インターネットによる人権侵害がおきている」と感じることを次の中から
選んでください。(○は3つまで)

区分	回答者数	人	%
1	他人を誹謗中傷する内容が掲載される	202	55.8
2	他人のプライバシーに関することが本人に無断で掲載される	177	48.9
3	出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっている	127	35.1
4	わいせつ画像や残虐な画像など、有害な情報が発信される	77	21.3
5	差別を助長する表現が掲載される	38	10.5
6	捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真が掲載される	32	8.8
7	悪質商法によるインターネット取引きでの被害がおきている	105	29.0
8	その他	14	3.9
9	無回答	51	14.1

「インターネットによる人権侵害がおきている」と感じること(複数回答)

(単位:%)



(男女別・年齢別・地区別)

上段:人 下段:%

区分	全体	男女別			年齢別								地区別				
		男性	女性	性不明	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年代不明	安田	京ヶ瀬	水原	笹神	地区不明
回答者数	362	161	196	5	3	14	40	55	65	79	104	2	74	61	156	68	3
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1	202	90	109	3	3	10	28	39	49	37	35	1	44	38	82	37	1
	55.8	55.9	55.6	60.0	100.0	71.4	70.0	70.9	75.4	46.8	33.7	50.0	59.5	62.3	52.6	54.4	33.3
2	177	78	96	3	3	10	24	36	35	34	34	1	35	28	81	32	1
	48.9	48.4	49.0	60.0	100.0	71.4	60.0	65.5	53.8	43.0	32.7	50.0	47.3	45.9	51.9	47.1	33.3
3	127	48	79	0	0	4	14	19	21	34	35	0	25	23	59	20	0
	35.1	29.8	40.3	0.0	0.0	28.6	35.0	34.5	32.3	43.0	33.7	0.0	33.8	37.7	37.8	29.4	0.0
4	77	31	46	0	0	3	15	12	12	17	18	0	19	12	30	16	0
	21.3	19.3	23.5	0.0	0.0	21.4	37.5	21.8	18.5	21.5	17.3	0.0	25.7	19.7	19.2	23.5	0.0
5	38	23	15	0	1	1	5	4	14	7	6	0	9	5	16	8	0
	10.5	14.3	7.7	0.0	33.3	7.1	12.5	7.3	21.5	8.9	5.8	0.0	12.2	8.2	10.3	11.8	0.0
6	32	12	20	0	0	2	7	4	5	6	8	0	10	5	12	5	0
	8.8	7.5	10.2	0.0	0.0	14.3	17.5	7.3	7.7	7.6	7.7	0.0	13.5	8.2	7.7	7.4	0.0
7	105	55	50	0	0	5	8	20	19	27	26	0	28	15	42	20	0
	29.0	34.2	25.5	0.0	0.0	35.7	20.0	36.4	29.2	34.2	25.0	0.0	37.8	24.6	26.9	29.4	0.0
8	14	6	8	0	0	0	1	1	2	4	6	0	2	3	6	2	1
	3.9	3.7	4.1	0.0	0.0	0.0	2.5	1.8	3.1	5.1	5.8	0.0	2.7	4.9	3.8	2.9	33.3
9	51	20	29	2	0	0	0	5	2	9	34	1	6	10	21	13	1
	14.1	12.4	14.8	40.0	0.0	0.0	0.0	9.1	3.1	11.4	32.7	50.0	8.1	16.4	13.5	19.1	33.3

○インターネットによる人権侵害がおきていると感じること（3つまで可）については、「他人を誹謗中傷する内容が掲載される」が55.8%と最も多く、次いで「他人のプライバシーに関することが本人に無断で掲載される」48.9%、「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっている」35.1%、「悪質商法によるインターネット取引きでの被害が起きている」29.0%、「わいせつ画像や残虐な画像など、有害な情報が発信される」21.3%の順である。

○「その他」として、「インターネットがない」などがあげられた。

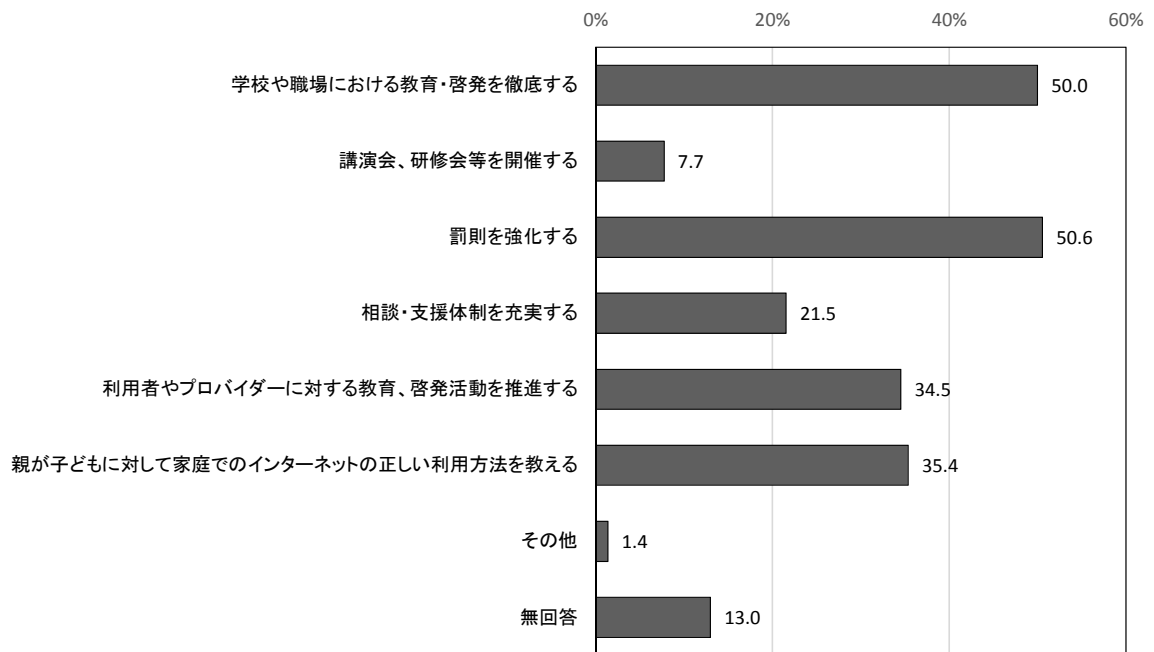
○地区別では、「他人を誹謗中傷する内容が掲載される」は京ヶ瀬地区が62.3%と最も多く、次いで安田地区59.5%、笹神地区54.4%、水原地区52.6%の順である。

【問 33】 インターネットによる人権侵害をなくすために必要と思われることを次の中から選んでください。(〇は3つまで)

区分	回答者数	人	%
1	学校や職場における教育・啓発を徹底する	181	50.0
2	講演会、研修会等を開催する	28	7.7
3	罰則を強化する	183	50.6
4	相談・支援体制を充実する	78	21.5
5	利用者やプロバイダーに対する教育、啓発活動を推進する	125	34.5
6	親が子どもに対して家庭でのインターネットの正しい利用方法を教える	128	35.4
7	その他	5	1.4
8	無回答	47	13.0

インターネットによる人権侵害をなくすために必要と思われること(複数回答)

(単位:%)



(男女別・年齢別・地区別)

上段:人 下段:%

区分	全体	男女別			年齢別								地区別				
		男性	女性	性不明	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年代不明	安田	京ヶ瀬	水原	笹神	地区不明
回答者数	362	161	196	5	3	14	40	55	65	79	104	2	74	61	156	68	3
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1	181	88	91	2	2	11	22	24	33	43	46	0	41	25	79	36	0
	50.0	54.7	46.4	40.0	66.7	78.6	55.0	43.6	50.8	54.4	44.2	0.0	55.4	41.0	50.6	52.9	0.0
2	28	13	15	0	0	1	3	4	5	7	8	0	3	7	10	8	0
	7.7	8.1	7.7	0.0	0.0	7.1	7.5	7.3	7.7	8.9	7.7	0.0	4.1	11.5	6.4	11.8	0.0
3	183	89	94	0	2	10	25	29	38	40	39	0	43	32	79	29	0
	50.6	55.3	48.0	0.0	66.7	71.4	62.5	52.7	58.5	50.6	37.5	0.0	58.1	52.5	50.6	42.6	0.0
4	78	42	36	0	0	3	15	11	13	18	18	0	18	14	28	18	0
	21.5	26.1	18.4	0.0	0.0	21.4	37.5	20.0	20.0	22.8	17.3	0.0	24.3	23.0	17.9	26.5	0.0
5	125	52	72	1	1	2	11	24	31	29	26	1	24	18	61	21	1
	34.5	32.3	36.7	20.0	33.3	14.3	27.5	43.6	47.7	36.7	25.0	50.0	32.4	29.5	39.1	30.9	33.3
6	128	47	79	2	0	6	15	21	24	26	36	0	24	23	62	19	0
	35.4	29.2	40.3	40.0	0.0	42.9	37.5	38.2	36.9	32.9	34.6	0.0	32.4	37.7	39.7	27.9	0.0
7	5	3	2	0	0	0	1	1	0	1	2	0	1	1	2	1	0
	1.4	1.9	1.0	0.0	0.0	0.0	2.5	1.8	0.0	1.3	1.9	0.0	1.4	1.6	1.3	1.5	0.0
8	47	17	28	2	0	0	0	5	3	7	31	1	6	10	19	10	2
	13.0	10.6	14.3	40.0	0.0	0.0	0.0	9.1	4.6	8.9	29.8	50.0	8.1	16.4	12.2	14.7	66.7

○インターネットによる人権侵害をなくすために必要と思われること（3つまで可）は、「罰則を強化する」50.6%、「学校や職場における教育・啓発を徹底する」50.0%、「親が子どもに対して家庭でのインターネットの正しい利用方法を教える」35.4%、「利用者やプロバイダーに対する教育、啓発活動を推進する」34.5%、「相談・支援体制を充実する」21.5%の順である。

○「その他」として、「利用する自由と利用するものとしての責任を明確化する」、「メディア（TV、ラジオ）などでもすべき」、「人間教育」などがあげられた。

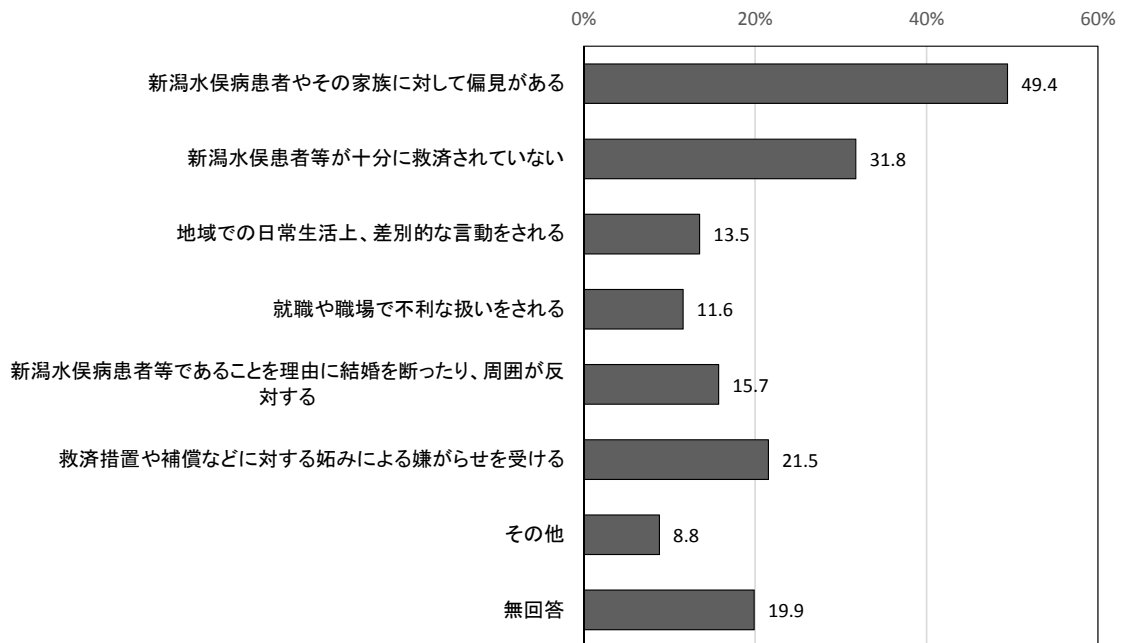
10 新潟水俣病患者やその家族の人権に関する問題について

【問 34】新潟水俣病患者やその家族に関することで、人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。(〇は3つまで)

区分	回答者数	人	%
1	新潟水俣病患者やその家族に対して偏見がある	179	49.4
2	新潟水俣患者等が十分に救済されていない	115	31.8
3	地域での日常生活上、差別的な言動をされる	49	13.5
4	就職や職場で不利な扱いをされる	42	11.6
5	新潟水俣病患者等であることを理由に結婚を断ったり、周囲が反対する	57	15.7
6	救済措置や補償などに対する妬みによる嫌がらせを受ける	78	21.5
7	その他	32	8.8
8	無回答	72	19.9

新潟水俣病患者やその家族に関することで、人権上問題があると思われること(複数回答)

(単位:%)



(男女別・年齢別・地区別)

上段:人 下段:%

区分	全体	男女別			年齢別									地区別				
		男性	女性	性不明	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年代不明	安田	京ヶ瀬	水原	笹神	地区不明	
回答者数	362	161	196	5	3	14	40	55	65	79	104	2	74	61	156	68	3	
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
1	179	82	94	3	3	10	17	28	37	38	45	1	46	28	68	36	1	
	49.4	50.9	48.0	60.0	100.0	71.4	42.5	50.9	56.9	48.1	43.3	50.0	62.2	45.9	43.6	52.9	33.3	
2	115	61	53	1	1	6	16	19	16	30	26	1	20	22	46	26	1	
	31.8	37.9	27.0	20.0	33.3	42.9	40.0	34.5	24.6	38.0	25.0	50.0	27.0	36.1	29.5	38.2	33.3	
3	49	23	25	1	0	3	8	12	6	5	15	0	9	6	22	12	0	
	13.5	14.3	12.8	20.0	0.0	21.4	20.0	21.8	9.2	6.3	14.4	0.0	12.2	9.8	14.1	17.6	0.0	
4	42	22	20	0	1	5	8	4	8	8	8	0	7	8	16	11	0	
	11.6	13.7	10.2	0.0	33.3	35.7	20.0	7.3	12.3	10.1	7.7	0.0	9.5	13.1	10.3	16.2	0.0	
5	57	22	34	1	0	3	9	11	7	11	16	0	13	13	23	8	0	
	15.7	13.7	17.3	20.0	0.0	21.4	22.5	20.0	10.8	13.9	15.4	0.0	17.6	21.3	14.7	11.8	0.0	
6	78	39	37	2	0	3	12	9	13	18	22	1	18	17	32	10	1	
	21.5	24.2	18.9	40.0	0.0	21.4	30.0	16.4	20.0	22.8	21.2	50.0	24.3	27.9	20.5	14.7	33.3	
7	32	12	20	0	0	0	3	8	8	4	9	0	9	7	14	2	0	
	8.8	7.5	10.2	0.0	0.0	0.0	7.5	14.5	12.3	5.1	8.7	0.0	12.2	11.5	9.0	2.9	0.0	
8	72	27	43	2	0	0	2	6	11	17	35	1	10	10	35	15	2	
	19.9	16.8	21.9	40.0	0.0	0.0	5.0	10.9	16.9	21.5	33.7	50.0	13.5	16.4	22.4	22.1	66.7	

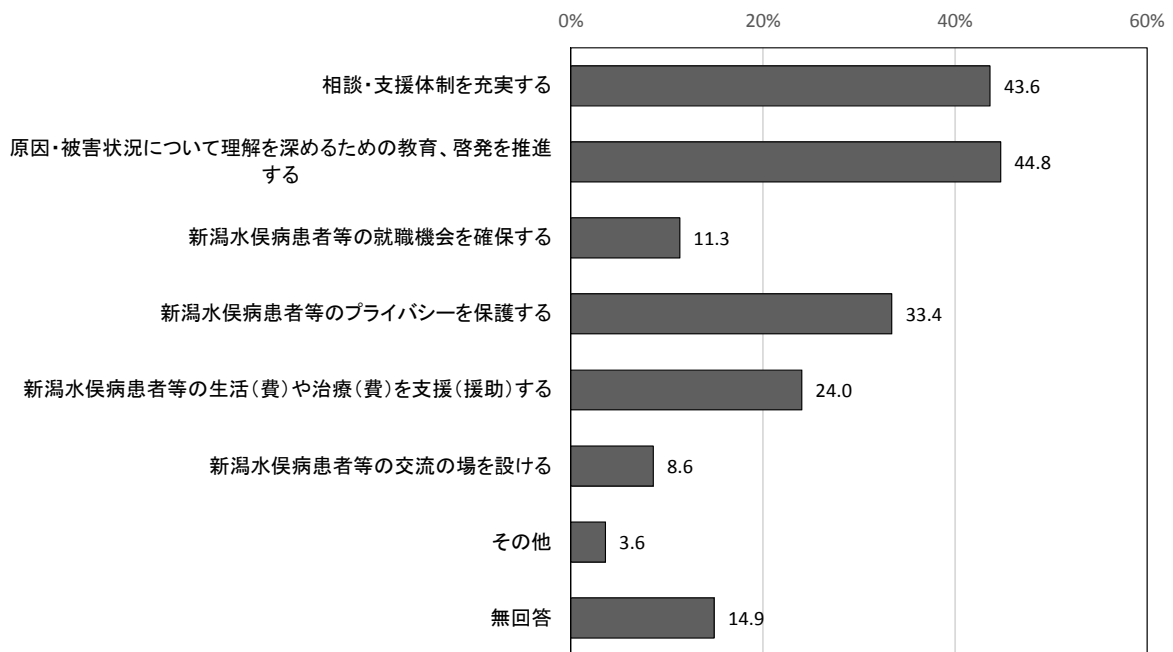
- 新潟水俣病患者やその家族に関する事で、人権上問題があると思われること(3つまで可)は、「新潟水俣病患者やその家族に対して偏見がある」が49.4%と最も多く、次いで「新潟水俣病患者等が十分に救済されていない」31.8%、「救済措置や補償などに対する妬みや嫌がらせを受ける」21.5%、「無回答」19.9%、「新潟水俣病患者であることを理由に結婚を断ったり、周囲が反対する」15.7%である。
- 「その他」として、「身近にいないのでわからない」、「ずいぶん前(20~30年前)に患者家族に対して批判しているのを聞いたことがある」、「本当に水俣病かどうかわからない人が多い」、「時が解決する問題。もう問題にせず静観するときでは」、「3~6の内容は今現在本当にある事なのか?」、「別に水俣病の人でも一生懸命働いている」などの意見が寄せられた。
- 地区別では、「新潟水俣病患者やその家族に対して偏見がある」は安田地区が62.2%と最も多く、次いで笹神地区52.9%、京ヶ瀬地区45.9%、水原地区43.6%の順である。

【問 35】新潟水俣病患者やその家族の人権を守るために必要と思われることを次の中から選んでください。(〇は3つまで)

区分	人	%
回答者数	362	100.0
1 相談・支援体制を充実する	158	43.6
2 原因・被害状況について理解を深めるための教育、啓発を推進する	162	44.8
3 新潟水俣病患者等の就職機会を確保する	41	11.3
4 新潟水俣病患者等のプライバシーを保護する	121	33.4
5 新潟水俣病患者等の生活(費)や治療(費)を支援(援助)する	87	24.0
6 新潟水俣病患者等の交流の場を設ける	31	8.6
7 その他	13	3.6
8 無回答	54	14.9

新潟水俣病患者やその家族の人権を守るために必要と思われること(複数回答)

(単位:%)



(男女別・年齢別・地区別)

上段:人 下段:%

区分	全体	男女別			年齢別								地区別				
		男性	女性	性不明	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年代不明	安田	京ヶ瀬	水原	笹神	地区不明
回答者数	362 100.0	161 100.0	196 100.0	5 100.0	3 100.0	14 100.0	40 100.0	55 100.0	65 100.0	79 100.0	104 100.0	2 100.0	74 100.0	61 100.0	156 100.0	68 100.0	3 100.0
1	158 43.6	75 46.6	83 42.3	0 0.0	1 33.3	7 50.0	21 52.5	24 43.6	25 38.5	32 40.5	48 46.2	0 0.0	36 48.6	31 50.8	63 40.4	28 41.2	0 0.0
2	162 44.8	77 47.8	82 41.8	3 60.0	2 66.7	13 92.9	20 50.0	34 61.8	26 40.0	32 40.5	34 32.7	1 50.0	39 52.7	22 36.1	69 44.2	31 45.6	1 33.3
3	41 11.3	22 13.7	19 9.7	0 0.0	1 33.3	3 21.4	5 12.5	5 9.1	6 9.2	11 13.9	10 9.6	0 0.0	4 5.4	8 13.1	19 12.2	10 14.7	0 0.0
4	121 33.4	58 36.0	62 31.6	1 20.0	1 33.3	3 21.4	17 42.5	19 34.5	23 35.4	29 36.7	29 27.9	0 0.0	34 45.9	22 36.1	50 32.1	15 22.1	0 0.0
5	87 24.0	39 24.2	47 24.0	1 20.0	0 0.0	5 35.7	15 37.5	9 16.4	16 24.6	23 29.1	18 17.3	1 50.0	13 17.6	16 26.2	38 24.4	19 27.9	1 33.3
6	31 8.6	14 8.7	16 8.2	1 20.0	0 0.0	1 7.1	4 10.0	5 9.1	5 7.7	4 5.1	11 10.6	1 50.0	5 6.8	8 13.1	12 7.7	5 7.4	1 33.3
7	13 3.6	8 5.0	5 2.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 5.5	4 6.2	2 2.5	4 3.8	0 0.0	2 2.7	2 3.3	9 5.8	0 0.0	0 0.0
8	54 14.9	19 11.8	33 16.8	2 40.0	0 0.0	0 0.0	1 2.5	5 9.1	6 9.2	12 15.2	29 27.9	1 50.0	8 10.8	8 13.1	26 16.7	10 14.7	2 66.7

○新潟水俣病患者やその家族の人権を守るために必要と思われること（3つまで可）は、「原因・被害状況について理解を深めるための教育、啓発を推進する」が44.8%と最も多く、次いで「相談・支援体制を充実する」43.6%、「新潟水俣病患者等のプライバシーを保護する」33.4%、「新潟水俣病患者等の生活（費）や治療（費）を支援（援助）する」24.0%、「無回答」14.9%の順である。

○「その他」として、「これ以上する必要がない」などがあげられた。

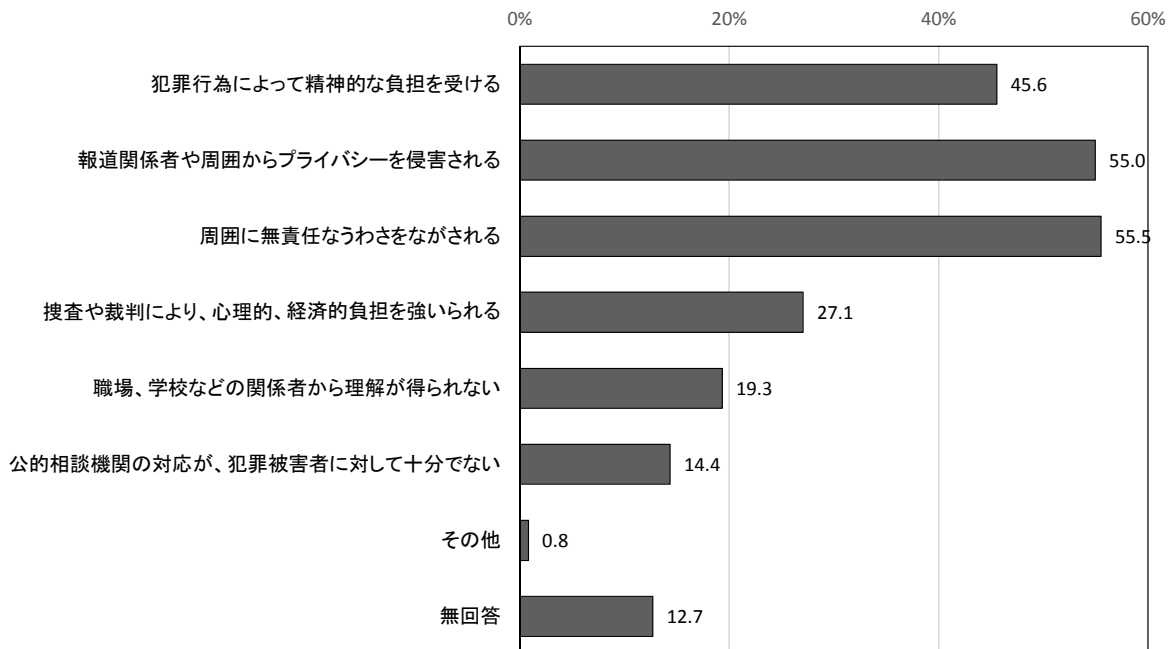
1.1 犯罪被害者やその家族の人権に関する問題について

【問 36】 犯罪被害者やその家族の人権について、尊重されていないとあなたが思うことを次の中から選んでください。(○は3つまで)

区分	回答者数	人	%
1	犯罪行為によって精神的な負担を受ける	165	45.6
2	報道関係者や周囲からプライバシーを侵害される	199	55.0
3	周囲に無責任なうわさをながされる	201	55.5
4	捜査や裁判により、心理的、経済的負担を強いられる	98	27.1
5	職場、学校などの関係者から理解が得られない	70	19.3
6	公的相談機関の対応が、犯罪被害者に対して十分でない	52	14.4
7	その他	3	0.8
8	無回答	46	12.7

犯罪被害者やその家族の人権について、尊重されていないとあなたが思うこと(複数回答)

(単位:%)



(男女別・年齢別・地区別)

上段:人 下段:%

区分	全体	男女別			年齢別								地区別				
		男性	女性	性不明	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年代不明	安田	京ヶ瀬	水原	笹神	地区不明
回答者数	362	161	196	5	3	14	40	55	65	79	104	2	74	61	156	68	3
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1	165	69	94	2	0	8	22	26	26	40	42	1	29	28	72	35	1
	45.6	42.9	48.0	40.0	0.0	57.1	55.0	47.3	40.0	50.6	40.4	50.0	39.2	45.9	46.2	51.5	33.3
2	199	94	104	1	3	9	27	36	42	41	41	0	42	35	88	34	0
	55.0	58.4	53.1	20.0	100.0	64.3	67.5	65.5	64.6	51.9	39.4	0.0	56.8	57.4	56.4	50.0	0.0
3	201	89	109	3	2	8	26	29	44	44	47	1	51	35	80	34	1
	55.5	55.3	55.6	60.0	66.7	57.1	65.0	52.7	67.7	55.7	45.2	50.0	68.9	57.4	51.3	50.0	33.3
4	98	46	51	1	3	5	13	20	19	19	18	1	24	15	38	20	1
	27.1	28.6	26.0	20.0	100.0	35.7	32.5	36.4	29.2	24.1	17.3	50.0	32.4	24.6	24.4	29.4	33.3
5	70	29	40	1	0	3	11	11	10	18	17	0	16	11	32	11	0
	19.3	18.0	20.4	20.0	0.0	21.4	27.5	20.0	15.4	22.8	16.3	0.0	21.6	18.0	20.5	16.2	0.0
6	52	32	20	0	0	0	4	8	12	13	15	0	11	7	23	11	0
	14.4	19.9	10.2	0.0	0.0	0.0	10.0	14.5	18.5	16.5	14.4	0.0	14.9	11.5	14.7	16.2	0.0
7	3	1	2	0	0	0	0	1	0	0	2	0	1	1	1	0	0
	0.8	0.6	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	1.9	0.0	1.4	1.6	0.6	0.0	0.0
8	46	17	27	2	0	0	0	3	3	6	33	1	6	8	22	8	2
	12.7	10.6	13.8	40.0	0.0	0.0	0.0	5.5	4.6	7.6	31.7	50.0	8.1	13.1	14.1	11.8	66.7

- 犯罪被害者やその家族の人権について、尊重されているかどうか(3つまで可)については、「周囲に無責任やうわさがながされる」55.5%、「報道関係者や周囲からプライバシーを侵害される」55.0%、「犯罪行為によって精神的な負担を受ける」45.6%、「捜査や裁判により、心理的、経済的負担を強いられる」27.1%、「職場、学校などの関係者から理解が得られない」19.3%の順である。
- 「その他」として、「マスコミなどの影響が大きい」、「加害者よりも被害者の方がなにかといたたまれない場合が多くあるように思う(例 その場に住んでいられない)」などの意見が寄せられた。
- 地区別では、安田地区が「周囲に無責任なうわさをながされる」が68.9%と他地区と比較して最も多く、「犯罪行為によって精神的な負担を受ける」が39.2%と他地区と比較して最も少ない。

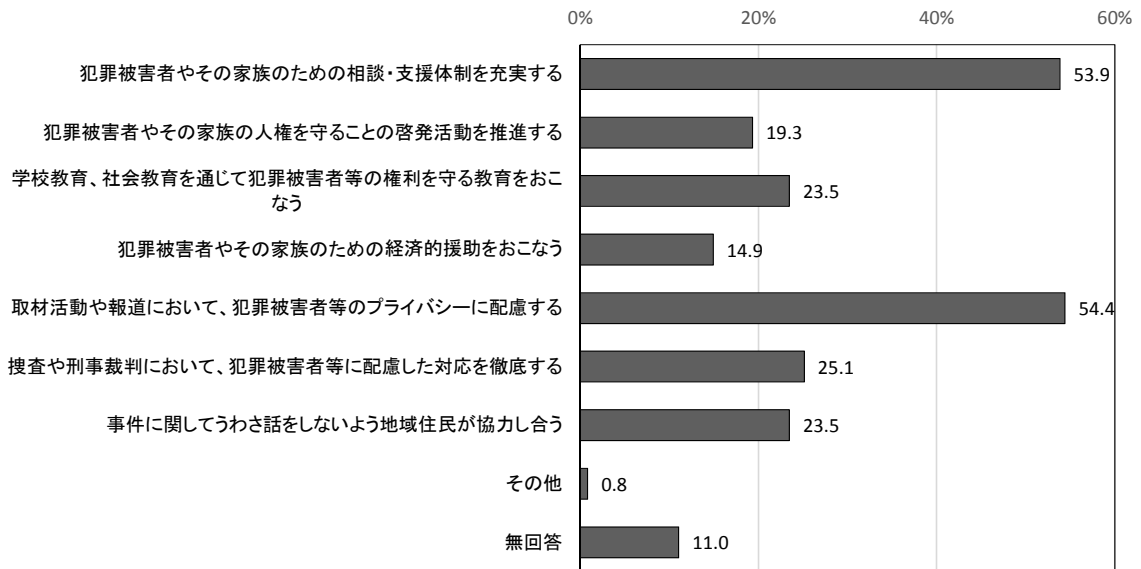
【問 37】犯罪被害者やその家族の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(○は3つまで)

区分	回答者数	人	%
1	犯罪被害者やその家族のための相談・支援体制を充実する	195	53.9
2	犯罪被害者やその家族の人権を守ることの啓発活動を推進する	70	19.3
3	学校教育、社会教育を通じて犯罪被害者等の権利を守る教育をおこなう	85	23.5
4	犯罪被害者やその家族のための経済的援助をおこなう	54	14.9
5	取材活動や報道において、犯罪被害者等のプライバシーに配慮する	197	54.4
6	捜査や刑事裁判において、犯罪被害者等に配慮した対応を徹底する	91	25.1
7	事件に関してうわさ話をしないよう地域住民が協力し合う	85	23.5
8	その他	3	0.8
9	無回答	40	11.0

犯罪被害者やその家族の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか(複数回答)

(単位:%)



(男女別・年齢別・地区別)

上段:人 下段:%

区分	全体	男女別			年齢別								地区別				
		男性	女性	性不明	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年代不明	安田	京ヶ瀬	水原	笹神	地区不明
回答者数	362	161	196	5	3	14	40	55	65	79	104	2	74	61	156	68	3
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1	195	93	100	2	3	12	20	28	34	46	51	1	47	32	78	37	1
	53.9	57.8	51.0	40.0	100.0	85.7	50.0	50.9	52.3	58.2	49.0	50.0	63.5	52.5	50.0	54.4	33.3
2	70	37	32	1	0	2	8	17	12	15	16	0	16	9	32	13	0
	19.3	23.0	16.3	20.0	0.0	14.3	20.0	30.9	18.5	19.0	15.4	0.0	21.6	14.8	20.5	19.1	0.0
3	85	43	41	1	0	4	12	12	13	20	23	1	15	13	34	22	1
	23.5	26.7	20.9	20.0	0.0	28.6	30.0	21.8	20.0	25.3	22.1	50.0	20.3	21.3	21.8	32.4	33.3
4	54	27	27	0	0	1	9	9	8	11	16	0	11	9	23	11	0
	14.9	16.8	13.8	0.0	0.0	7.1	22.5	16.4	12.3	13.9	15.4	0.0	14.9	14.8	14.7	16.2	0.0
5	197	90	106	1	1	10	27	33	45	43	38	0	39	37	85	36	0
	54.4	55.9	54.1	20.0	33.3	71.4	67.5	60.0	69.2	54.4	36.5	0.0	52.7	60.7	54.5	52.9	0.0
6	91	41	49	1	2	3	10	23	22	19	11	1	25	9	45	11	1
	25.1	25.5	25.0	20.0	66.7	21.4	25.0	41.8	33.8	24.1	10.6	50.0	33.8	14.8	28.8	16.2	33.3
7	85	30	55	0	0	1	8	7	17	19	33	0	18	16	29	22	0
	23.5	18.6	28.1	0.0	0.0	7.1	20.0	12.7	26.2	24.1	31.7	0.0	24.3	26.2	18.6	32.4	0.0
8	3	1	2	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	2	1	0	0
	0.8	0.6	1.0	0.0	0.0	0.0	2.5	1.8	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	3.3	0.6	0.0	0.0
9	40	13	25	2	0	0	1	4	3	4	27	1	5	7	19	7	2
	11.0	8.1	12.8	40.0	0.0	0.0	2.5	7.3	4.6	5.1	26.0	50.0	6.8	11.5	12.2	10.3	66.7

- 犯罪被害者やその家族の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思うか（3つまで可）については、「取材活動や報道において、犯罪被害者等のプライバシーに配慮する」54.4%、「犯罪被害者やその家族のための相談・支援体制を充実する」53.9%、「捜査や刑事裁判において、犯罪被害者に配慮した対応を徹底する」25.1%、「学校教育、社会教育を通じて犯罪被害者等の権利を守る教育をおこなう」「事件に関してうわさ話をしないように地域住民が協力し合う」23.5%の順である。
- 「その他」として、「うわさが広がらないようにそっとする」、「犯罪の内容、経緯により対応は異なると思う」、「なぜ加害者より被害者の方がプライバシーなどの人権が守られないのか疑問」などの意見が寄せられた。

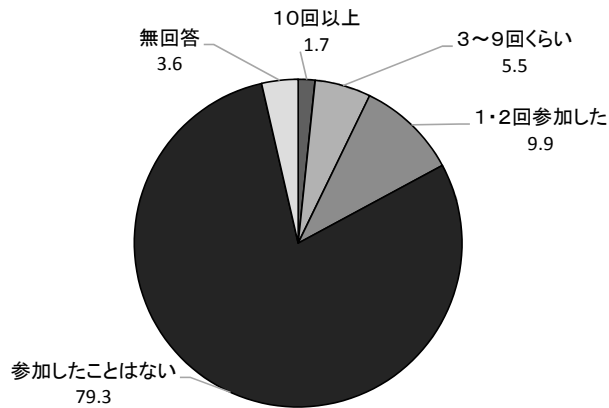
12 人権問題に関する講演会・研修会等について

【問 38】あなたはこれまで、人権問題に関する講演会、研修会に参加したことがありますか。

(○は1つだけ)

区分		人	%
	回答者数	362	100.0
1	10回以上	6	1.7
2	3～9回くらい	20	5.5
3	1・2回参加した	36	9.9
4	参加したことはない	287	79.3
5	無回答	13	3.6

人権問題に関する講演会、研修会に参加したことがありますか
(単位:%)



(男女別・年齢別・地区別)

上段:人 下段:%

区分	全体	男女別			年齢別									地区別				
		男性	女性	性不明	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年代不明	安田	京ヶ瀬	水原	笹神	地区不明	
回答者数	362	161	196	5	3	14	40	55	65	79	104	2	74	61	156	68	3	
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
1	6	6	0	0	0	0	2	0	2	1	1	0	2	0	4	0	0	
	1.7	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	3.1	1.3	1.0	0.0	2.7	0.0	2.6	0.0	0.0	
2	20	9	11	0	1	4	3	4	2	2	4	0	4	3	8	5	0	
	5.5	5.6	5.6	0.0	33.3	28.6	7.5	7.3	3.1	2.5	3.8	0.0	5.4	4.9	5.1	7.4	0.0	
3	36	15	21	0	0	3	2	7	6	7	11	0	4	7	16	9	0	
	9.9	9.3	10.7	0.0	0.0	21.4	5.0	12.7	9.2	8.9	10.6	0.0	5.4	11.5	10.3	13.2	0.0	
4	287	127	156	4	2	7	33	43	54	66	81	1	63	48	123	51	2	
	79.3	78.9	79.6	80.0	66.7	50.0	82.5	78.2	83.1	83.5	77.9	50.0	85.1	78.7	78.8	75.0	66.7	
5	13	4	8	1	0	0	0	1	1	3	7	1	1	3	5	3	1	
	3.6	2.5	4.1	20.0	0.0	0.0	0.0	1.8	1.5	3.8	6.7	50.0	1.4	4.9	3.2	4.4	33.3	

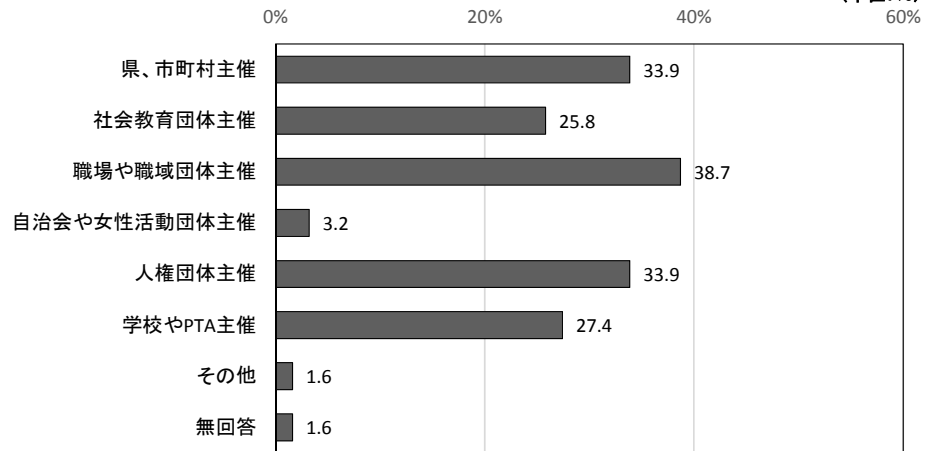
○人権問題に関する講演会、研修会に参加したことがあるかどうかについては、「10回以上」「3～9回くらい」「1、2回参加した」の合計は17.1%、「参加したことはない」79.3%である。

【問 39】【問 38】で「1～3」と答えた方にお聞きします。次の人権講習会、研修会のうち、参加したことがあるものすべてを選んでください。（あてはまるものすべてに○）

区分	人	%
回答者数	62	100.0
1 県、市町村主催	21	33.9
2 社会教育団体主催	16	25.8
3 職場や職域団体主催	24	38.7
4 自治会や女性活動団体主催	2	3.2
5 人権団体主催	21	33.9
6 学校やPTA主催	17	27.4
7 その他	1	1.6
8 無回答	1	1.6

参加したことがある人権講習会、研修会（複数回答）

（単位：％）



（男女別・年齢別・地区別）

上段：人 下段：％

区分	全体	男女別			年齢別								地区別				
		男性	女性	性不明	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年代不明	安田	京ヶ瀬	水原	笠神	地区不明
回答者数	62	30	32	0	1	7	7	11	10	10	16	0	10	10	28	14	0
	100.0	100.0	100.0	-	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	100.0	100.0	100.0	100.0	-
1	21	11	10	-	0	0	2	5	5	4	5	-	1	5	9	6	-
	33.9	36.7	31.3	-	0.0	0.0	28.6	45.5	50.0	40.0	31.3	-	10.0	50.0	32.1	42.9	-
2	16	11	5	-	0	0	1	3	3	3	6	-	2	1	8	5	-
	25.8	36.7	15.6	-	0.0	0.0	14.3	27.3	30.0	30.0	37.5	-	20.0	10.0	28.6	35.7	-
3	24	17	7	-	0	1	5	4	1	5	8	-	7	1	12	4	-
	38.7	56.7	21.9	-	0.0	14.3	71.4	36.4	10.0	50.0	50.0	-	70.0	10.0	42.9	28.6	-
4	2	1	1	-	0	0	0	0	0	0	2	-	0	0	1	1	-
	3.2	3.3	3.1	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	-	0.0	0.0	3.6	7.1	-
5	21	11	10	-	0	0	2	3	5	4	7	-	1	4	11	5	-
	33.9	36.7	31.3	-	0.0	0.0	28.6	27.3	50.0	40.0	43.8	-	10.0	40.0	39.3	35.7	-
6	17	6	11	-	1	5	1	4	3	1	2	-	4	4	8	1	-
	27.4	20.0	34.4	-	100.0	71.4	14.3	36.4	30.0	10.0	12.5	-	40.0	40.0	28.6	7.1	-
7	1	1	0	-	0	0	0	0	1	0	0	-	1	0	0	0	-
	1.6	3.3	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	-	10.0	0.0	0.0	0.0	-
8	1	0	1	-	0	1	0	0	0	0	0	-	1	0	0	0	-
	1.6	0.0	3.1	-	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	10.0	0.0	0.0	0.0	-

○参加したことがある人権講習会、研修会（複数回答可）は、「職場や職域団体主催」38.7%、「県、市町村主催」33.9%、「人権団体主催」33.9%、「学校やPTA主催」27.4%、「社会教育団体主催」25.8%、の順である。

○「その他」として、「共産党あるいは関係団体など」があげられた。

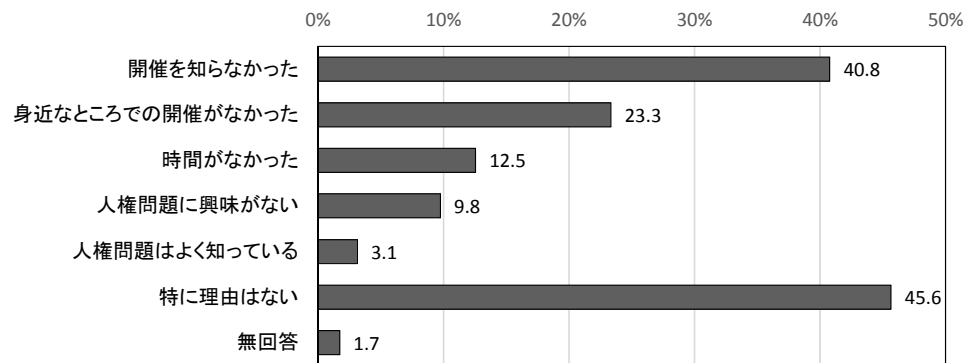
【問 40】【問 38】で「4 参加したことはない」と答えた方にお聞きします。人権講習会、研修会に参加したことがない理由を次の中から選んでください。

(あてはまるものすべてに○)

区分	回答者数	人	%
1	開催を知らなかった	117	40.8
2	身近なところでの開催がなかった	67	23.3
3	時間がなかった	36	12.5
4	人権問題に興味がない	28	9.8
5	人権問題はよく知っている	9	3.1
6	特に理由はない	131	45.6
7	無回答	5	1.7

人権講習会、研修会に参加したことがない理由(複数回答)

(単位:%)



(男女別・年齢別・地区別)

上段:人 下段:%

区分	全体	男女別			年齢別									地区別				
		男性	女性	性不明	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年代不明	安田	京ヶ瀬	水原	笹神	地区不明	
回答者数	287	127	156	4	2	7	33	43	54	66	81	1	63	48	123	51	2	
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
1	117	47	69	1	0	2	14	13	21	32	34	1	25	23	46	21	2	
	40.8	37.0	44.2	25.0	0.0	28.6	42.4	30.2	38.9	48.5	42.0	100.0	39.7	47.9	37.4	41.2	100.0	
2	67	28	39	0	0	2	5	7	14	20	19	0	14	8	27	18	0	
	23.3	22.0	25.0	0.0	0.0	28.6	15.2	16.3	25.9	30.3	23.5	0.0	22.2	16.7	22.0	35.3	0.0	
3	36	18	18	0	0	1	3	7	9	11	5	0	11	5	15	5	0	
	12.5	14.2	11.5	0.0	0.0	14.3	9.1	16.3	16.7	16.7	6.2	0.0	17.5	10.4	12.2	9.8	0.0	
4	28	12	16	0	0	1	3	5	5	5	9	0	2	6	12	8	0	
	9.8	9.4	10.3	0.0	0.0	14.3	9.1	11.6	9.3	7.6	11.1	0.0	3.2	12.5	9.8	15.7	0.0	
5	9	3	6	0	0	0	0	1	1	1	6	0	2	1	5	1	0	
	3.1	2.4	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	1.9	1.5	7.4	0.0	3.2	2.1	4.1	2.0	0.0	
6	131	63	65	3	2	4	18	23	22	25	37	0	32	21	54	24	0	
	45.6	49.6	41.7	75.0	100.0	57.1	54.5	53.5	40.7	37.9	45.7	0.0	50.8	43.8	43.9	47.1	0.0	
7	5	1	4	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	1	3	1	0	
	1.7	0.8	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.2	0.0	0.0	2.1	2.4	2.0	0.0	

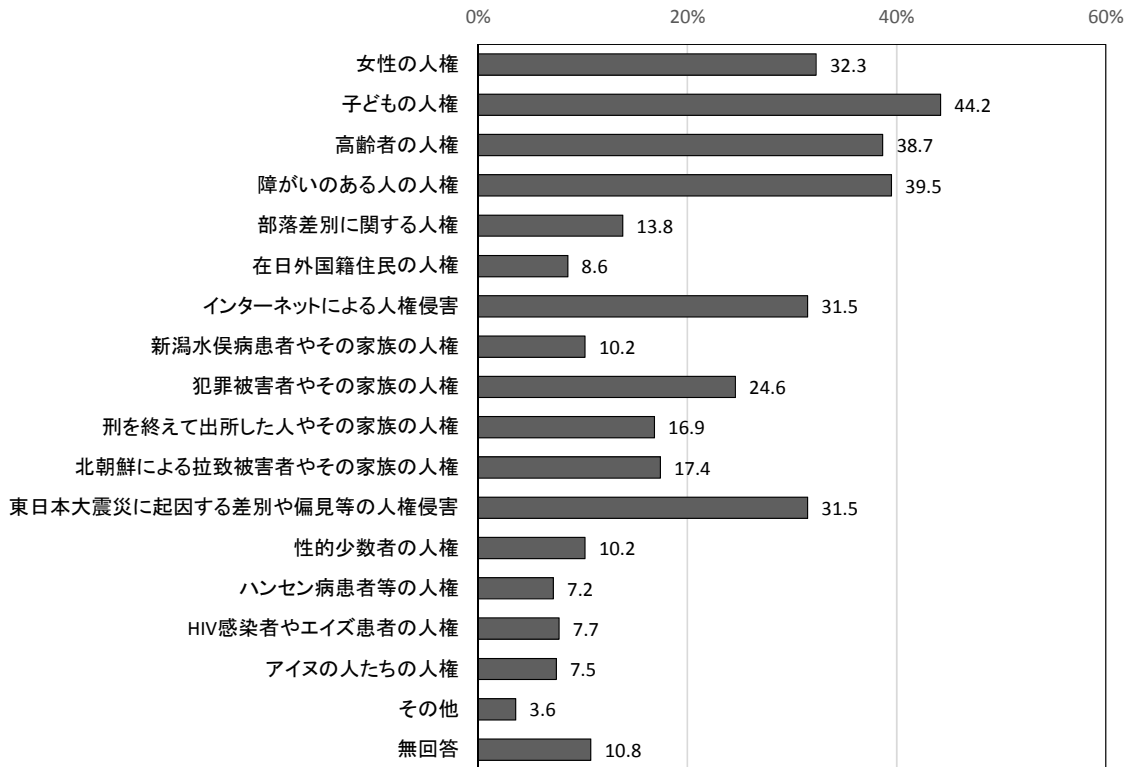
○人権講習会、研修会に参加したことがない理由(複数回答可)は、「特に理由はない」45.6%、「開催を知らなかった」40.8%、「身近なところでの開催がなかった」23.3%の順である。

【問 41】 今後、人権問題に関する研修等であなたが必要と思うテーマ（内容）を次の中から選んでください。（あてはまるものすべてに○）

区分	人	%
回答者数	362	100.0
1 女性の人権	117	32.3
2 子どもの人権	160	44.2
3 高齢者の人権	140	38.7
4 障がいのある人の人権	143	39.5
5 部落差別に関する人権	50	13.8
6 在日外国籍住民の人権	31	8.6
7 インターネットによる人権侵害	114	31.5
8 新潟水俣病患者やその家族の人権	37	10.2
9 犯罪被害者やその家族の人権	89	24.6
10 刑を終えて出所した人やその家族の人権	61	16.9
11 北朝鮮による拉致被害者やその家族の人権	63	17.4
12 東日本大震災に起因する差別や偏見等の人権侵害	114	31.5
13 性的少数者の人権	37	10.2
14 ハンセン病患者等の人権	26	7.2
15 HIV感染者やエイズ患者の人権	28	7.7
16 アイヌの人たちの人権	27	7.5
17 その他	13	3.6
18 無回答	39	10.8

今後、人権問題に関する研修等であなたが必要と思うテーマ（複数回答）

（単位：％）



(男女別・年齢別・地区別)

上段:人 下段:%

区分	全体	男女別			年齢別									地区別				
		男性	女性	性不明	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年代不明	安田	京ヶ瀬	水原	笹神	地区不明	
回答者数	362	161	196	5	3	14	40	55	65	79	104	2	74	61	156	68	3	
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
1	117 32.3	44 27.3	71 36.2	2 40.0	2 66.7	6 42.9	19 47.5	20 36.4	16 24.6	23 29.1	30 28.8	1 50.0	24 32.4	16 26.2	51 32.7	25 36.8	1 33.3	
2	160 44.2	81 50.3	78 39.8	1 20.0	1 33.3	12 85.7	24 60.0	29 52.7	28 43.1	31 39.2	35 33.7	0 0.0	32 43.2	24 39.3	77 49.4	27 39.7	0 0.0	
3	140 38.7	56 34.8	83 42.3	1 20.0	0 0.0	4 28.6	10 25.0	20 36.4	21 32.3	28 35.4	56 53.8	1 50.0	26 35.1	23 37.7	58 37.2	31 45.6	2 66.7	
4	143 39.5	67 41.6	75 38.3	1 20.0	1 33.3	7 50.0	19 47.5	22 40.0	24 36.9	38 48.1	31 29.8	1 50.0	29 39.2	21 34.4	64 41.0	28 41.2	1 33.3	
5	50 13.8	31 19.3	19 9.7	0 0.0	1 33.3	4 28.6	5 12.5	9 16.4	8 12.3	13 16.5	10 9.6	0 0.0	8 10.8	12 19.7	20 12.8	10 14.7	0 0.0	
6	31 8.6	17 10.6	14 7.1	0 0.0	1 33.3	3 21.4	3 7.5	5 9.1	6 9.2	4 5.1	9 8.7	0 0.0	6 8.1	6 9.8	11 7.1	8 11.8	0 0.0	
7	114 31.5	49 30.4	64 32.7	1 20.0	0 0.0	2 14.3	21 52.5	22 40.0	21 32.3	25 31.6	23 22.1	0 0.0	29 39.2	18 29.5	47 30.1	20 29.4	0 0.0	
8	37 10.2	18 11.2	19 9.7	0 0.0	1 33.3	2 14.3	5 12.5	4 7.3	5 7.7	10 12.7	10 9.6	0 0.0	6 8.1	8 13.1	15 9.6	8 11.8	0 0.0	
9	89 24.6	42 26.1	47 24.0	0 0.0	0 0.0	3 21.4	14 35.0	14 25.5	16 24.6	23 29.1	19 18.3	0 0.0	15 20.3	15 24.6	40 25.6	19 27.9	0 0.0	
10	61 16.9	30 18.6	31 15.8	0 0.0	0 0.0	3 21.4	8 20.0	6 10.9	13 20.0	18 22.8	13 12.5	0 0.0	11 14.9	12 19.7	28 17.9	10 14.7	0 0.0	
11	63 17.4	23 14.3	40 20.4	0 0.0	1 33.3	3 21.4	3 7.5	5 9.1	5 7.7	15 19.0	31 29.8	0 0.0	12 16.2	13 21.3	28 17.9	10 14.7	0 0.0	
12	114 31.5	53 32.9	61 31.1	0 0.0	1 33.3	7 50.0	13 32.5	15 27.3	21 32.3	25 31.6	32 30.8	0 0.0	23 31.1	22 36.1	50 32.1	19 27.9	0 0.0	
13	37 10.2	13 8.1	24 12.2	0 0.0	0 0.0	3 21.4	8 20.0	6 10.9	6 9.2	6 7.6	8 7.7	0 0.0	9 12.2	8 13.1	13 8.3	7 10.3	0 0.0	
14	26 7.2	14 8.7	12 6.1	0 0.0	1 33.3	0 0.0	2 5.0	4 7.3	3 4.6	6 7.6	10 9.6	0 0.0	5 6.8	5 8.2	12 7.7	4 5.9	0 0.0	
15	28 7.7	12 7.5	16 8.2	0 0.0	0 0.0	1 7.1	3 7.5	6 10.9	7 10.8	6 7.6	5 4.8	0 0.0	7 9.5	8 13.1	8 5.1	5 7.4	0 0.0	
16	27 7.5	16 9.9	11 5.6	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 2.5	3 5.5	3 4.6	8 10.1	11 10.6	0 0.0	7 9.5	5 8.2	11 7.1	4 5.9	0 0.0	
17	13 3.6	3 1.9	10 5.1	0 0.0	0 0.0	1 7.1	2 5.0	3 5.5	3 4.6	2 2.5	2 1.9	0 0.0	1 1.4	5 8.2	4 2.6	3 4.4	0 0.0	
18	39 10.8	16 9.9	21 10.7	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 7.3	3 4.6	7 8.9	24 23.1	1 50.0	5 6.8	6 9.8	18 11.5	9 13.2	1 33.3	

○人権問題に関する研修等で必要と思うテーマ（内容）（複数回答可）は「子どもの人権」が44.2%と最も多く、次いで「障がいのある人の人権」39.5%、「高齢者の人権」38.7%、「女性の人権」32.3%、「インターネットによる人権侵害」「東日本大震災に起因する差別や偏見等の人権侵害」31.5%の順である。

○「その他」として、「左翼団体の活動内容、日本人への人権侵害」、「外国産の食べ物の偏見」、「制度の谷間におかれている人の人権」、「嫁、舅」、「母子（父子）家庭の親と子の人権」、「いじめ」などがあげられた。

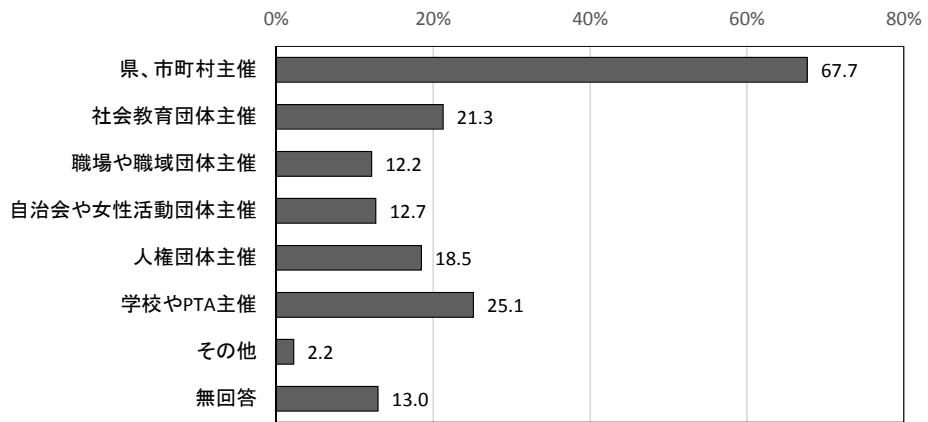
【問 42】人権問題に関する研修や講演等について、どの機関の実施を希望されますか。

次の中から選んでください。(○は3つまで)

区分	人	%
回答者数	362	100.0
1 県、市町村主催	245	67.7
2 社会教育団体主催	77	21.3
3 職場や職域団体主催	44	12.2
4 自治会や女性活動団体主催	46	12.7
5 人権団体主催	67	18.5
6 学校やPTA主催	91	25.1
7 その他	8	2.2
8 無回答	47	13.0

人権問題に関する研修や講演等について、どの機関の実施を希望されますか(複数回答)

(単位:%)



(男女別・年齢別・地区別)

上段:人 下段:%

区分	全体	男女別			年齢別									地区別				
		男性	女性	性不明	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年代不明	安田	京ヶ瀬	水原	笹神	地区不明	
回答者数	362	161	196	5	3	14	40	55	65	79	104	2	74	61	156	68	3	
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
1	245	116	125	4	1	9	30	34	48	57	65	1	53	42	105	44	1	
	67.7	72.0	63.8	80.0	33.3	64.3	75.0	61.8	73.8	72.2	62.5	50.0	71.6	68.9	67.3	64.7	33.3	
2	77	38	39	0	0	3	5	10	17	17	25	0	17	8	32	20	0	
	21.3	23.6	19.9	0.0	0.0	21.4	12.5	18.2	26.2	21.5	24.0	0.0	23.0	13.1	20.5	29.4	0.0	
3	44	22	22	0	0	5	9	10	6	9	5	0	10	9	17	8	0	
	12.2	13.7	11.2	0.0	0.0	35.7	22.5	18.2	9.2	11.4	4.8	0.0	13.5	14.8	10.9	11.8	0.0	
4	46	19	26	1	0	1	4	6	6	5	23	1	10	8	19	8	1	
	12.7	11.8	13.3	20.0	0.0	7.1	10.0	10.9	9.2	6.3	22.1	50.0	13.5	13.1	12.2	11.8	33.3	
5	67	28	39	0	0	1	7	12	11	18	18	0	14	10	27	16	0	
	18.5	17.4	19.9	0.0	0.0	7.1	17.5	21.8	16.9	22.8	17.3	0.0	18.9	16.4	17.3	23.5	0.0	
6	91	39	52	0	2	9	14	23	16	15	12	0	24	14	37	16	0	
	25.1	24.2	26.5	0.0	66.7	64.3	35.0	41.8	24.6	19.0	11.5	0.0	32.4	23.0	23.7	23.5	0.0	
7	8	5	3	0	0	0	0	3	2	2	1	0	1	2	5	0	0	
	2.2	3.1	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	5.5	3.1	2.5	1.0	0.0	1.4	3.3	3.2	0.0	0.0	
8	47	15	31	1	0	0	0	3	5	11	27	1	7	7	20	11	2	
	13.0	9.3	15.8	20.0	0.0	0.0	0.0	5.5	7.7	13.9	26.0	50.0	9.5	11.5	12.8	16.2	66.7	

○人権問題に関する研修や講演等について、どの機関の実施を希望するか(3つまで可)は、

「県、市町村主催」が67.7%と最も多く、次いで「学校やPTA主催」25.1%、「社会教育団体主催」21.3%、「人権団体主催」18.5%、「自治会や女性活動団体主催」12.7%の順である。

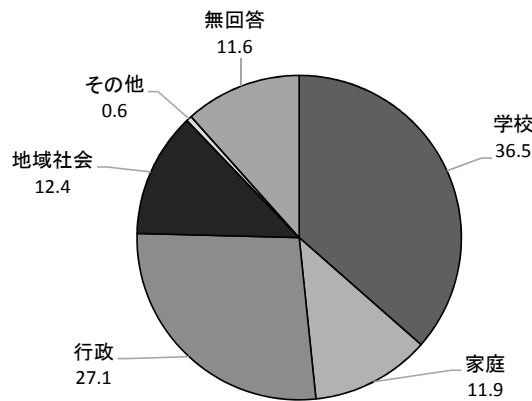
○「その他」として、「公正な機関(利益関係にない者)」、「当事者団体」などがあげられた。

【問 43】人権教育について、どこが進めるべきか次の中から選んでください。(○は1つだけ)

区分	人	%
回答者数	362	100.0
1 学校	132	36.5
2 家庭	43	11.9
3 行政	98	27.1
4 地域社会	45	12.4
5 その他	2	0.6
6 無回答	42	11.6

人権教育はどこが進めるべきか

(単位:%)



(男女別・年齢別・地区別)

上段:人 下段:%

区分	全体	男女別			年齢別									地区別				
		男性	女性	性不明	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年代不明	安田	京ヶ瀬	水原	笹神	地区不明	
回答者数	362	161	196	5	3	14	40	55	65	79	104	2	74	61	156	68	3	
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
1	132	63	68	1	2	11	23	17	24	27	28	0	33	18	55	26	0	
	36.5	39.1	34.7	20.0	66.7	78.6	57.5	30.9	36.9	34.2	26.9	0.0	44.6	29.5	35.3	38.2	0.0	
2	43	15	27	1	0	1	4	8	8	11	11	0	8	6	23	6	0	
	11.9	9.3	13.8	20.0	0.0	7.1	10.0	14.5	12.3	13.9	10.6	0.0	10.8	9.8	14.7	8.8	0.0	
3	98	45	52	1	1	1	4	17	22	20	33	0	19	16	43	19	1	
	27.1	28.0	26.5	20.0	33.3	7.1	10.0	30.9	33.8	25.3	31.7	0.0	25.7	26.2	27.6	27.9	33.3	
4	45	24	21	0	0	1	5	8	6	15	10	0	10	9	16	10	0	
	12.4	14.9	10.7	0.0	0.0	7.1	12.5	14.5	9.2	19.0	9.6	0.0	13.5	14.8	10.3	14.7	0.0	
5	2	0	2	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	
	0.6	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	1.6	0.6	0.0	0.0	
6	42	14	26	2	0	0	3	5	5	5	22	2	4	11	18	7	2	
	11.6	8.7	13.3	40.0	0.0	0.0	7.5	9.1	7.7	6.3	21.2	100.0	5.4	18.0	11.5	10.3	66.7	

○人権教育はどこが進めるべきかについては、「学校」36.5%、「行政」27.1%、「地域社会」12.4%、「家庭」11.9%の順である。

○「その他」として、「小さい時に問題が有る事を知る事が大切」、「3行政→情報発信(全体で共有)→1学校2家庭4地域社会」などの意見が寄せられた。

【問 44】小・中・高等学校で人権、同和教育を行うことについてどう思いますか。

次の中から選んでください。(○は1つだけ)

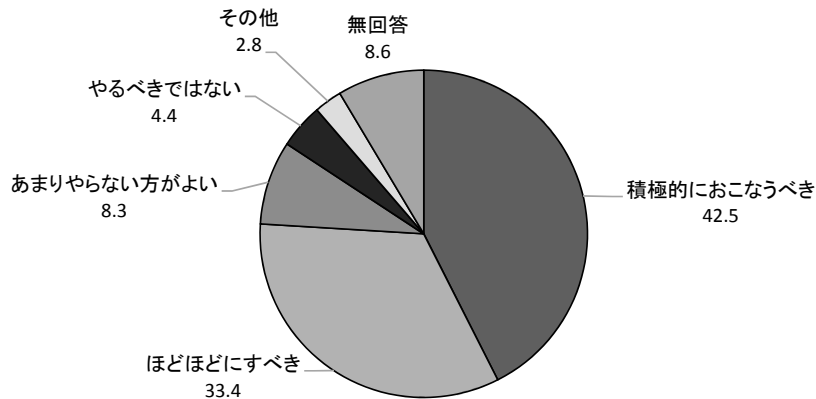
区分	人	%
回答者数	362	100.0
1 積極的におこなうべき	154	42.5
2 ほどほどにすべき	121	33.4
3 あまりやらない方がよい	30	8.3
4 やるべきではない	16	4.4
5 その他	10	2.8
6 無回答	31	8.6

(男女別・年齢別・地区別)

上段:人 下段:%

区分	全体	男女別			年齢別								地区別				
		男性	女性	性不明	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年代不明	安田	京ヶ瀬	水原	笹神	地区不明
回答者数	362	161	196	5	3	14	40	55	65	79	104	2	74	61	156	68	3
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1	154	69	84	1	2	10	18	26	33	32	32	1	31	29	59	34	1
	42.5	42.9	42.9	20.0	66.7	71.4	45.0	47.3	50.8	40.5	30.8	50.0	41.9	47.5	37.8	50.0	33.3
2	121	51	68	2	1	4	16	20	24	24	32	0	29	17	56	18	1
	33.4	31.7	34.7	40.0	33.3	28.6	40.0	36.4	36.9	30.4	30.8	0.0	39.2	27.9	35.9	26.5	33.3
3	30	16	13	1	0	0	0	2	5	11	12	0	5	5	17	3	0
	8.3	9.9	6.6	20.0	0.0	0.0	0.0	3.6	7.7	13.9	11.5	0.0	6.8	8.2	10.9	4.4	0.0
4	16	9	7	0	0	0	4	3	1	3	5	0	3	1	6	6	0
	4.4	5.6	3.6	0.0	0.0	0.0	10.0	5.5	1.5	3.8	4.8	0.0	4.1	1.6	3.8	8.8	0.0
5	10	7	3	0	0	0	1	2	0	3	4	0	3	3	3	1	0
	2.8	4.3	1.5	0.0	0.0	0.0	2.5	3.6	0.0	3.8	3.8	0.0	4.1	4.9	1.9	1.5	0.0
6	31	9	21	1	0	0	1	2	2	6	19	1	3	6	15	6	1
	8.6	5.6	10.7	20.0	0.0	0.0	2.5	3.6	3.1	7.6	18.3	50.0	4.1	9.8	9.6	8.8	33.3

小・中・高等学校で人権、同和教育を行うことについてどう思いますか
(単位:%)



○小・中・高等学校で人権、同和教育を行うことについてどう思うかについては、「積極的に行うべき」が42.5%と最も多く、次いで「ほどほどにすべき」33.4%、「あまりやらない方がよい」8.3%、「やるべきではない」が4.4%である。

○「その他」として、「今は一部の問題であり、なくなるべき問題」、「どの年齢でも差別はあり、まずは家庭の中からだと思うが、行うとしたら30代後半でも良い」、「中・高生（物事を理解できる年齢）にきちんと教育をすべき」、「具体的にどこが差別部落で誰が被差別民か知らせずに教育などできるか」、「同和教育の内容が分からない」、「今の小・中・高の保護者にはまったく意味不明では？それで正しく子どもたちに伝わるのか？教育を行うのは良いが、その後のことが心配」、「調和教育」などの意見が寄せられた。

13 人権問題に関するご意見・ご要望について

(1) 一覧

計 54 件

性別	年齢	ご意見・ご要望
男性	50代	昔のことをいつまでも問題として取扱い、それにより利益を受けている者もいることは現実であり、それこそが問題！問題にしなくて良いことはそのまま時間が解決することとして問題にしない方がよいと思う！
女性	30代	阿賀野市安田地区で結婚は入社後3年後以降にしろ、妊娠がわかると仕事をやめろ、子どもを見てくれる人がいるなら戻ってきてもいい、ただし産休・育休は産前1ヵ月～産後6ヵ月までしかあげられないと言われてたり、就業時間後呼び出され従業員は私が楽をするために雇っているのに、子どもの健診、親族の冠婚葬祭で休まれると意味がないと強い口調で言われたりしました。その間どうにか休まないようにと有休も使わず病児保育や祖父母に見てもらっていたのに、その努力も理解してもらえていないことにすごがっかりしました。その後すぐに解雇のような状況で退社せざるを得なくなりました。現代社会においてこのような職場が野放しになっていることに腹が立ちます。
男性	40代	純粋な人権問題を考えることは大切だと思うが、かといって共産党の様な団体に利用されるのはもっと問題だと思う。このアンケートも表面的な事を聞いているが、同和問題や在日問題はもっと奥が深いので、回答がしにくい。この調査で何を知りたいのかよくわからない。
男性	70代以上	人権問題にこだわる趣旨が分からない。市の広報で教えて下さい。
女性	40代	このアンケートで多くの人権問題について質問がありましたが、その立場にならないとわからないことが多く、回答できませんでした。安易に回答できるものでもないと思います。
男性	70代以上	1. 高齢者の仕事採用、年齢で制限されることが多い。個人差で考えてほしい。 2. 健康に努力して頑張っている人たちへのご褒美を考えてほしい。 3. 障がい者の就業を公民共社会で積極的に勧めてほしい。
女性	70代以上	自分たちは高年で、自身の体のおとろえでいっぱいです。子どもたちが、たいていの家族が別々ですので、老い行く一日一日です。
女性	50代	なし。毎日の生活に追われ、人権とか考える時間などないのが現状です。日々の生活が潤わなければ周りを見る余裕などでない。
男性	50代	人口減に伴い、空き学校、空き公共施設を IT 企業に低家賃で貸し出し、外国人労働者を積極的に雇用し、自治体が条件を決め空家に住んでもらう。東京の一極集中を無くすしか日本の発展はないと思う。
女性	60代	人権問題といっても、今の私にとって日常生活にあまり比重を感じていませんでしたが、この調査の内容を読み、今後自分は人権問題に対してどのように向き合い関わりを持っていくべきなのかと思いました。これから自らもこの問題の当事者になるかもわかりません!!ただ"いじめ"は絶対悪です。皆が平和に暮らせる地域環境づくりをしていきたいです。

性別	年齢	ご意見・ご要望
女性	50代	戦前生まれの人たちは子どものころからの教育のせいか、男は女より偉い、女は男にはかなわない等の考えが根強いです。その人たちの考え方を変えなければ男女の人権は発展しません。市議の人たちの中に女性もいますが、少ないです。まだまだ地域の中や人々の心の中に男尊女卑の気持ちがあると思います。障がい者の人に対する好奇の目は、人とは違うという目もありますが、障がい者に何かされるのでは？という警戒心もあると思います。私自身、車の中にいたら外から覗かれたり、手で車の窓をたたかれたりしました。あまり人権ばかり考えると、プライバシーの問題、個人情報のあることあるので他人には関わらない方がいいのかなとは思ってしまいます。そうすると、老人の孤独死や幼児虐待を見逃してしまったり、難しい問題です。
女性	70代以上	<ul style="list-style-type: none"> ・今でも差別しているところがあります。市からの配りものをする順番が昔のままであったり。 ・はっきりしたことが分からないのに噂話をする、特にサービス業の方は注意した方がいいと思います。 ・特に市からの連絡を町内会にしている人に注意してください。 ・この調査に違和感を感じました。この内容では深いところまで見られない様な気がしました。 ・今の人は大学に行って何を勉強しているのかわからないです。大金を払っているのにお金をやれば良いという孫親の責任もあると思います。大学の先生にも問題ありと思います。
男性	70代以上	【問41】の「女性の人権」に○印を記しましたが、そもそも女性の人権とは……少し考えます（問いに対し）。女性に対しては男性があり、違うところは性的なもの（赤ちゃんを誕生させてくれる等々）男性とは全く異なる面もあると思いますが、人権（社会的）は男性、女性同一と考えます。「女性の人権」云々されますが、国（法律）を動かす立場の人たちがきちんと国民が人権は同一と認める（理解する）国民に指導、教育すべきだと思いますが…。社会人になり、家庭、職場等の環境の中で「人権」…難しいです。考えること（思うこと）、時間がありません。「鉄は熱いうちに叩け」小学校～中学校～高校と、どんどん吸収できる年代に教育し理解してもらい社会人となる。そんなことが可能になるよう、関係者のご尽力を希望します。
女性	50代	<ul style="list-style-type: none"> ・これからは高齢化社会になります。私の周りにも高齢な方々がたくさんいらっしゃいます。一人暮らしの方々も多く、“誰とも喋ってないの”という話もよく聞きます。お友達作りもかねて、いこいの施設のような、いつでも行ける場を設けてほしいです。 ・私は阿賀野市民になって28年が経ちます。とても住みやすく、良い所です。
女性	30代	女性の人権問題に関し、女性の一人暮らしや母子家庭は、女性というだけで非力で何もできない、立場が弱いというレッテルを男性から貼られているように思います。男性の転入があった際、近隣住民の態度が大きく変わり、下手に出るようになりました。その反対もありました。男尊女卑の考えは共働きの家庭が増えても地域の行事の際に多く見受けられ、その地域の風習として根強く残っていると感じられました。様々な人権問題において、一歩ずつ解決へと前進できることを心より願っております。
不明	30代	阿賀野市にも被差別部落は昔からあると聞いています。差別される人が悪いという考え方はしないでほしいと思います。
女性	30代	【問29】の制度は登録制ではなくて全て本人に通知することはできないのでしょうか？制度自体を知らなかったのでも…。
男性	60代	阿賀野市で人権問題があるとは思っていなかった。
男性	30代	金や名誉に執着する心がある間は思いやりを育むのは難しいと思う。

性別	年齢	ご意見・ご要望
女性	70代以上	<p>同和地区問題について 「同和地区問題」「部落民」…等詳しいことはわかりません。小学生のころ定かではありませんが「あの山超えて」と言う少女小説を読んだ記憶があります。その後住井すゑ「橋のない川」を7巻まで読ませていただきました。アメリカとシベリアを隔てるベーリング海峡が陸続きだったらどうなっていたかを考えたらこの小説が産れた。世界は一つ、地球はひとつ。差別、被差別、人間関係の架け橋と置き換えることもできる。此の資料を頂き今一度インターネットで調べてみました。このくだりが身につまされました。私は「土農工商」時代の身分制度が影響を及ぼしているものと頭から信じてきました。今も差別があるとは思っていません。奈良には20数回旅をしています。その都度「部落民」という言葉を思い出してはいました。今一度勉強したいと思います。</p> <p>水俣病についての意見 何十年も前になりますが、阿賀野川の魚が川面いっぱい浮いて流れて来たことがありました。村中で奪い合うようにひろったことがあります。「川に浮いた魚は食べないでくれ」と巡回していました。もう聞く耳を持った方はいなかったと思います。相当の量が料理屋に行ったものと思います。中学生でしたが結構気になり食べなかった思いがあります。あの頃「水銀」という言葉さえわかりませんでした。家族一同「水俣病」ではありません。水銀の怖さとお金の怖さを知りました。</p> <p>いま、「付度」ということが言われています。私は初めて聞く言葉です。最近「意味」がわかってきました。全てが…「政治」「経済」生きてゆく上でこの様な関係で成り立っているのではないのでしょうか。寂しいです。どうか、阿賀野市役所には「付度」という言葉が通じないことを祈ります。</p>
男性	50代	弱者に対して温かい支援が行える県又は市になるよう望みます。
女性	40代	<p>私が小・中・高と学生の時にいじめはありましたが、今ほど悪質ないじめではありませんでした。今はいじめによる自殺、殺人のニュースが多くみられ、とても不安に感じます。私の子どもが大きくなったとき、そのような悪質ないじめのない状況であればと願っております。いじめる本人も悪いですが、その子が置かれた生活環境はどのようなのでしょうか。そのような行動をするには理由があるのではないのでしょうか。家庭環境、親との関係。親にも責任があるのでは。学校と家庭との関係を密にするのが大切かと思えます。このような悪質ないじめがない社会になることを願っています。女性に対する結婚、出産における不当な対応。周囲における理解と協力。(職場)</p>
男性	40代	<p>人権問題は学校教育が一番だと思います。家庭と繋がり人権を守るようになり地域社会と繋がっていき人の痛み、自分の痛みを感じることができる。人づくりのため、行政でも積極的に取り組んでもらいたい。未来のために。</p>
男性	50代	<p>人権問題に関する意見ですけれども、私は共産党関係者ですけど、昨年アンケートをやりました。阿賀野市共産党委員会で行いました。その中に一人、20代女性シングルマザーの方が、生活が苦しく、市の本所の方に生活相談をしたのですが、受け付けられず、生活の苦しさを話したのに受け付けてもらえない苦しさ、悔しさが書かれてました。もう少し市の担当に考えてほしいですね。今度、今年田中市長と課長たちと話し合いしてみます。もう少し人権を考えてください。</p>
男性	70代以上	<p>市職員の窓口対応へのお願い 役職を持つ人と一般の人への対応が異なる場面に接することがあります。普通の人へも平等な対応を望みます。特に若い女性職員が気分の悪い時か、不親切な時があります。顔での表現も大切かと。</p>

性別	年齢	ご意見・ご要望
女性	70代以上	人権問題について 人権は、自由権と社会権（生存権）に分けて考えると、自由権は人間の幸福追求のために個人の自由な意思決定と自由な活動を保障する権利と思います。人間の自由な精神にもとづく社会的自立の権利保障は、人間の尊厳の基盤となる人権思想ではないでしょうか。我々は、自由権のみで、実質的な意味での人間らしい生活を保障するものではなく、社会権（生存権）を含めた「すべての人に人間たるに値する生活を保障することを目的とする原則に適合することが必要」と思います。「自己の尊厳と自己の人格の自由な発展」は社会生活において人間の尊厳が保持されるためには、一人ひとりが主体的に自己の有する能力を十分にいかすことができる機会とその為の環境が用意されるべきと考えます。多くのご意見、要望に添った人間思想の向上に期待致します。
女性	20代	近所の方々の情報から、近くの学校で不登校児が多数みうけられるそうです。原因はいじめとのこと。複数、かつ長期間の生徒が多いとの話でしたが、なぜそのような状況におちいってしまったのか疑問に思います。学校にも問題があると思いますが、教育委員会や、県や市はどのように考えているのでしょうか？自分や自分の家族に関係なければ本腰をいれて動かないのでしょうか？阿賀野市にあるその学校が、「日本全国で初めて試みているモデル校」のようになるような、他ではやっていない取組みを積極的に考え、行っていけば良いのではと考えます。新しいことなどダメで元々です。やらなければ何も変わりません。今日のアンケートを行ったことがムダにならないよう市民の意見に耳をかたむけていただきたいです。
女性	70代以上	回答はあまり同じようなテーマなので最後は自分自身では身近なことではないのでむずかしい。違う人をお願いします
女性	50代	【問14】について、ニュース等で教師の言動が原因となり、いじめに発展したケースが大きく取り上げられている中で、選択項目に入っていないのは違和感を感じましたし、いじめ問題はすべて児童・生徒と子どものみが悪く、子どもに原因があるとしか感じられず、人権問題に関する調査なのに、【問14】に関しては、選択項目じたいに差別を感じました。子どものいじめ問題に大人は関係ないということ自体差別だと思います。もう少し、選択項目を考えて調査して欲しかったと思います。あと【問29】の住民票の写し等の第三者交付に係る本人通知制度についてですが、交付した後に通知されても不正取得後になり、意味がないように思いますが。それで、不正取得の防止にどのようにつながるのか詳しく知りたいです。
男性	30代	根気強く、丁寧にやるしかないと思います。
男性	70代以上	部落のない県から来たので、当地域の現状をしらない。(来て3年目)
女性	70代以上	住みやすい市は、人権が守られていること。
男性	30代	刑を終えて出所した人達の人権問題
女性	40代	「女性の人権」が尊重されるのは、ありがたいことですが、男女平等という風習が好きでないです。やはり、男性に女性はいろんな意味でかなわないことが多いと思います。女性は男性より、一歩下がって…という方が美しいと思います。私自身、そう言ってもなかなかできませんが…古い考えかもしれませんが、男性が外で稼いで、女性が家庭を守る、というのが私は正しいと思います。女性が外に出ると、どうしても強くなる。私だって働いている！って思う。女性が強くなった分、こどもがいじめっ子になったりやはり家庭の大黒柱は女性ではなく男性だと思います。それが狂うと全部狂うのではないのでしょうか？だから、あまり女性の人権！と声高々とやってほしくないと思っています。一人一人が、自分のことばかりでなくて、相手やまわりの人のことを考えて思いやれば、いい町になるんだろうなァ…と思います。難しいことでしょうけど。様々な差別などは、家庭でももちろん大事ですが、やはり学校教育も大事だろうな、と思いました。

性別	年齢	ご意見・ご要望
男性	50代	妬みがでない様な救済措置を。
女性	40代	自分自身が差別されたり家族が差別されたりしたことがないのでよくわかりません。ただ、最近TV、ネットなどなど以前にはなかった方法で問題が起きていることに対して心配はあります。
女性	70代以上	部落差別問題について特に取り上げて人権問題のアンケートを取っていますが、必要（特に）あるのでしょうか。他にもっと人権について学習する中で意識を深めるようにしたらよろしいのではないのでしょうか。
女性	30代	部落差別ではないが、同じ町内でも昔からその土地にいる人、血筋の人の力は強く、よそ者に対して、上からやってくるので意味分かんない。なぜ引っこしてきて、市役所の人に「まず、自治会長さんにあいさつに行ってくれ」と言われなきゃならないのか。町内ごとのルールを説明してもらっためだとか言うが、そんなの市でやればいい。そういうのが、だんだん大きくなり、町内差別や、よその町内会への偏見になっているんだと思う。せっかくあたらしい住宅地に引っこして、ローカルルールがなくて良かったのに、その上の町内会でのローカルルールに苦しめられている。
男性	60代	学校における「いじめ」については「いじめ」を行っている者の意識が希薄なのではないか？それは何故なのか？その者の家庭環境から来るものなのか？社会全体の今の環境から来るものなのか？50～60年前とは全然違う。「いじめ」に限らず人権問題が多すぎる。国、県、市は人権問題に対しどうすれば良いのか？市は「人権教育・啓発推進計画」の策定を進めているそうだが、当然このような計画は国、県、市が順に進められていると思われるが、計画があっても計画倒れにならない様、期待したい。
男性	60代	子どもの教育について経済的に不利にならない様、小中高までは無償で教育が受けられるよう支援が必要です。
女性	50代	阿賀野市には子育て応援カードがあり、子育てカードを利用できる店舗を増やし、スーパーなどでは日曜日しか利用できないので週に2、3回使えるようにしてほしいと思います。また、高齢者も年金だけでは生活するのが困難です。健康な人は働くこともできますが、体が悪いと（足が痛いなど）収入がないので応援カードがあったら助かります。映画館やレストランではシニア料金があります。阿賀野市でもぜひお考えください。
男性	60代	基本的人権の尊重と憲法で表現されているけれど、教育がされていない。差別だらけの現状にある。人が人として生きるには、行政の配慮や学校教育の充実が不可欠である。全く感じられない。いじめひとつ解決できない教育界には人として疑わしい先生方の存在があると思われる。全く同じ人間は存在しないので、各々にあった対応策があることが必要である。皆が安心して生活できる社会が欲しい。以上
男性	60代	・人権問題について積極的に進めていらっしゃる様でご苦労様です。市の職員の方はある意味市民の人権を守ることで先頭に立つ皆様であることを願います。 ・SNSの世の中になり人権なんて守る方がむずかしくなっています。市の職員の皆様の今後に期待したいと思います。
女性	60代	今まで身近に差別を受けている人とか、外国の人がいなかったのも、全然実感がありませんでした。少しでも改善されることを願います。
女性	70代以上	障がい者に手厚い保護を望む
女性	50代	私は厳格な祖父、父から「そんなのならってどうする」「家には必要ない」と人権などというものは何もなかった。それなのに今は「人権」をたてに何か勘違いしてるような人がたくさんいる。家庭、親がしっかりしていない。

性別	年齢	ご意見・ご要望
女性	30代	小さな市ですが、様々な人が住んでいます。他の市と比べると、阿賀野市の対応はあまり良いとは言えません。私は母子家庭ですが、住みやすいとは言えません。ストーカー被害に合った時も、警察に相談しましたが全く、良い対応されず、逆に私に非があるような事を言われました。両親、家族には心配をかけたくなかったのですが、警察の方の対応でバレてしまったり、職場にも迷惑をかけなければいけなくなりました。もう少し、個人のプライバシーを守って頂けたらうれしいです。母子（父子）家庭に対しても、まだまだ偏見はあります。事情は様々なのに、有りもしないウワサを流されたり…。もっと、極秘で相談できればいいと思います。市、県の支援も、もっと手厚く、普通の家庭と同様の生活が送れるといいです。
女性	40代	本人や家族が悩み苦しんでいることを周囲の人に理解してもらうのは難しいです。いじめまではいかなくても冷やかされて心にダメージを受け、立ち直ることができない時もあります。同じような体験をしている人の意見や、乗り越え方などの情報がほしいですが、個人的に人に知られるのも怖かったりもします。
女性	70代以上	阿賀野市民として、互いに安心して、仲良く暮らしていかれることを望みます。
女性	40代	“便利”“豊か”“暮らしやすい”くらしが一部地域や人々だけに集中しすぎないようになれば良いと思う。正のスパイラルにどこかで入れれば良いのですが。
女性	70代以上	私事ですが隣からいじめを受けています。お母さん又出ているぞ、お母さん又水まいてるぞ（花の水やりです）、お母さんまだいるぞ（ベランダで洗濯干しです）、今頃やっとうそじしているぞ、お母さん又踊っているぞ（家の中でも）。一番いやなのは取ってもいないのに泥棒にされあちこち噂を立てられ困っています。当たり前前に穏やかな暮らしを望みます。
男性	60代	特記事項無し 人間は感情の生きものです。

自由意見の主な記述について

(2) テーマ別

(1) 人権問題全般について

○問題と関わりがない、わからないなど

性別	年齢	ご意見・ご要望
女性	70代以上	自分たちは高年で、自身の体のおとろえでいっぱいです。子どもたちが、たいていの家族が別々ですので、老い行く一日一日です。
女性	50代	なし。毎日の生活に追われ、人権とか考える時間などないのが現状です。日々の生活が潤わなければ周りを見る余裕などでない。
女性	60代	人権問題といっても、今の私にとって日常生活にあまり比重を感じていませんでしたが、この調査の内容を読み、今後自分は人権問題に対してどのように向き合い関わりを持っていくべきなのかと思いました。これから自らもこの問題の当事者になるかもわかりません!!ただ“いじめ”は絶対悪です。皆が平和に暮らせる地域環境づくりをしていきたいです。
男性	60代	阿賀野市で人権問題があるとは思っていなかった。
女性	70代以上	回答はあまり同じようなテーマなので最後は自分自身では身近なことではないのでむずかしい。違う人をお願いします
男性	70代以上	部落のない県から来たので、当地域の現状をしらない。(来て3年目)
女性	40代	自分自身が差別されたり家族が差別されたりしたことがないのでよくわかりません。ただ、最近TV、ネットなどなど以前にはなかった方法で問題が起きていることに対して心配はあります。
女性	60代	今まで身近に差別を受けている人とか、外国の人がいなかったもので、全然実感がありませんでした。少しでも改善されることを願います。

○相談体制など

性別	年齢	ご意見・ご要望
男性	50代	人権問題に関する意見ですけども、私は共産党関係者ですけど、昨年アンケートをやりました。阿賀野市共産党委員会で作りました。その中に一人、20代女性シングルマザーの方が、生活が苦しく、市の本所の方に生活相談をしたのですが、受け付けられず、生活の苦しさを話したのに受け付けてもらえない苦しさ、悔しさが書かれてました。もう少し市の担当に考えてほしいですね。今度、今年田中市長と課長たちと話し合いしてみます。もう少し人権を考えてください。
男性	70代以上	市職員の窓口対応へのお願い 役職を持つ人と一般の人への対応が異なる場面に接することがあります。普通の人へも平等な対応を望みます。特に若い女性職員が気分の悪い時か、不親切な時があります。顔での表現も大切かと。
女性	30代	小さな市ですが、様々な人が住んでいます。他の市と比べると、阿賀野市の対応はあまり良いとは言えません。私は母子家庭ですが、住みやすいとは言えません。ストーカー被害に合った時も、警察に相談しましたが全く、良い対応されず、逆に私に非があるような事を言われました。両親、家族には心配をかけたくなかったのですが、警察の方の対応でバレてしまったり、職場にも迷惑をかけなければいけなくなりました。もう少し、個人のプライバシーを守って頂けたらうれしいです。母子(父子)家庭に対しても、まだまだ偏見はあります。事情は様々なのに、有りもしないウワサを流されたり…。もっと、極秘で相談できればいいと思います。市、県の支援も、もっと手厚く、普通の家庭と同様の生活が送れるといいです。

性別	年齢	ご意見・ご要望
女性	40代	本人や家族が悩み苦しんでいることを周囲の人に理解してもらうのは難しいです。いじめまではいかなくても冷やかされて心にダメージを受け、立ち直ることができない時もあります。同じような体験をしている人の意見や、乗り越え方などの情報がほしいですが、個人的に人に知られるのも怖かったりもします。

(2) 女性の人権

性別	年齢	ご意見・ご要望
女性	30代	阿賀野市安田地区で結婚は入社後3年後以降にしる、妊娠がわかると仕事をやめろ、子どもを見てくれる人がいるなら戻ってきてもいい、ただし産休・育休は産前1ヵ月～産後6ヵ月までしかあげられないと言われてたり、就業時間後呼び出され従業員は私が楽をするために雇っているのに、子どもの健診、親族の冠婚葬祭で休まれると意味がないと強い口調で言われたりしました。その間どうにか休まないようにと有休も使わず病児保育や祖父母に見てもらっていたのに、その努力も理解してもらえていないことにすごくがっかりしました。その後すぐに解雇のような状況で退社せざるを得なくなりました。現代社会においてこのような職場が野放しになっていることに腹が立ちます。
女性	50代	戦前生まれの人たちは子どものころからの教育のせい、男は女より偉い、女は男にはかなわない等の考えが根強いです。その人たちの考えを変えなければ男女の人権は発展しません。市議の人たちの中に女性もいますが、少ないです。まだまだ地域の中や人々の心の中に男尊女卑の気持ちがあると思います。
男性	70代以上	【問41】の「女性の人権」に○印を記しましたが、そもそも女性の人権とは……少し考えます（問いに対し）。女性に対しては男性があり、違うところは性的なもの（赤ちゃんを誕生させてくれる等々）男性とは全く異なる面もあると思いますが、人権（社会的）は男性、女性同一と考えます。「女性の人権」云々されますが、国（法律）を動かす立場の人たちがきちんと国民が人権は同一と認める（理解する）国民に指導、教育すべきと思います。
女性	30代	女性の人権問題に関し、女性の一人暮らしや母子家庭は、女性というだけで非力で何もできない、立場が弱いというレッテルを男性から貼られているように思います。男性の転入があった際、近隣住民の態度が大きく変わり、下手に出るようになりました。その反対もありました。男尊女卑の考えは共働きの家庭が増えても地域の行事の際に多く見受けられ、その地域の風習として根強く残っていると感じられました。様々な人権問題において、一歩ずつ解決へと前進できることを心より願っております。
女性	40代	女性に対する結婚、出産における不当な対応。周囲における理解と協力。（職場）

(3) 子どもの人権

性別	年齢	ご意見・ご要望
女性	40代	私が小・中・高と学生の時にいじめはありましたが、今ほど悪質ないじめではありませんでした。今はいじめによる自殺、殺人のニュースが多くみられ、とても不安に感じます。私の子どもが大きくなったとき、そのような悪質ないじめのない状況であれば願っております。いじめる本人も悪いですが、その子が置かれた生活環境はどうなのでしょう。そのような行動をするには理由があるのではないのでしょうか。家庭環境、親との関係。親にも責任があるのでは。学校と家庭との関係を密にするのが大切かと思えます。このような悪質ないじめがない社会になることを願っています。
女性	20代	近所の方々の情報から、近くの学校で不登校児が多数みうけられるそうです。原因はいじめとのこと。複数、かつ長期間の生徒が多いとの話でしたが、なぜそのような状況におちいってしまったのか疑問に思えます。学校にも問題があると思いますが、教育委員会や、県や市はどのように考えているのでしょうか？自分や自分の家族に関係なければ本腰をいれて動かないのでしょうか？阿賀野市にあるその学校が、「日本全国で初めて試みているモデル校」のようになるような、他ではやっていない取組みを積極的に考え、行っていければ良いのではと考えます。新しいことなどダメで元々です。やらなければ何も変わりません。今日のアンケートを行ったことがムダにならないよう市民の意見に耳をかたむけていただきたいです。
男性	60代	学校における「いじめ」については「いじめ」を行っている者の意識が希薄なのではないか？それは何故なのか？その者の家庭環境から来るものなのか？社会全体の今の環境から来るものなのか？50～60年前とは全然違う。「いじめ」に限らず人権問題が多すぎる。国、県、市は人権問題に対しどうすれば良いのか？市は「人権教育・啓発推進計画」の策定を進めているそうだが、当然このような計画は国、県、市が順に進められていると思われるが、計画があっても計画倒れにならない様、期待したい。
男性	60代	子どもの教育について経済的に不利にならない様、小中高までは無償で教育が受けられるよう支援が必要です。
女性	50代	阿賀野市には子育て応援カードがあり、子育てカードを利用できる店舗を増やし、スーパーなどでは日曜日しか利用できないので週に2、3回使えるようにしたいと思います。また、高齢者も年金だけでは生活するのが困難です。健康な人は働くこともできますが、体が悪いと（足が痛いなど）収入がないので応援カードがあったら助かります。映画館やレストランではシニア料金があります。阿賀野市でもぜひお考えください。

(4) 高齢者の人権

性別	年齢	ご意見・ご要望
男性	70代以上	高齢者の仕事採用、年齢で制限されることが多い。個人差で考えてほしい。健康に努力して頑張っている人たちへのご褒美を考えてほしい。
女性	50代	・これからは高齢化社会になります。私の周りにも高齢な方々がたくさんいらっしゃいます。一人暮らしの方々も多く、“誰とも喋ってないの”という話もよく聞きます。お友達作りもかねて、いこいの施設のような、いつでも行ける場を設けてほしいです。

(5) 障がいのある人の人権

性別	年齢	ご意見・ご要望
男性	70代以上	障がい者の就業を公民共社会で積極的に勧めてほしい。
女性	50代	障がい者の人に対する好奇の目は、人とは違うという目もありますが、障がい者に何かされるのでは？という警戒心もあると思います。私自身、車の中にいたら外から覗かれたり、手で車の窓をたたかれました。
女性	70代以上	障がい者に手厚い保護を望む。

(6) 部落差別（同和問題）について

性別	年齢	ご意見・ご要望
不明	30代	阿賀野市にも被差別部落は昔からあると聞いています。差別される人が悪いという考え方はしないでほしいと思います。
女性	70代以上	同和地区問題について 「同和地区問題」「部落民」…等詳しいことはわかりません。小学生のころ定かではありませんが「あの山超えて」と言う少女小説を読んだ記憶があります。その後住井すゑ「橋のない川」を7巻まで読ませていただきました。アメリカとシベリアを隔てるベーリング海峡が陸続きだったらどうなっていたかを考えたらこの小説が産れた。世界は一つ、地球はひとつ。差別、被差別、人間関係の架け橋と置き換えることもできる。此の資料を頂き今一度インターネットで調べてみました。このくだりが身につまされました。私は「土農工商」時代の身分制度が影響を及ぼしているものと頭から信じてきました。今も差別があるとは思っていません。奈良には20数回旅をしています。その都度「部落民」という言葉を思い出してはいました。今一度勉強したいと思います。

(7) 身元調査について

性別	年齢	ご意見・ご要望
女性	30代	【問29】の制度は登録制ではなくて全て本人に通知することはできないのでしょうか？制度自体を知らなかったのも…。
女性	50代	【問29】の住民票の写し等の第三者交付に係る本人通知制度についてですが、交付した後に通知されても不正取得後になり、意味がないように思いますが。それで、不正取得の防止にどのようにつながるのか詳しく知りたいです。

(8) 外国籍住民の人権

特になし

(9) インターネットによる人権侵害

特になし

(10)新潟水俣病患者やその家族の人権に関する問題について

性別	年齢	ご意見・ご要望
女性	70代以上	水俣病についての意見 何十年も前になりますが、阿賀野川の魚が川面いっぱい浮いて流れて来たことが有りました。村中で奪い合うようにひろったことがあります。「川に浮いた魚は食べないでくれ」と巡回していました。もう聞く耳を持った方はいなかったと思います。相当の量が料理屋に行ったものと思います。中学生でしたが結構気になり食べなかった思いがあります。あの頃「水銀」という言葉さえわかりませんでした。家族一同「水俣病」ではありません。水銀の怖さとお金の怖さを知りました。

(11)犯罪被害者やその家族の人権

特になし

(12)人権教育について

性別	年齢	ご意見・ご要望
男性	70代以上	社会人になり、家庭、職場等の環境の中で「人権」…難しいです。考えること（思うこと）、時間がありません。「鉄は熱いうちに叩け」小学校～中学校～高校と、どんどん吸収できる年代に教育し理解してもらい社会人となる。そんなことが可能になるよう、関係者のご尽力を希望します。
男性	30代	金や名誉に執着する心がある間は思いやりを育むのは難しいと思う。
男性	40代	人権問題は学校教育が一番だと思います。家庭と繋がり人権を守るようになり地域社会と繋がっていき人の痛み、自分の痛みを感じることが出来る。人づくりのため、行政でも積極的に取り組んでもらいたい。未来のために。
女性	40代	様々な差別などは、家庭でももちろん大事ですが、やはり学校教育も大事だろうな、と思いました。
男性	60代	基本的人権の尊重と憲法で表現されているけれど、教育がされていない。差別だらけの現状にある。人が人として生きるには、行政の配慮や学校教育の充実が不可欠である。全く感じられない。いじめひとつ解決できない教育界には人として疑わしい先生方の存在があると思われる。全く同じ人間は存在しないので、各々にあった対応策があることが必要である。皆が安心して生活できる社会が欲しい。 以上
女性	50代	私は厳格な祖父、父から「そんなのらってどうする」「家には必要ない」と人権などというものは何もなかった。それなのに今は「人権」をたてに何か勘違いしてるような人がたくさんいる。家庭、親がしっかりしていない。

(13) その他の人権侵害

性別	年齢	ご意見・ご要望
女性	70代以上	<ul style="list-style-type: none"> ・今でも差別しているところがあります。市からの配りものをする順番が昔のままであったり。 ・はっきりしたことが分からないのに噂話をする事、特にサービス業の方は注意した方がいいと思います。 ・特に市からの連絡を町内会にしている人に注意してください。
男性	30代	刑を終えて出所した人達の人権問題
女性	30代	部落差別ではないが、同じ町内でも昔からその土地にいる人、血筋の人の力は強く、よそ者に対して、上からやってくるので意味分かんない。なぜ引っこしてきて、市役所の人に「まず、自治会長さんにあいさつに行ってくれ」と言われなきゃならないのか。町内ごとのルールを説明してもらったためとか言うが、そんなの市でやればいい。そういうのが、だんだん大きくなり、町内差別や、よその町内会への偏見になっているんだと思う。せっかくあたらしい住宅地に引っこして、ローカルルールがなくて良かったのに、その上の町内会でのローカルルールに苦しめられている。
女性	70代以上	私事です隣からいじめを受けています。お母さん又出ているぞ、お母さん又水まいてるぞ（花の水やりです）、お母さんまだいるぞ（ベランダで洗濯干しです）、今頃やっとそうじしているぞ、お母さん又踊っているぞ（家の中でも）。一番いやなのは取ってもいないのに泥棒にされあちこち噂を立てられ困っています。当たり前前に穏やかな暮らしを望みます。

(14) アンケートへの意見、感想

性別	年齢	ご意見・ご要望
男性	40代	このアンケートも表面的な事を聞いているが、同和問題や在日問題はもっと奥が深いので、回答がしにくい。この調査で何を知りたいのかよくわからない。
男性	70代以上	人権問題にこだわる趣旨が分からない。市の広報で教えて下さい。
女性	40代	このアンケートで多くの人権問題について質問がありましたが、その立場にならないとわからないことが多く、回答できませんでした。安易に回答できるものでもないと思います。
女性	70代以上	・この調査に違和感を感じました。この内容では深いところまで見られない様な気がしました。
女性	50代	【問14】について、ニュース等で教師の言動が原因となり、いじめに発展したケースが大きく取り上げられている中で、選択項目に入っていないのには違和感を感じましたし、いじめ問題はすべて児童・生徒と子どものみが悪く、子どもに原因があるとしか感じられず、人権問題に関する調査なのに、【問14】に関しては、選択項目じたいに差別を感じました。子どものいじめ問題に大人は関係ないということ自体差別だと思います。もう少し、選択項目を考えて調査して欲しかったと思います。
女性	70代以上	部落差別問題について特に取り上げて人権問題のアンケートを取っていますが、必要（特に）あるのでしょうか。他にもっと人権について学習する中で意識を深めるようにしたらよろしいのではないのでしょうか。

(15) 行政への要望、期待、感想

性別	年齢	ご意見・ご要望
男性	50代	昔のことをいつまでも問題として取扱い、それにより利益を受けている者もいることは現実であり、それこそが問題！問題にしないで良いことはそのまま時間が解決することとして問題にしない方がよいと思う！
男性	40代	純粋な人権問題を考えることは大切だと思うが、かといって共産党の様な団体に利用されるのはもっと問題だと思う。
女性	50代	あまり人権ばかり考えると、プライバシーの問題、個人情報のこともあるので他人には関わらない方がいいのかなとは思ってしまいます。そうなると、老人の孤独死や幼児虐待を見逃してしまったり、難しい問題です。
女性	50代	・私は阿賀野市民になって28年が経ちます。とても住みやすく、良い所です。
女性	40代	“便利”“豊か”“暮らしやすい”くらしが一部地域や人々だけに集中しすぎないようになれば良いと思う。正のスパイラルにどこかで入れれば良いのですが。
男性	50代	弱者に対して温かい支援が行える県又は市になるよう望みます。
女性	70代以上	人権問題について 人権は、自由権と社会権（生存権）に分けて考えると、自由権は人間の幸福追求のために個人の自由な意思決定と自由な活動を保障する権利と思います。人間の自由な精神にもとづく社会的自立の権利保障は、人間の尊厳の基盤となる人権思想ではないでしょうか。我々は、自由権のみで、実質的な意味での人間らしい生活を保障するものではなく、社会権（生存権）を含めた「すべての人に人間たるに値する生活を保障することを目的とする原則に適合することが必要」と思います。「自己の尊厳と自己の人格の自由な発展」は社会生活において人間の尊厳が保持されるためには、一人ひとりが主体的に自己の有する能力を十分にいかすことができる機会とその為の環境が用意されるべきと考えます。多くのご意見、要望に添った人間思想の向上に期待致します。
男性	30代	根気強く、丁寧にやるしかないと思います。
女性	70代以上	住みやすい市は、人権が守られていること。
男性	50代	妬みがでない様な救済措置を。
男性	60代	・人権問題について積極的に進めていらっしゃる様でご苦労様です。市の職員の方はある意味市民の人権を守ることは先頭に立つ皆様であることを願います。 ・SNSの世の中になり人権なんて守る方がむずかしくなっています。市の職員の皆様の今後に期待したいと思います。
女性	70代以上	阿賀野市民として、互いに安心して、仲良く暮らしていかれることを望みます。

(16) その他

性別	年齢	ご意見・ご要望
男性	50代	人口減に伴い、空き学校、空き公共施設をIT企業に低家賃で貸し出し、外国人労働者を積極的に雇用し、自治体が条件を決め空家に住んでもらう。東京の一極集中を無くすしか日本の発展はないと思う。
女性	70代以上	・今の子は大学に行って何を勉強しているのかわからないです。大金を払っているのにお金をやれば良いという孫親の責任もあると思います。大学の先生にも問題ありと思います。
男性	60代	特記事項無し 人間は感情の生きものです。

Ⅲ 調査のまとめ

1 はじめに

本調査は「平成 29 年度 阿賀野市 人権教育・啓発推進計画」の策定に役立てるため、人権に関する現状認識や課題、今後必要なことなどについて市民の意向を把握・分析することを目的に、平成 29 年 4 月 26 日から阿賀野市全域において、阿賀野市民 1000 人（無作為抽出）を対象に行った。

調査の結果、有効回答者数 362 人、回収率 36.2%となり、想定率の 40%には満たなかったものの、自由記述欄には延べ 54 件に及ぶ意見が寄せられるなど、回答した市民からは人権問題への関心の高さがうかがえる。

2 調査結果について

調査結果を受けて、阿賀野市の今後の課題と方向性の概略について、次のとおりまとめた。

(1) 人権全般について(【問 4】～【問 9】)

○【問 4】市民満足度

「尊重されている」が 18.5%、「だいたい尊重されている」が 63.5%と、人権尊重に関して 8 割強の人が満足に感じている結果となった。年代別でみると、他の年代に比べて若い年代で満足度が高い傾向にあり（20 代と 30 代で合計 9 割強）、地区別では、他の地区に比べて安田地区で最も満足度が高く（合計 91.9%）、逆に笹神地区で最も少ない（合計 73.5%）結果となった。

一方、「あまり尊重されていない」が 12.4%、「尊重されていない」が 2.2%と、約 15%は不満を抱いている結果となった。

人権については、各人の立場や受けとめ方の違い、地域性など複雑な状況が反映されやすいが、性別や世代、地域に関わらず、一人ひとりが人権問題を正しく認識し、人権尊重の精神を養うため、必要な情報提供や社会環境の整備・充足を図る必要がある。

○【問 5】市民の関心度 【問 6】関心内容（複数回答可）

人権や差別問題に対しては、8 割弱の人が関心を示している（「かなり関心がある」と「少し関心がある」の合計は 77.1%）。関心を示さない人（「まったく関心がない」と「あまり関心が無い」の合計は 21.8%）への周知・理解を促進するためにも、人権問題の実態をはじめ、様々な情報提供・共有を行うため、教育・啓発事業の推進や相談体制の充実などが求められる。

人権に関わる問題内容については、「子どもの人権(いじめ・虐待等)」が最も関心が高く（72.0%）、次いで「障がいのある方の人権」（60.8%）、「高齢者の人権」（49.6%）、「東日本大震災に起因する差別や偏見等の人権侵害」（47.0%）、「女性の人権」（40.3%）の順となっている。また、近年増加する「インターネットによる人権侵害」についても 31.7%の関心が寄せられている。

少子高齢化の進行、女性の社会進出、情報化の進展、災害に伴う風評被害の蔓延など、社会動向の変化に応じて人権問題も多様化・複雑化している。そのため、各種実態の把

握をはじめ、家庭や学校における教育の推進、地域や職場などにおける啓発の推進、関係機関や各種団体との連携の他、各問題に精通した専門的な人材の養成や各種支援の充足などが求められる。

○【問7】人権侵害の被経験 【問8】被侵害内容（複数回答可）

人権が侵されたと思ったことが「ある」は全体で 30.4%あり、男女別で見ると男性 26.1%、女性 33.7%と、女性の方が若干多く、年代別では 40代(36.4%)と 50代(38.5%)で、また地区別では笹神地区が 42.6%と、他と比較して多い。

人権侵害を受けた内容については、「うわさ、悪口、かげ口を言われた」が最も多く(58.2%)、次いで「職場で不当な待遇を受けた」(33.6%)、「仲間はずしや嫌がらせをされた」(30.0%)、「名誉や信用を傷つけられたり、恥をかかされた」(28.2%)、「パワー・ハラスメントを受けた」(21.8%)の順となっている。

人権侵害の内容や程度により陰湿化、長期化するおそれのあるものについては公的措置などが必要とされる場合もあるが、人権尊重の意識醸成や相談体制の充実、コミュニケーションの向上などにより、人権侵害を未然に防止することが望ましい。

○【問9】相談相手（複数回答可）

相談相手は、「身近な人(家族、親戚)」が圧倒的に多く(69.3%)、次いで「友人、同僚、上司」(45.0%)も多いことから、家族や友人、知人、職場の人などに相談しようとする人が多いと思われ、身近なところで相談・解決しやすい雰囲気・環境づくりが求められる。

年代別では、若い世代ほど「身近な人(家族、親せき)」や「友人、同僚、上司」の割合が比較的多く、高齢世代ほど「市役所」や「警察」、「人権擁護委員」などの割合が多い。

公的機関では、「市役所」(18.0%)、「警察」(14.9%)が比較的多く、一方で「誰にも相談しない」とする回答も 12.2%あることから、公的機関をはじめとする様々な相談窓口の周知を充実させ、相談しやすい体制を整えることが必要である。

(2) 女性の人権に関する問題について(【問10】～【問11】)

○【問10】尊重されていないと思うこと(3つまで可)

女性の人権侵害については、「男性優位の意識が高い」(39.2%)、「職場における待遇の違い」(31.8%)、「男女の固定的な役割分担意識(男は仕事、女は家庭等)の押しつけ」(26.8%)が上位3位を占めている。

男女別で差が開いた回答は、「職場における待遇の違い」(男性が女性より 7.4ポイント高)と、「男女の固定的な役割分担意識(男は仕事、女は家庭等)」(女性が男性より 6.6ポイント高)である。また、年代別では、20代・30代で「結婚や出産における周囲からの圧力」の割合が多く、地区別では、笹神地区で「男性優位の意識が高い」(44.1%)が他地区と比較して最も多い。

○【問11】人権を守るために必要だと思われること(3つまで可)

女性の人権を守るための対策案として、圧倒的に多く寄せられた回答は「男女とも働きながら家事、育児、介護などを両立できる環境をつくる」(64.4%)であり、次いで「男女平等に関する学校教育や社会教育を実施する」(38.1%)、「女性に対する犯罪(DV、ストーカー、性犯罪)の防止」(31.2%)の順である。

男女別では、「男女とも働きながら家事、育児、介護などを両立できる環境を作る」が男性59.0%、女性69.9%と女性が10.9ポイント多く、同様に「男女平等に対する学校教育や社会教育を実施する」は男性34.8%、女性40.8%と女性の方が6.0ポイント多い。一方、「行政による啓発事業を充実する」は男性18.6%、女性10.7%と男性の方が7.9ポイント多い。

○まとめ

男女共同参画の推進が求められている昨今においても、依然として様々な局面で男性優位の傾向が垣間見れる結果となっている。男女の役割分担によるメリットも活かしつつ、家庭や地域、職場における女性の地位向上のため、関係機関との連携推進により男女共同参画を推進する啓発事業などを進める必要がある。また、各種ハラスメントなどの被害を防止するため、相談・支援体制の拡充を図る必要がある。

※参考

阿賀野市では、「男女がともに参画し、夢と幸せをはぐくむまちづくり」を目標として、平成28年3月に「第3次阿賀野市男女共同参画プラン」を策定している。

(3) 子どもの人権に関する問題について(【問12】～【問14】)

○【問12】 尊重されていないと思うこと(3つまで可)

子どもの人権侵害については、「いじめをしている人やいじめられている人を見て見ぬふりをする」と、「仲間はずしなど子ども同士のいじめ」の両方で5割弱と多く、次いで「保護者・同居者が体罰を与えたり、精神的に虐待する」(38.1%)、「経済的理由により学習環境、生活環境が整わない」(32.6%)の順となっており、いじめや虐待、貧困児童の問題が注目されている。

地区別では、「いじめをしている人やいじめられている人を見て見ぬふりをする」の割合は笹神地区で52.9%と最も多く、「経済的理由により学習環境、生活環境が整わない」は京ヶ瀬地区で37.7%と最も多い。

○【問13】 人権を守るために必要だと思われること(3つまで可)

子どもの人権を守る対策案として、「家庭内に良好な人間関係を築き、互いの人権意識を高める」が51.1%と最も多く、次いで多いのが「教師や指導者の人間性や資質の向上を図る」(37.8%)である。

○【問14】 いじめ問題においてだれが悪いか

いじめ問題についてどう思うかは、「いじめる児童・生徒が悪い」が49.7%と最も多く、「いじめる児童・生徒が悪いが、いじめられる側にも原因がある」とする回答も37.0%

あった。

○まとめ

子どもの人権を守るためには、家庭における人間形成を基本としながら、学校や地域における指導者の資質向上、教育内容や相談体制の充実、関係機関との連携体制の強化などが求められる。

子ども同士のいじめや、家庭による子どもの虐待、周囲の無関心など、いじめや虐待の内容の複雑化とともに顕在化しにくい実態も見受けられる。情報化社会の進展に伴い、インターネットなどを通じたいじめの発生もあることから、多様化・複雑化する子どもの人権侵害に対して人権教育の推進とともに、周囲の支えなども強化し、未然防止や罰則など効果的な対策が求められる。

※参考

阿賀野市では、「児童・若者相談支援センター」や「子どもの言葉と心の相談室」など、子育て支援の相談窓口が各種設置されている。

(4) 高齢者の人権に関する問題について(【問15】～【問16】)

○【問15】 尊重されていないと思うこと (3つまで可)

高齢者の人権侵害については、「高齢者の暮らしやすいまちづくりが進んでいない」が最も多く(34.0%)、次いで「地域で支えあう体制が整っていない」(31.8%)、「働ける能力を発揮する機会がない」(30.7%)、「一人暮らしの高齢者に情報が伝わりにくい」(27.9%)、「悪徳商法や特殊詐欺による被害が多い」(24.6%)など、高齢化社会の進行に伴う課題も見てとれる。

地区別では、京ヶ瀬地区で「高齢者の暮らしやすいまちづくりが進んでいない」(44.3%)と「働ける能力を発揮する機会がない」(39.3%)の両者が他地区と比較して多い。また、安田地区で「一人暮らしの高齢者に情報が伝わりにくい」が35.1%と他地区と比較して最も多い。笹神地区は「じゃまもの扱いされたり、意見や行動が尊重されない」が29.4%と他地区と比較して多い。

○【問16】 人権を守るために必要だと思われること (3つまで可)

高齢者の人権を守る対策案として、「生きがい対策を充実する」が35.9%と最も多く、次いで「介護・緊急救急体制を整備する」(29.3%)、「高齢者の見守り体制を充実する」(29.0%)、「体験から得た知識や技術が生かせる場を創出する」(24.6%)、「高齢者の社会参画・就業機会の拡充を図る」(24.3%)の順となっている。

地区別では、京ヶ瀬地区で「生きがい対策を充実する」(42.6%)が他地区と比較して多く、笹神地区で「介護・緊急救急体制を整備する」(35.3%)と「高齢者の見守り体制を充実する」(32.4%)の両者が他地区と比較して多くなっている。

○まとめ

地域の特性や実情に配慮しながら、介護・福祉・医療体制の確保・充実をはじめ、公共交通機関の整備やバリアフリー、ユニバーサルデザインなどの推進により、高齢者が暮らしやすいまちづくりを推進することが必要である。また、高齢者の自立と社会参加の促進に向けて、各人の意欲や能力に応じて、就労支援、ボランティア活動などの参加支援と受け入れ体制の確保が必要であり、地域での見守りや、様々な交流の場と機会の充足により、生きがい対策を推進することが求められる。

※参考

阿賀野市では、高齢者の保険福祉施策を推進するため、平成 27 年 3 月に「高齢者福祉計画・第 6 期介護保険事業計画」を策定している。

(5) 障がいのある人の人権に関する問題について(【問 17】～【問 18】)

○【問 17】 尊重されていないと思うこと (3つまで可)

障がいのある人の人権侵害については、「働く場所や機会が少なく、条件が不利なことが多い」が最も多く (58.0%)、次いで「学校や職場の受け入れ体制が整っていない」(35.9%)、「障がいのある人とその家族に対する偏見がある」(29.8%)、「道路の段差解消やエレベーター設置など暮らしやすいまちづくりが進んでいない」(28.2%)、「じろじろ見られたり、避けられたりする」(24.9%) の順となっている。学校や職場、地域、福祉施設などにおける設備などの環境整備の遅れ、対応する職員の受け入れ体制の確保などの問題があり、障がい者に対する偏見もある。

地区別では、笹神地区で「働く場所や機会が少なく、条件が不利なことが多い」(72.1%) と「学校や職場の受け入れ体制が整っていない」(45.6%) の両者が他地区と比較して最も多い。

○【問 18】 人権を守るために必要だと思われること (3つまで可)

障がいのある人の人権を守る対策案として、「就職・就学機会を確保する」が圧倒的に多く (52.2%)、次いで「障がいのある人が利用できる福祉施設を充実する」(39.8%)、「障がいのある人も一緒に学習できる教育環境を整備する」(23.8%)、「発達障がいなどに関わる相談体制を充実する」(20.2%) の順となっている。

地区別では、笹神地区で「就職・就学機会を確保する」(58.8%) が、また安田地区で「障がいのある人が利用できる福祉施設を充実する」(33.8%) がそれぞれ他地区と比較して最も多い。

○まとめ

高齢者の人権擁護対策と同様に、地域の特性や実情に配慮しながら、障がい者の自立支援を促すため、就労の機会・受け入れ体制を確保することが必要であり、また様々な場面で社会参加を安全・安心なものとするため、福祉施設や教育環境等の整備・拡充を図る必要がある。

また、発達障がいなども含めて、障がいの内容や程度に配慮しながら障がい者が地域

で自立し共に安心して暮らしていけるように、障がい者の人権を理解する上で必要な情報提供や、相談体制の充実を図る必要がある。

※参考

阿賀野市では、平成27年3月に「第4期障がい福祉計画」が策定されており、「一人ひとりが生き生きと安心して、ともに支えあい笑顔で暮らせる地域社会を実現する」ことを目標としている。また、「障がい者総合相談支援センター」など、障がい者の生活や就業を支援する各種相談窓口が設置されている。

(6) 部落差別問題（同和問題）について（【問19】～【問27】）

○【問19】 部落差別問題（同和問題）を知っているか

部落差別問題（同和問題）について、「知っている」と回答した割合は34.3%であり、「聞いたことはあるが詳しくは知らない」（39.2%）、と「知らない」（23.5%）を合わせると、62.7%がよくわかっていない状況である。

年代別では、「知っている」が20代で57.1%、「聞いたことはあるが詳しくは知らない」が60代で51.9%とそれぞれ最も多い。

○【問20】 初めて知ったのはいつか

部落差別問題（同和問題）について初めて知った時期は、「はっきりと覚えていない」（27.1%）が最も多く、次いで「20歳以上」（25.6%）、「中学校の頃」（19.9%）の順であり、小中学校の義務教育期間で約3割が初めて知っている。

○【問21】 何（誰）から知ったか

情報源は、「テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った」が最も多く（34.6%）、次いで多いのが「学校の授業で教わった」（21.1%）であり、過半数がマスメディアや学校教育がきっかけである。

○【問22】 部落差別問題（同和問題）の成り立ちの受け止め

部落差別問題（同和問題）の成り立ちについては、「歴史的に作られた」が過半数を占め（55.6%）、「生活が貧しかった」（15.8%）、「人種（民族）がちがう」（8.6%）とする受け止め方もある。

○【問23】 今でも差別はあるか

今でも被差別部落（同和地区）出身であることを理由にした差別や人権侵害（部落差別）について、「あると思う」（48.1%）とする意見と「ないと思う」（47.7%）とする意見がほぼ半数ずつであった。

○【問24】 親しく付き合っている人が被差別部落出身とわかった場合どうするか

親しく付き合っている人が被差別部落出身とわかった場合、ほとんどの人が「これまでと同じように付き合う」（86.5%）と回答しており、地区別では京ヶ瀬地区が最も多

かった（93.0%）。しかし、「表面的には付き合いが、できるだけ付き合いを避ける」（7.1%）、「付き合いをやめる」（1.1%）とする人もいることから、抵抗を感じる市民も少数存在している。

○【問 25】 部落差別は自然になくなるという意見に対して

そっとしておけば部落差別は自然になくなるという意見については、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計は約6割を占め（59.8%）、地区別では「そう思う」の割合が最も多いのは笹神地区の29.2%である。

○【問 26】 特に人権上問題があると思われること（3つまで可）

特に人権上問題があると思われることは、「地域社会で不利な扱いをすること」が最も多く約5割を占め（51.5%）、次いで「結婚問題で周囲が反対すること」（47.0%）、「就職の際や結婚において不利な扱いをすること」（38.3%）、「差別的な発言や行動をすること」（37.2%）、「身元調査をすること」（31.2%）の順となっている。

年代別では、結婚や就職で環境変化をきたしやすい若い世代（20代）で全体の上位3項目について他の年代に比べて若干多く、地区別では京ヶ瀬地区で「就職の際や職場において不利な扱いをすること」と「地域社会で不利な扱いをすること」の両者が他地区に比べて多い。

○【問 27】 問題を解決するために必要なこと（3つまで可）

部落差別問題を解決するために、最も多く回答が寄せられたのは「市民が、部落差別問題について正しく理解を深めるよう努力する」（50.0%）であり、次いで「学校や地域における人権、同和教育を推進する」（38.7%）、「部落差別問題に関わる人権相談や生活相談などを充実する」（25.9%）の順となっている。

年代別では、「学校や地域における人権、同和教育を推進する」と「部落差別問題に関わる人権相談や生活相談などを充実する」に関して、若い年代ほど必要性を実感しており、地区別では、笹神地区で「学校や地域における人権、同和教育を推進する」が52.1%と他地区に比べて最も多い。

○まとめ

部落差別問題（同和問題）については、地域性や歴史性などの複雑な要因が絡んでおり、世代間での認識相違もあるため、的確な情報提供とともに、教育や啓発事業による周知・理解を深め、正しい理解へとつなげていくことが必要である。

※参考

1965年（昭和40年）8月「同和対策審議会答申」によれば、「人種的起源説、宗教的起源説、職業的起源説、政治的起源説などの諸説がある。しかし、本審議会は、これら同和地区の起源を学問的に究明することを任務とするものではない。ただ、世人の偏見を打破するためにはっきり断言しておかなければならないのは同和地区の住民は異人種でも異民族でもなく、疑いもなく日本民族、日本国民であるということである。」とある。

(7) 身元調査について(【問 28】～【問 29】)

○【問 28】身元調査をすることの是非について

身元調査についてどのように考えるかは、「良くないことだと思うがある程度仕方ないと思う」とする回答が約5割を占め(51.1%)、反面、「差別につながる恐れがあるので、するべきではない」とする回答は2割強を占める(22.1%)。

○【問 29】「住民票の写し等の第三者交付に係る本人通知制度」を知っているか

阿賀野市の「住民票の写し等の第三者交付に係る本人通知制度」について、「知らない」が最も多く(69.9%)、特に若い年代で多い。「知っているし、すでに登録している」「知っているが、登録していない」の合計は25.6%である。

○まとめ

身元調査は、「良くないことだと思うがある程度仕方ないと思う」が51.1%と最も多く、「当然のことだと思う」と合わせて68.0%と全体の半数を超える結果となっている。

身元調査は、差別につながる恐れのある戸籍謄本や住民票の不正請求や悪質な取得といった事件の要因になる可能性があるため、一人ひとりが人権問題に関心を持ち、人権に関する理解や知識を深めるよう啓発が必要である。

また、「本人通知制度」を利用することにより、不正請求や悪質な取得を知ることができるため、制度の周知に努め、登録の推進が求められる。

(8) 外国籍住民の人権に関する問題について(【問 30】～【問 31】)

○【問 30】尊重されていないと思うこと(3つまで可)

日本に居住する外国籍の人権について、「近隣や地域の人とのふれあいや、理解を深める機会がない」が最も多く(51.1%)、次いで多いのは「働ける場所や機会が少なく、不利な条件が多い」(38.1%)となっている。

○【問 31】人権を守るために必要だと思われること(3つまで可)

日本に居住する外国籍の人の人権を守るために必要と思われることは、「外国籍の人との交流の機会を増やす」が最も多く(46.1%)、次いで「日本人・外国籍の人ともお互いの情報を提供する」(40.9%)、「日本人が外国籍の人の事業を理解する」(39.0%)の順となっている。

○まとめ

平成29年4月1日現在の阿賀野市の人口43,464人に対し外国籍の人は210人であり、人口に占める割合は0.5%に満たないが、今後は外国人旅行者の増加などに伴い、外国人と接する機会も増える可能性があることから、積極的な交流を通じた異文化の相互理解、情報共有が求められる。

また、外国語による対応が可能な各種相談窓口を充実させるなど、外国人の滞在や暮らしを支援する体制の整備も必要である。

(9) インターネットによる人権侵害について(【問 32】～【問 33】)

○【問 32】 尊重されていないと思うこと (3つまで可)

インターネットによる人権侵害については、「他人を誹謗中傷する内容が掲載される」が最も多く (55.8%)、次いで多いのが「他人のプライバシーに関することが本人に無断で掲載される」(48.9%) である。

主として、誹謗中傷、犯罪への利用、有害情報などがあげられている。

年代別でみると、若い年代ほど「他人を誹謗中傷する内容が掲載される」と「他人のプライバシーに関することが本人に無断で掲載される」と回答した割合が比較的多い傾向にある。

○【問 33】 人権を守るために必要だと思われること (3つまで可)

インターネットによる人権侵害をなくすために必要と思われることは、「罰則を強化する」と「学校や職場における教育・啓発を徹底する」の両者でほぼ5割を占め、以降「親が子どもに対して家庭でのインターネットの正しい利用方法を教える」(35.4%)、「利用者やプロバイダーに対する教育、啓発活動を推進する」(34.5%)、「相談・支援体制を充実する」(21.5%)と続き、犯罪の抑止策、利用方法の教育、相談・支援体制の充実など多岐にわたる。

○まとめ

インターネットの利用者が個人の名誉やプライバシーの権利を正しく理解し、正しい使い方を学ぶための教育、啓発活動を推進し、必要に応じて罰則規定や犯罪の取締り等の対策も講じることにより、安心してインターネットを利用できる環境を整備する必要がある。

(10) 新潟水俣病患者やその家族の人権に関する問題について(【問 34】～【問 35】)

○【問 34】 尊重されていないと思うこと (3つまで可)

新潟水俣病患者やその家族に関することで、人権上問題があると思われるのは、「新潟水俣病患者やその家族に対して偏見がある」が49.4%と最も多く、次いで「新潟水俣病患者等が十分に救済されていない」(31.8%)、「救済措置や補償などに対する妬みや嫌がらせを受ける」(21.5%)の順となっている。

年代別でみると、若い世代で「新潟水俣病患者やその家族に対して偏見がある」や「新潟水俣病患者等が十分に救済されていない」と回答した割合が比較的多い。

○【問 35】 人権を守るために必要だと思われること (3つまで可)

新潟水俣病患者やその家族の人権を守る対策案としては、「原因・被害状況について理解を深めるための教育、啓発を推進する」が最も多く (44.8%)、次いで「相談・支援体制を充実する」(43.6%)、「新潟水俣病患者等のプライバシーを保護する」(33.4%)の順となっている。

年代別でみると、若い世代で「原因・被害状況について理解を深めるための教育、啓発を推進する」と「相談・支援体制を充実する」と回答した割合が比較的多い。

○まとめ

水俣病の原因や症状などについて正しく理解するとともに、地域の人々に新潟水俣病の歴史や人権についての理解、啓発活動を推進し、新潟水俣病患者に対する差別や偏見を撤廃していく必要がある。

また、新潟水俣病患者のプライバシーを尊重しながらも、当事者の苦痛や困難を少しでも和らげることができるよう、引き続き支援を進めていく必要がある。

※参考

新潟県では、阿賀野川流域に在住する人を対象に、新潟水俣病の相談窓口を設置し、HP 上でも公開している。

○新潟水俣病相談窓口：五泉市・阿賀野市・阿賀町に設置

○水俣病総合相談窓口：新潟市に設置

また、「新潟水俣病のあらまし」、「新潟水俣病 20 の疑問」など、新潟水俣病学習のための各種資料を HP 上で公開している。

さらに、新潟市北区には、新潟水俣病と水環境をテーマにした施設（新潟県立環境と人間のふれあい館（新潟水俣病資料館））が設置されている。

(11) 犯罪被害者やその家族の人権に関する問題について（【問 36】～【問 37】）

○【問 36】 尊重されていないと思うこと（3つまで可）

犯罪被害者やその家族の人権について尊重されていないと思うこととして多いのは「周囲に無責任なうわさをながされる」（55.5%）と「報道関係者や周囲からプライバシーを侵害される」（55.0%）であり、次いで多いのは「犯罪行為によって精神的な負担を受ける」である。周囲の噂やプライバシーの侵害などによる二次的な精神面における負担が大きく影響しているように思える。

地区別では、安田地区で「周囲に無責任なうわさをながされる」が 68.9%と他地区と比較して最も多く、「犯罪行為によって精神的な負担を受ける」が 39.2%と他地区と比較して最も少ない。

○【問 37】 人権を守るために必要だと思われること（3つまで可）

犯罪被害者やその家族の人権を守る対策案として、「取材活動や報道において、犯罪被害者等のプライバシーに配慮する」と「犯罪被害者やその家族のための相談・支援体制を充実する」がそれぞれ5割強を占めている。

○まとめ

犯罪による被害者やその家族には、犯罪行為による肉体的・精神的苦痛、捜査による精神的負担などに加えて、治療や葬儀、裁判などの支出に伴う経済的負担がともなう。さらに二次被害として、報道関係者や周囲からのプライバシーの侵害、近隣住民などによる憶測や噂、職場・学校などの関係者による無理解などのさらなる精神的な苦痛を被る恐れがある。

犯罪被害者やその家族に対する理解やプライバシーの尊重につながる教育、啓発活動

を進めるとともに、犯罪被害者に対する相談、支援体制の充実が必要である。

※参考

関係機関において、各種窓口が設置されている。

- 日本司法支援センター法テラス：犯罪被害者支援ダイヤル
- 警察庁：犯罪被害者支援室
- 法務省：被害者ホットライン

(12) 人権問題に関する講演会・研修会等について(【問 38】～【問 44】)

○【問 38】講演会、研修会に参加経験と回数

人権問題に関する講演会、研修会への参加については、79.3%は参加経験がない結果となった。回数としては「1・2回参加した」が9.9%である。

○【問 39】参加したことのある人権講演会、研修会(複数回答可)

参加したことのある人権講演会、研修会は、「職場や職域団体主催」が最も多く(38.7%)、次いで「県、市町村主催」と「人権団体主催」が同割合(33.9%)、「学校やPTA主催」(27.4%)、「社会教育団体主催」25.8%の順である。

○【問 40】講演会、研修会に参加したことがない理由(複数回答可)

人権講習会、研修会に参加したことがない理由として最も多いのは「特に理由はない」(45.6%)であり、次いで「開催を知らなかった」(40.8%)、「身近なところでの開催がなかった」23.3%の順となっている。

○【問 41】必要と思う講演会、研修会テーマ(内容)(複数回答可)

人権問題に関する研修等で必要と思うテーマ(内容)は「子どもの人権」が44.2%と最も多く、次いで「障がいがある人の人権」(39.5%)、「高齢者の人権」(38.7%)、「女性の人権」(32.3%)、「インターネットによる人権侵害」と「東日本大震災に起因する差別や偏見等の人権侵害」(31.5%)の順である。

当回答結果は、【問 6】「人権に関わる問題のうち関心があるもの」の結果とほぼ同様な傾向をしめしている。

○【問 42】研修や講演会等の実施主体はどこがいいか(3つまで可)

人権問題に関する研修や講演等について、どの機関の実施を希望するかは、「県、市町村主催」が67.7%と圧倒的に多く、次いで「学校やPTA主催」(25.1%)、「社会教育団体主催」21.3%の順となっている。

○【問 43】人権教育はどこが進めるべきか

人権教育はどこが進めるべきかは、「学校」が最も多く(36.5%)、次いで「行政」(27.1%)、「地域社会」(12.4%)、「家庭」(11.9%)の順となっている。

「学校」と回答した割合が多いのは、年代別では20代、地区別では安田地区が他と

比較して多い。

○【問 44】小・中・高等学校で人権、同和教育を行うこと

小・中・高等学校で人権、同和教育を行うことについては、「積極的におこなうべき」が 42.5%と最も多く、地区別では笹神地区が 50.0%と、他地区に比べて多い。

次いで多いのは「ほどほどにすべき」の 33.4%であった。

○まとめ

講演会、研修会に参加したことがない人が大多数（79.3%）であることから、人権問題について知る機会の創出や、関心を高める方策が求められる。そのため、広報活動の方法を見直すほか、人権教育の啓発活動を推進する必要がある。また、実施主体として「県、市町村」を希望する人が大多数（67.7%）であるが、職場や地域、学校などの身近な所で行うと参加しやすくなる可能性もある。

人権教育の実施主体として「学校」を望む声が 36.5%あることから、子どものうちに人権意識を高める意味では教育機関である学校に求められる役割が大きい。学校以外の地域や行政などの関係機関との連携による研修や講演会などを通じて、人権について考える機会の創出、啓発活動を促進していくことが必要である。